

三原市既存ボランティアアンケート報告書

2023(令和5)年3月

三原市

目 次

| | | |
|---|-----------------------------------|----|
| 1 | 調査概要 | 1 |
| 2 | 回答者属性 | 2 |
| 3 | ボランティアとしての活動状況 | 5 |
| 4 | 子育てに関するボランティア活動について | 22 |
| 5 | コロナ禍によるボランティア活動への影響 | 32 |
| 6 | 継続的なボランティア活動を行うための対応 | 38 |
| 7 | ファミリー・サポート・センターの提供会員として活動することについて | 52 |
| | (参考) 調査票 | 75 |

1 調査概要

(1) 調査の目的

三原市では、地域ぐるみの子育て支援や、仕事と子育てが両立できる環境づくりを目的として、「ファミリー・サポート・センター事業」（ファミサポ）を実施している。

三原市では、ファミサポを、子育て世代が気軽に利用できるサービスにしたいと考えている。そのためには、地域で活動するボランティアを増やしていくことが必要であり、現在活動されているボランティアの方に、ボランティア活動に関する考えなどを把握するため、アンケート調査を実施する。

(2) 調査対象

- 三原市ファミリー・サポート・センター提供会員登録者、三原市シルバー人材センター会員、三原市社会福祉協議会・ほっとはーと登録者を対象に実施。
- なお、回答者数は405人であった。

(3) 調査方法

- 対象者には、郵送配布し、郵送またはWebでの回答を依頼した。

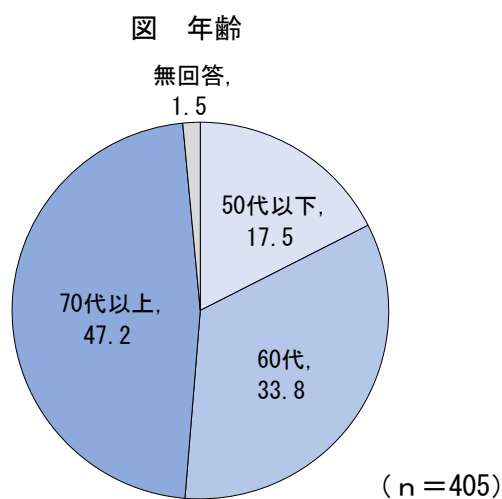
(4) 調査期間

- 令和4年10月中

2 回答者属性

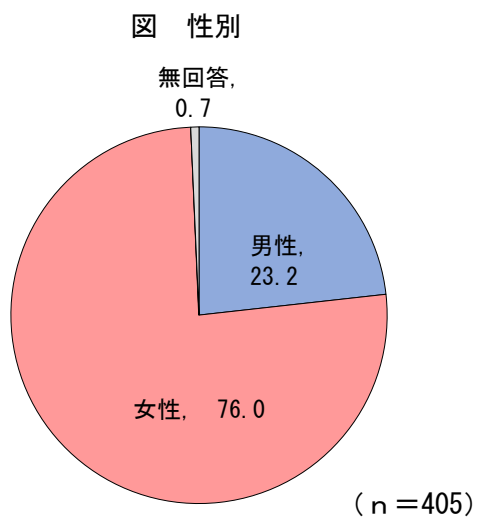
問1 お答えいただくあなたの年齢は何歳ですか。

○回答者の年齢をみると、「70代以上」が47%で最も多く、次いで「60代」が34%、「50代以下」が18%となっている。



問2 あなたの性別をお答えください。※あなたが思う性をお答えください。

○回答者の76%が「女性」であり、「男性」は23%と少なくなっている。



問3 あなたがお住まいの地域をお答えください。

○小学校区別の回答状況は以下の通り。

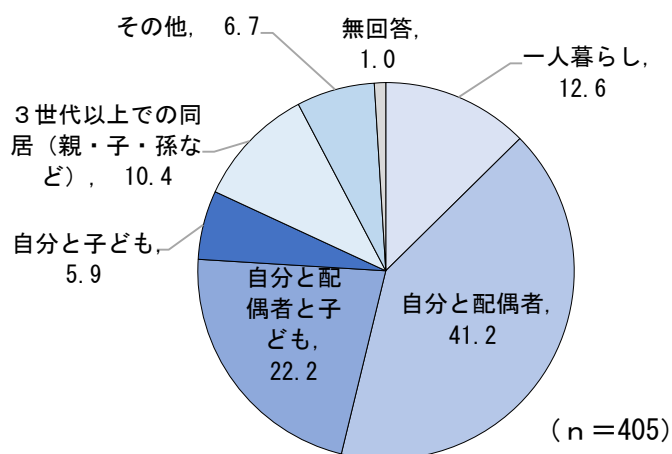
表 小学校区別回答者数

| 小学校区 | 回答者数(人) | 全体構成比(%) | 小学校区 | 回答者数(人) | 全体構成比(%) |
|---------|---------|----------|---------|---------|----------|
| 三原小学校区 | 35 | 8.6 | 沼田東小学校区 | 17 | 4.2 |
| 糸崎小学校区 | 16 | 4.0 | 沼田西小学校区 | 4 | 1.0 |
| 木原小学校区 | 5 | 1.2 | 小泉小学校区 | 8 | 2.0 |
| 中之町小学校区 | 38 | 9.4 | 幸崎小学校区 | 9 | 2.2 |
| 西小学校区 | 33 | 8.1 | 鷺浦小学校区 | 5 | 1.2 |
| 田野浦小学校区 | 33 | 8.1 | 本郷小学校区 | 28 | 6.9 |
| 須波小学校区 | 14 | 3.5 | 本郷西小学校区 | 25 | 6.2 |
| 深小学校区 | 4 | 1.0 | 久井小学校区 | 43 | 10.6 |
| 南小学校区 | 33 | 8.1 | 大和小学校区 | 33 | 8.1 |
| 沼田小学校区 | 6 | 1.5 | 三原市外 | 4 | 1.0 |
| 沼北小学校区 | 8 | 2.0 | 無回答 | 4 | 1.0 |
| 総数 | | | | 405 | 100 |

問4 あなたの世帯構成をお教えてください。

○回答者の世帯構成をみると、「自分と配偶者」が41%で最も多く、次いで「自分と配偶者と子ども」が22%、「一人暮らし」が13%となっている。

図 世帯構成

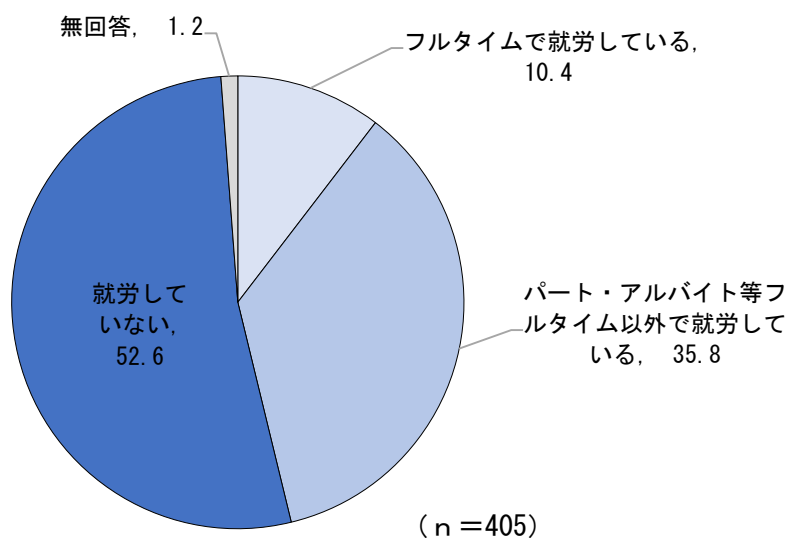


問5 あなたの就労状況をお教えてください。

○「就労していない」が53%で、過半数を超えて最も多くなっている。

○就労している人は、「パート・アルバイト等フルタイム以外で就労している」人が36%、「フルタイムで就労している」人は10%と少なくなっている。

図 回答者の就労状況

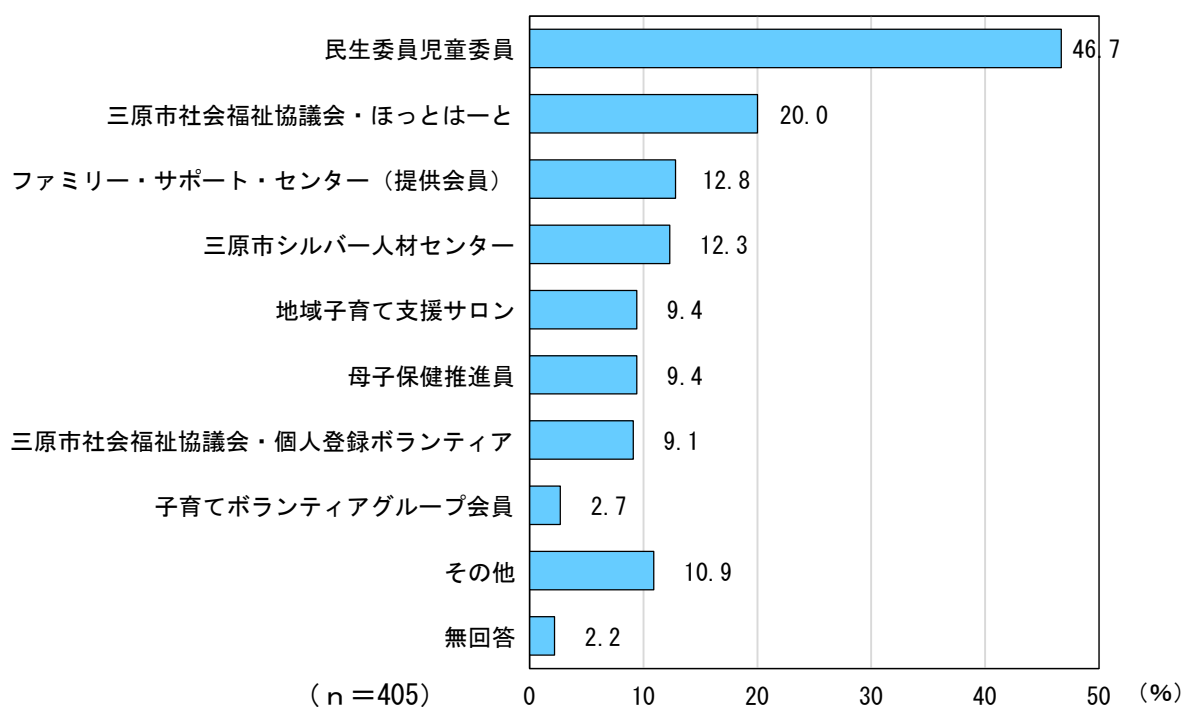


3 ボランティアとしての活動状況

問6 あなたが登録（参加）している（ボランティア）組織を教えてください。（複数回答）

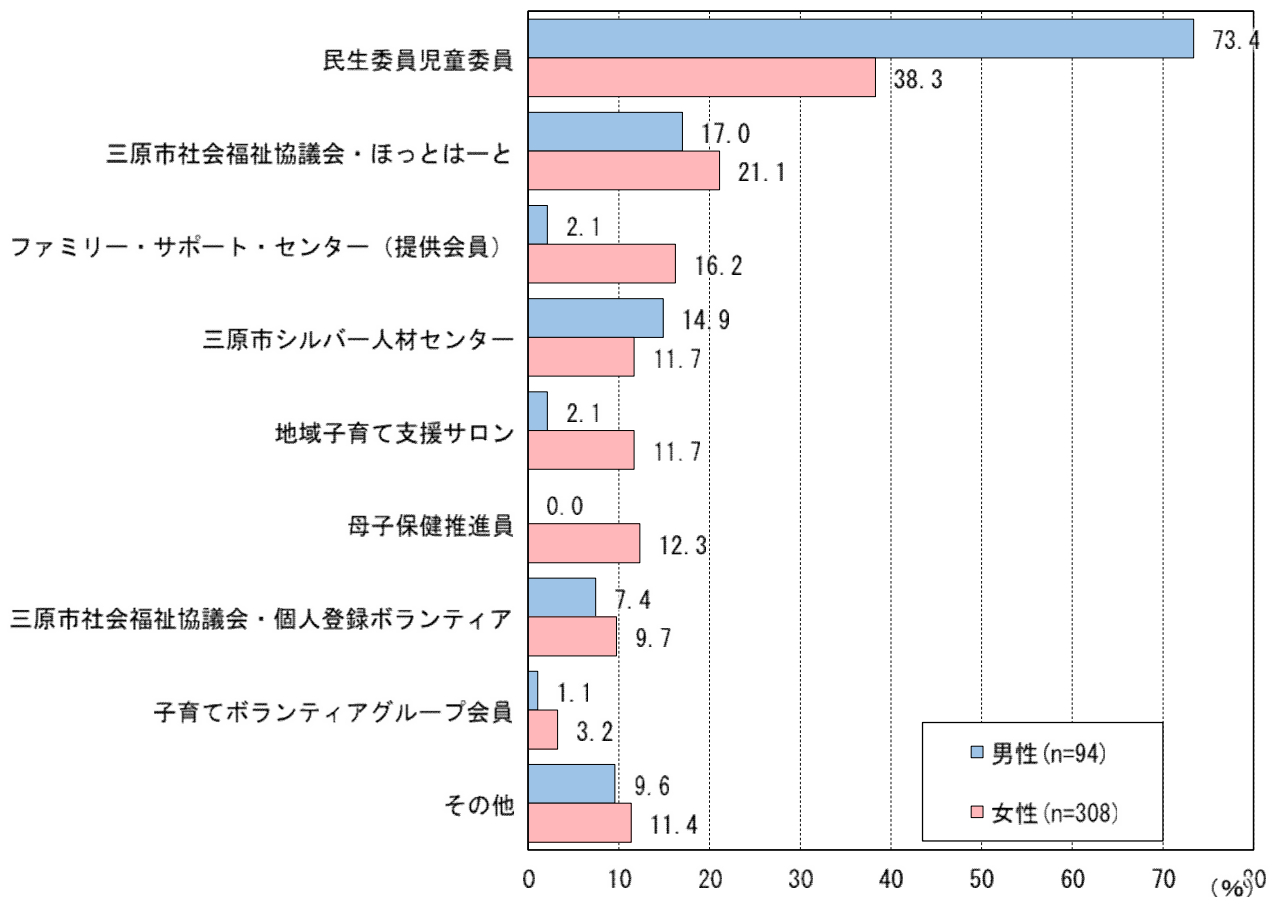
- 「民生委員児童委員」が47%と最も多くなっている。
- そのほか、「三原市社会福祉協議会・ほっとはーと」が20%、「ファミリー・サポート・センター（提供会員）」が13%、「三原市シルバー人材センター」が12%となっている。

図 登録（参加）している（ボランティア）組織



○男女別にみると、男性では「民生委員児童委員」として活動している人が73%と多くなっている。一方、女性では「ファミリー・サポート・センター（提供会員）」（16%）や「母子保健推進員」（12%）、「地域子育て支援サロン」（12%）で活動している人が多くなっている。

図 登録（参加）している（ボランティア）組織（男女別）

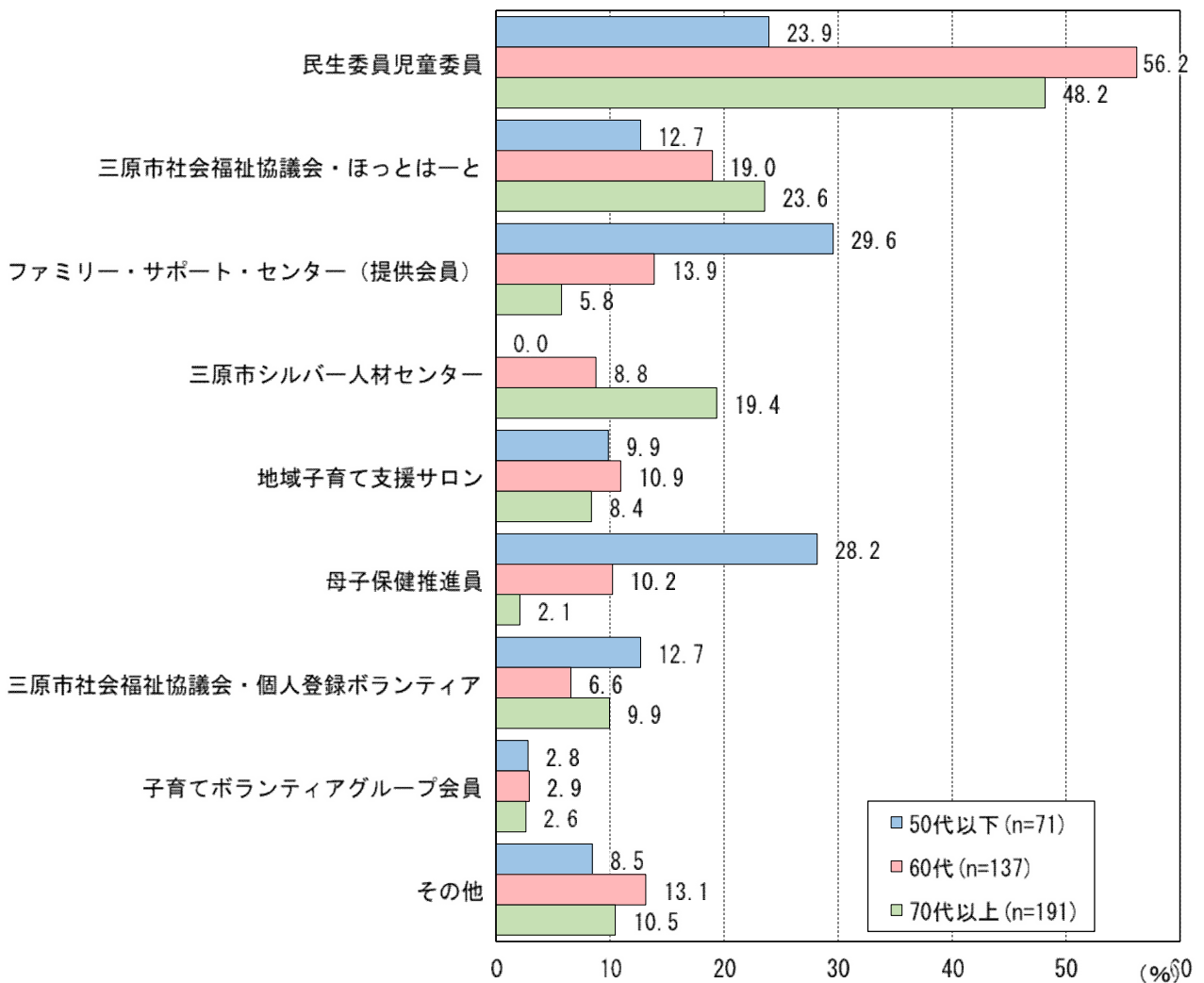


○年齢別にみると、50代以下では「ファミリー・サポート・センター（提供会員）」（30%）や「母子保健推進員」（28%）が他の年代よりも多くなっている。

○60代では、「民生委員児童委員」が56%と最も多く、他の年代よりも多くなっている。

○70代以上では、「三原市社会福祉協議会・ほっとはーと」（24%）や「三原市シルバー人材センター」（19%）が他の年代よりも多くなっている。

図 登録（参加）している（ボランティア）組織（年齢別）

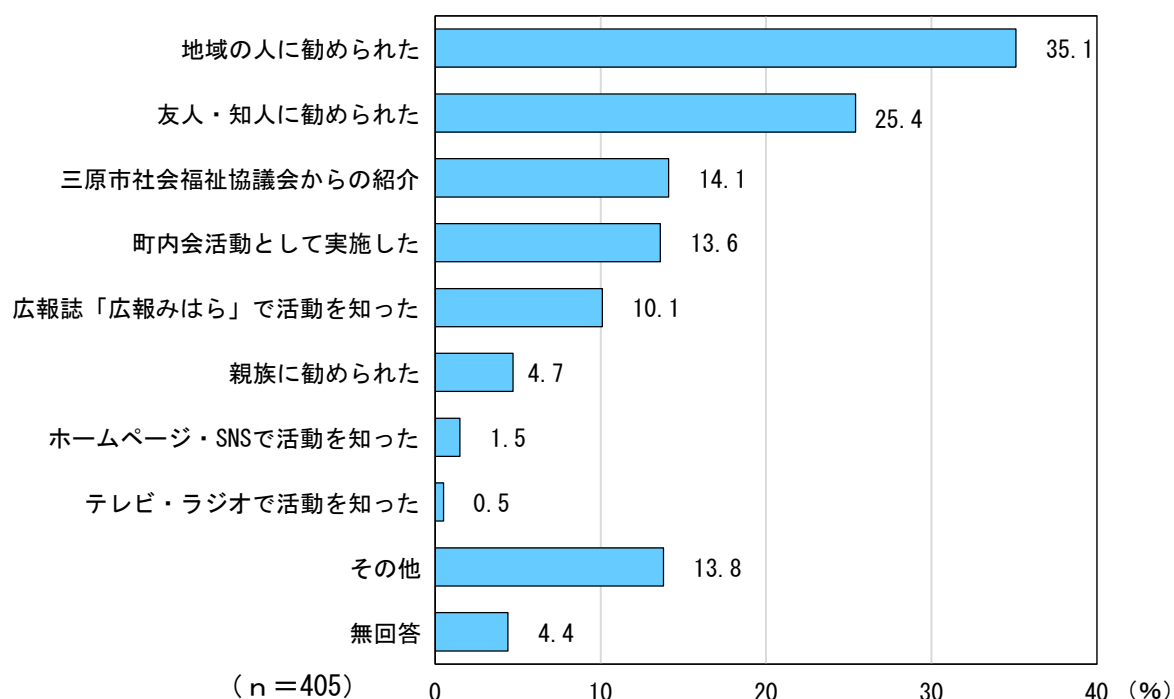


問7 あなたが、ボランティア活動に参加したきっかけを教えてください。(複数回答)

○ボランティア活動に参加したきっかけは「地域の人に勧められた」が35%と最も多く、これに「友人・知人に勧められた」(25%)、「三原市社会福祉協議会からの紹介」(14%)がつづいており、人から勧められてボランティア活動を始めた人が多いことが分かる。

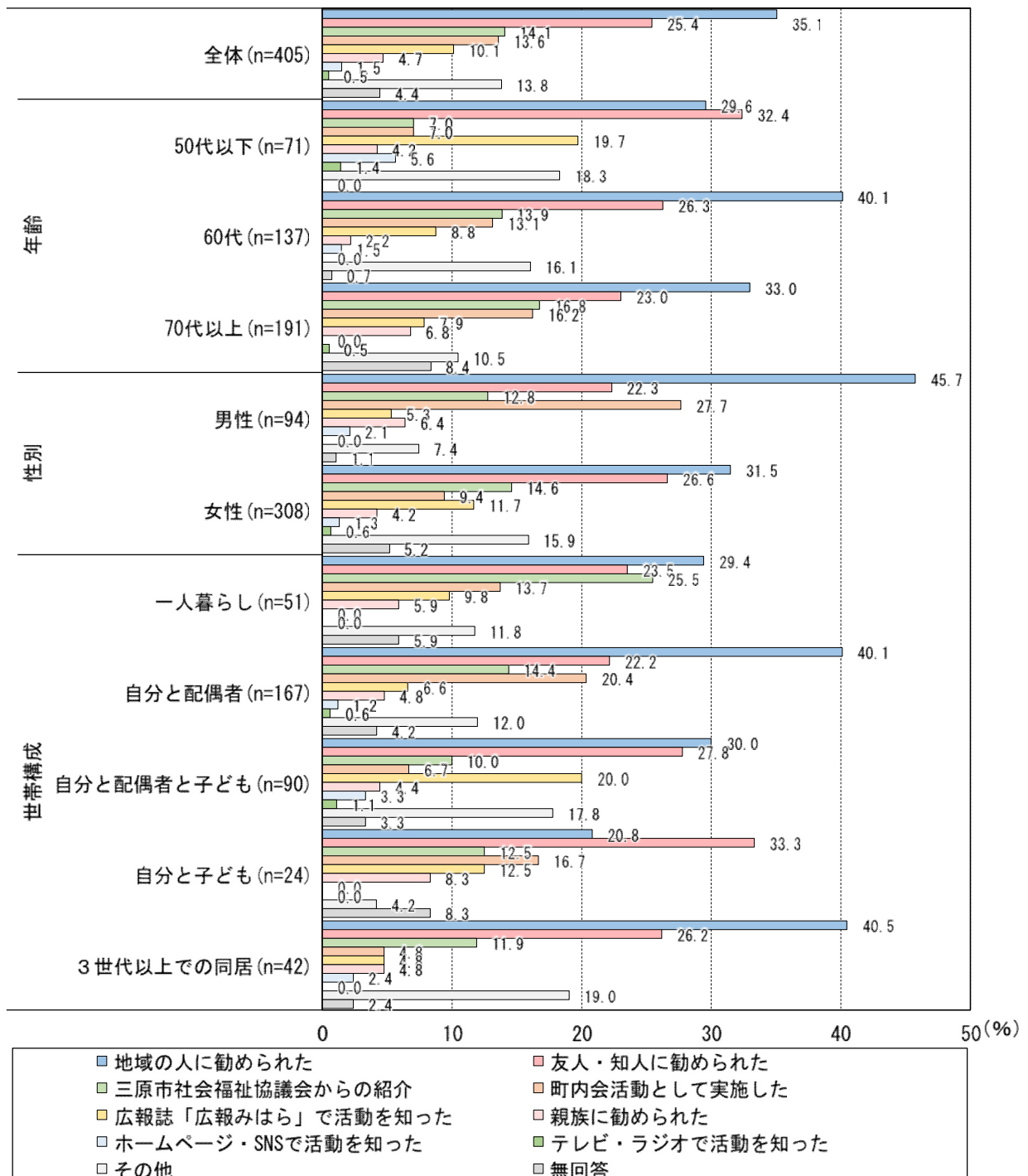
○そのほか、「町内会活動として実施した」(14%)、「広報誌「広報みはら」で活動を知った」(10%)もやや多くなっている。

図 ボランティア活動に参加したきっかけ(全体)



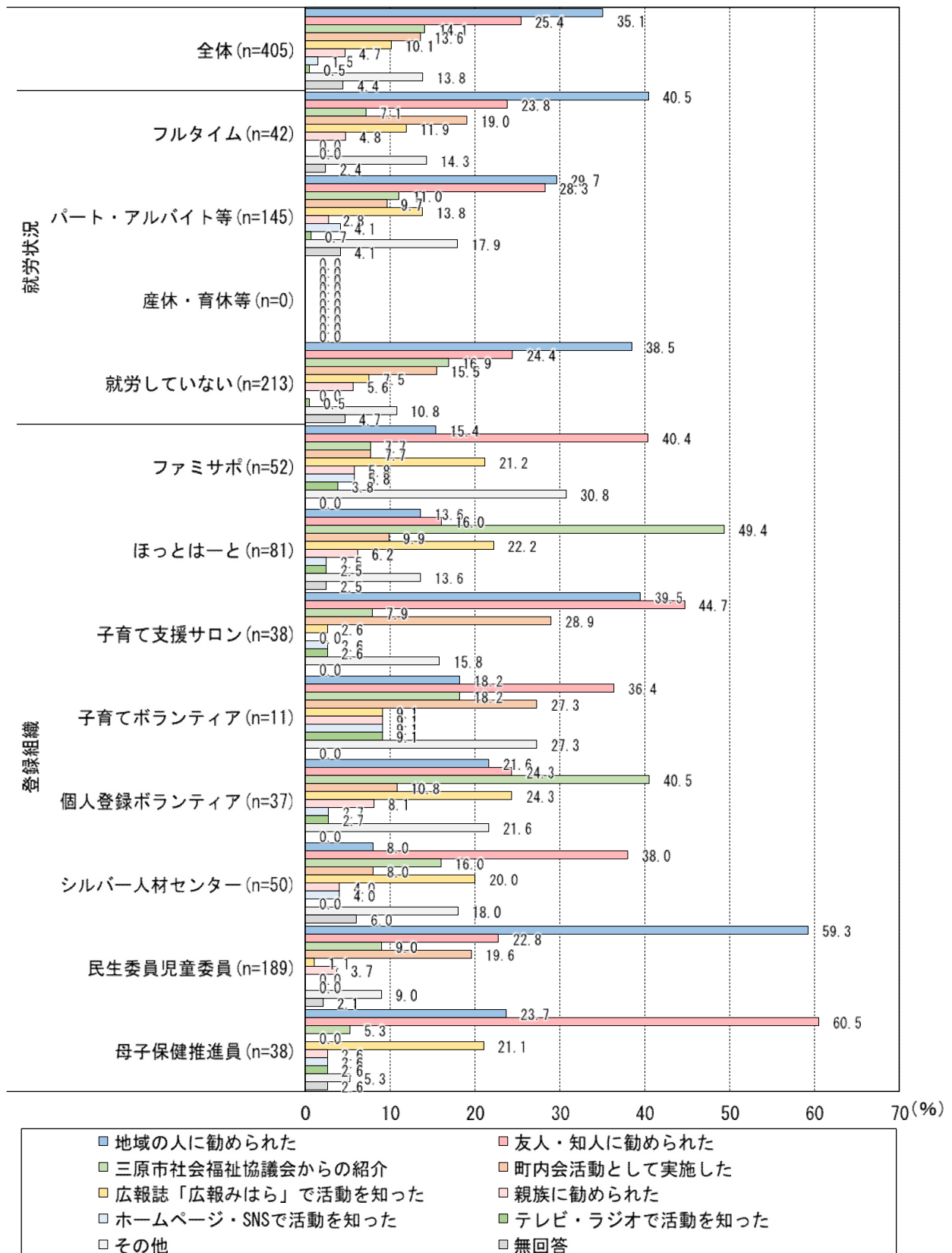
- 年齢別にみると、50代以下では「友人・知人に勧められた」(32%)や「広報誌「広報みはら」で活動を知った」(20%)が他の年代よりも多くなっている。
- 60代では、「地域の人に勧められた」が40%と最も多く、他の年代よりも多くなっている。
- 70代以上では、「三原市社会福祉協議会からの紹介」(17%)や「町内会活動として実施した」(16%)が他の年代よりもやや多くなっている。
- 男女別にみると、男性では、「地域の人に勧められた」が46%と多いほか、「町内会活動として実施した」(28%)が女性よりも多くなっている。一方、女性では、「友人・知人に勧められた」(27%)や「広報誌「広報みはら」で活動を知った」(12%)などが男性よりも多くなっている。

図 ボランティア活動に参加したきっかけ（年齢・男女・世帯構成別）



○登録組織別にみると、ファミサポ、子育て支援サロン、母子保健推進員などでは「友人・知人に勧められた」が多くなっている。

図 ボランティア活動に参加したきっかけ（就労状況・登録組織別）

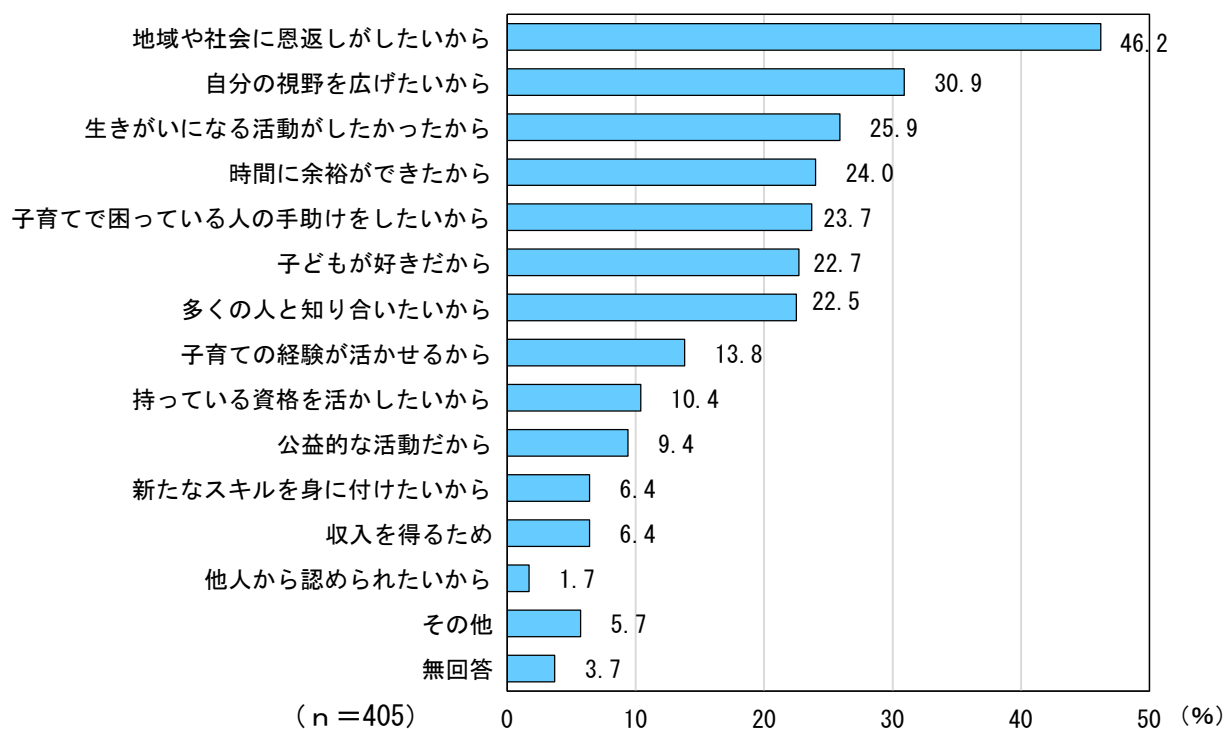


問8 あなたが、ボランティア活動をしている理由を教えてください。(複数回答)

○ボランティア活動をしている理由は「地域や社会に恩返しをしたいから」が46%と最も多くなっている。

○そのほか、「自分の視野を広げたいから」(31%)、「生きがいになる活動がしたかったから」(26%)もやや多くなっている。

図 ボランティア活動をしている理由(全体)



○年齢別にみると、50代以下では「子どもが好きだから」(44%)や「子育てで困っている人の手助けをしたいから」(42%)、「子育ての経験が活かせるから」(30%)が他の年代よりも多くなっている。
 ○70代以上では、「生きがいになる活動がしたかったから」(33%)が他の年代よりも多くなっている。
 ○男女別にみると、男性では「地域や社会に恩返しをしたいから」が62%と多くなっているほか、「公益的な活動だから」(19%)が女性よりも多くなっている。一方、女性では、「子育てで困っている人の手助けをしたいから」(29%)や「子どもが好きだから」(27%)、「子育ての経験が活かせるから」(18%)、「持っている資格を活かしたいから」(13%)などが男性よりも多くなっている。

図 ボランティア活動をしている理由（年齢・男女別）

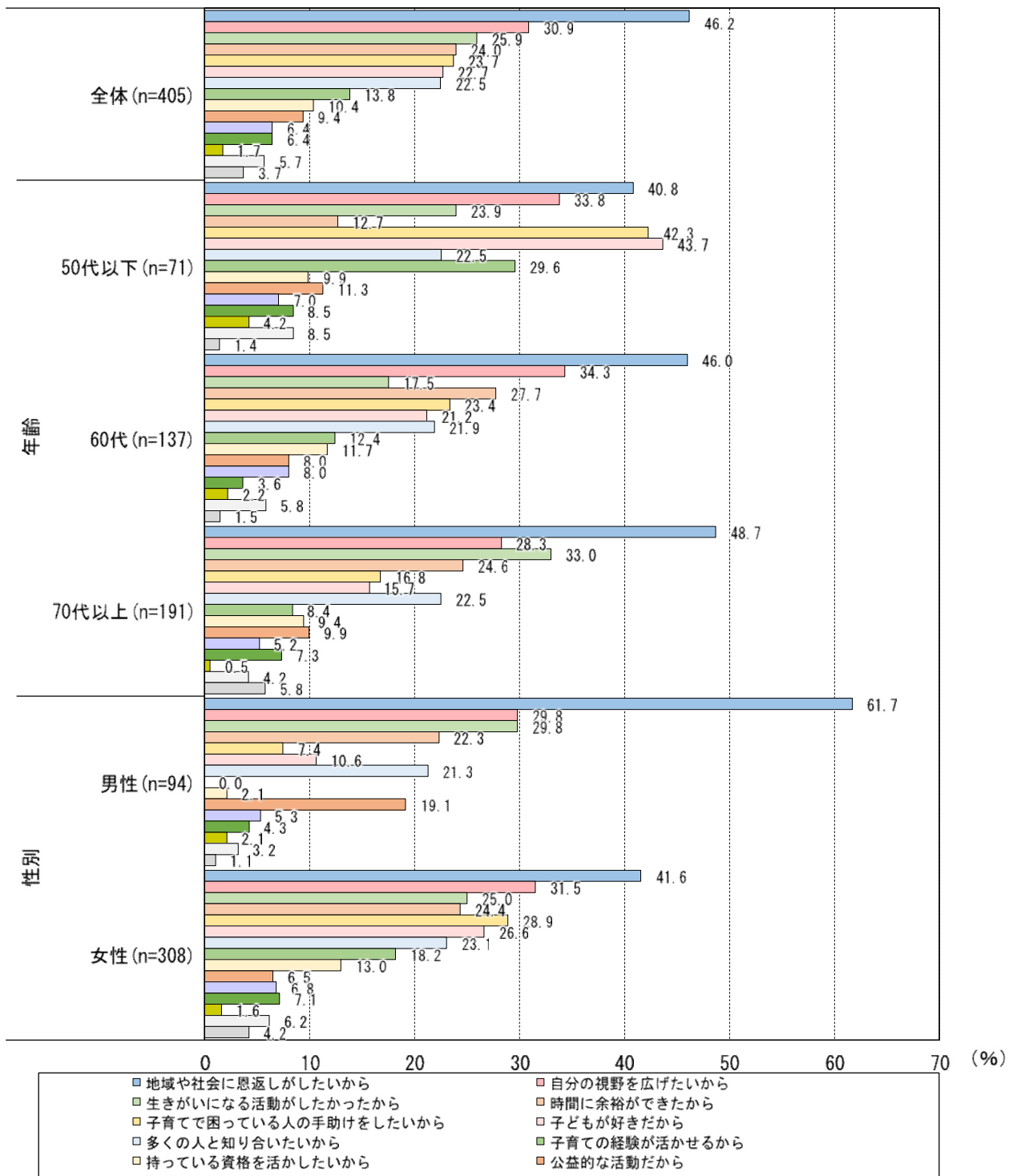


図 ボランティア活動をしている理由（世帯構成別）

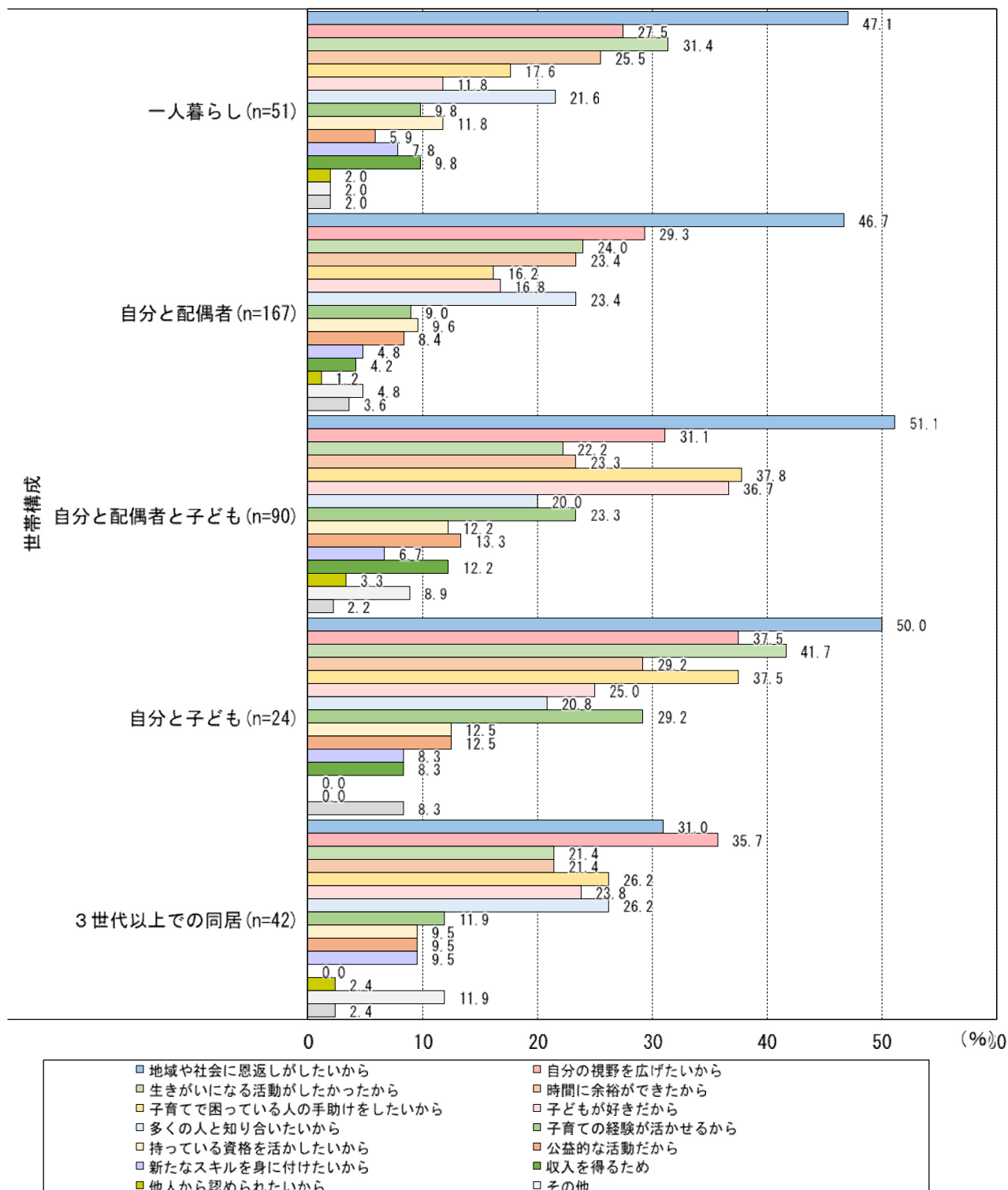
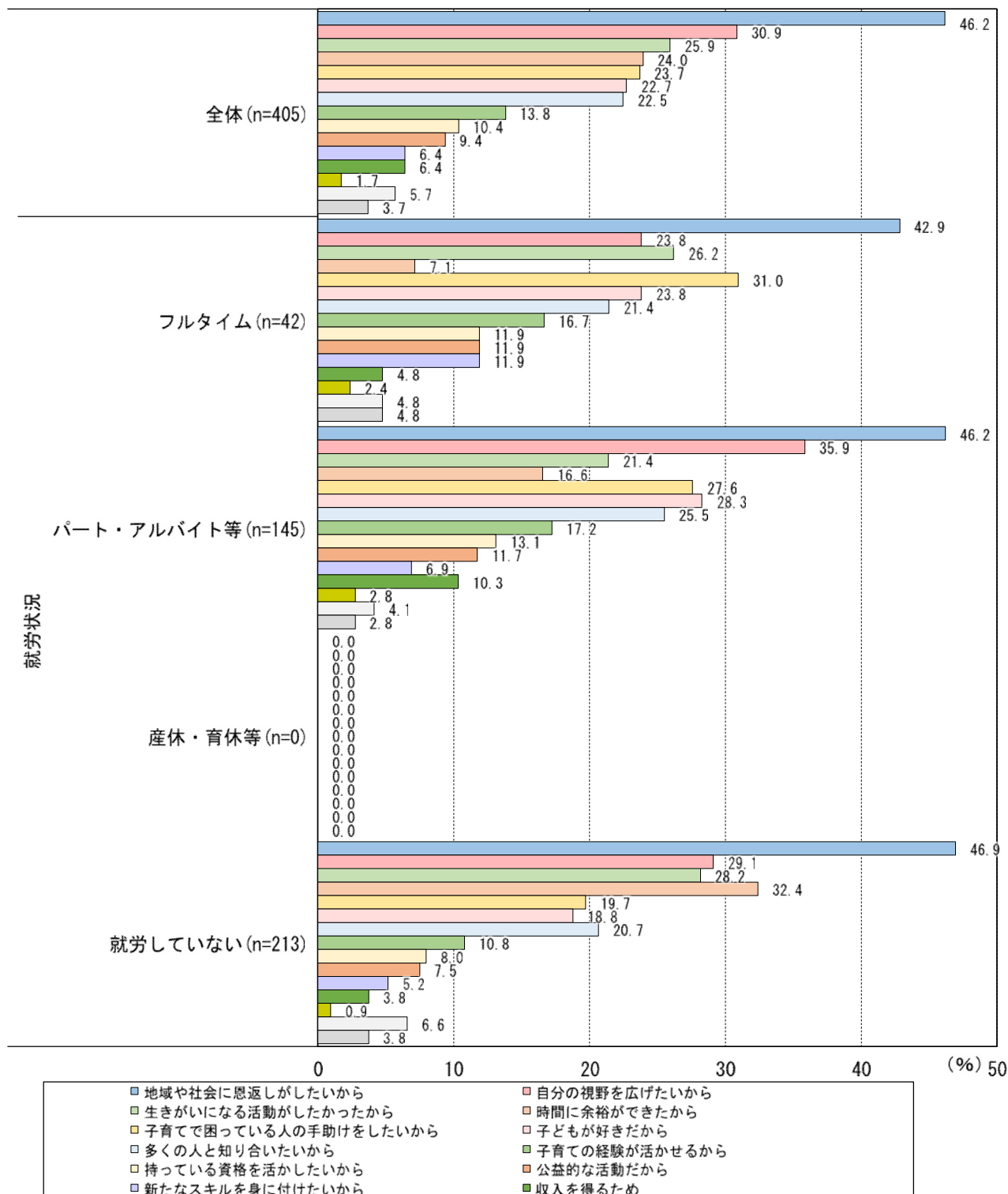
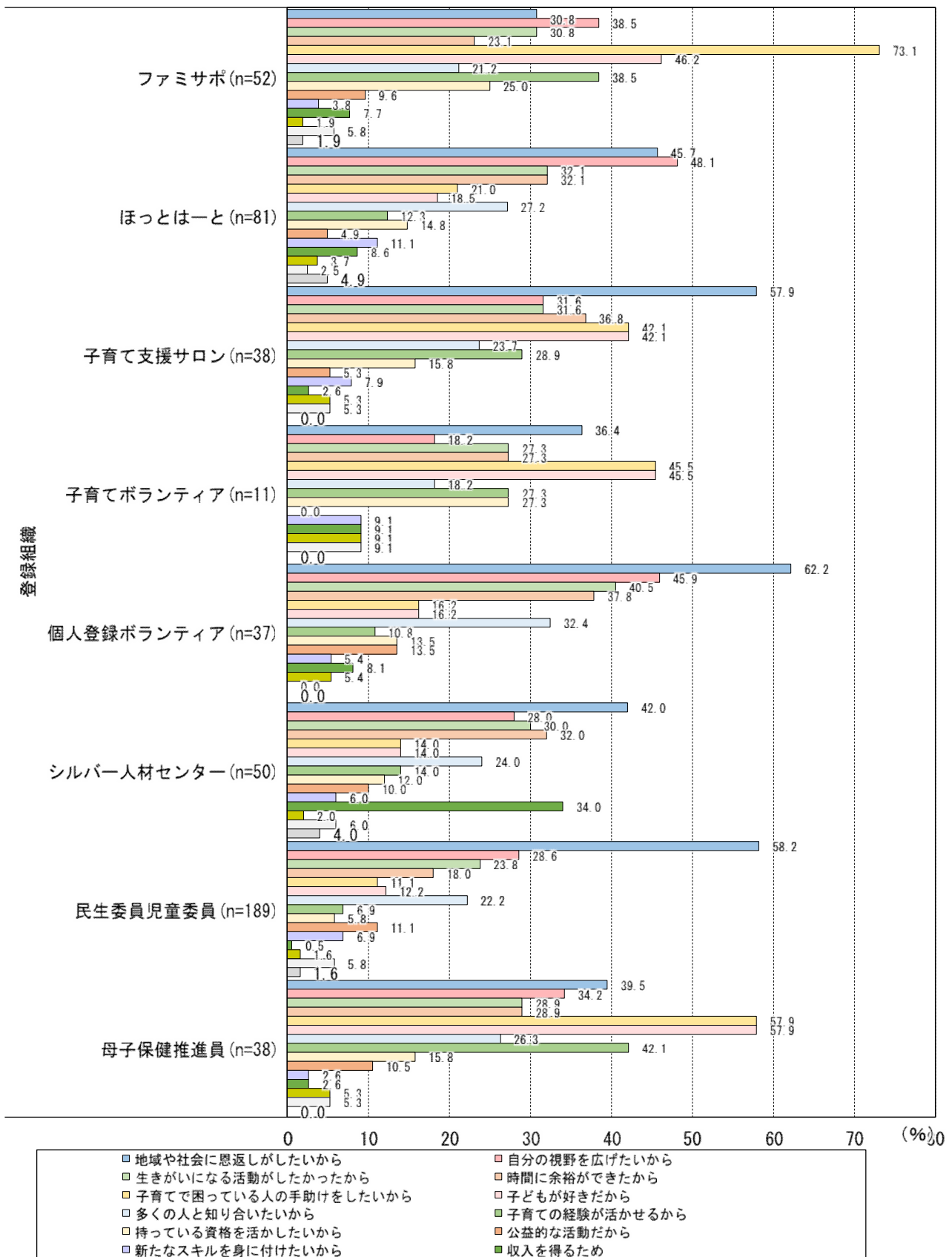


図 ボランティア活動をしている理由（就労状況別）



○登録組織別にみると、ファミサポでは「子育てで困っている人の手助けをしたいから」が多くなっている。

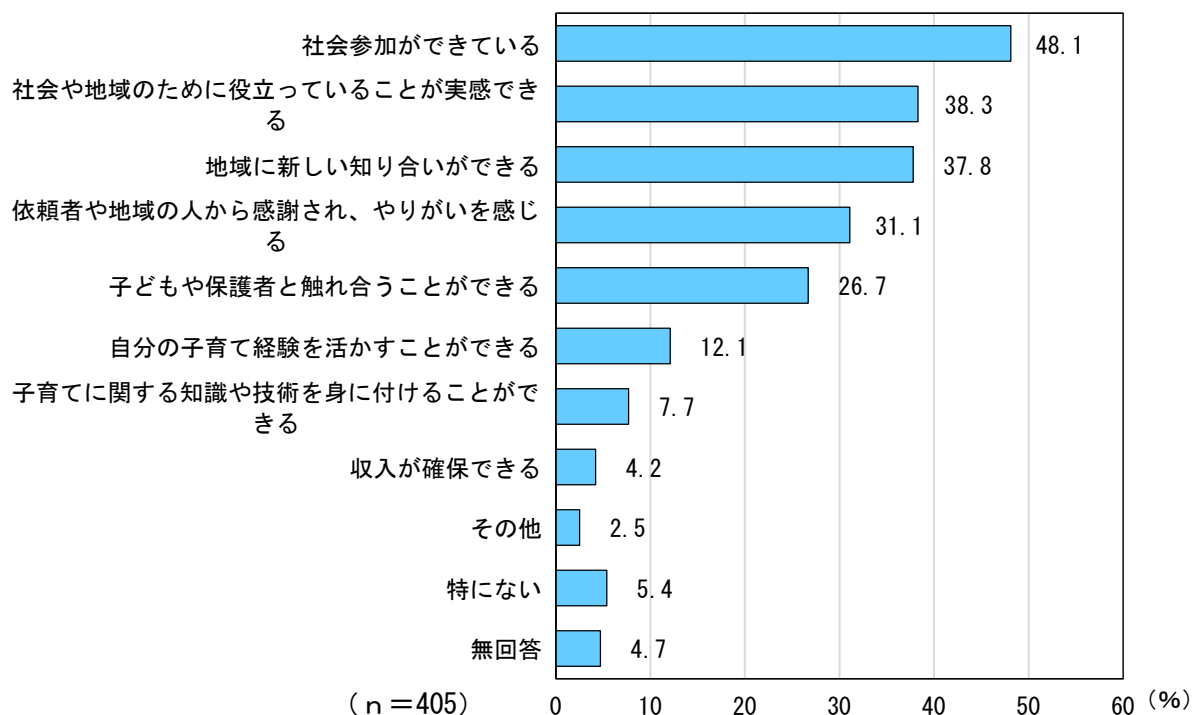
図 ボランティア活動をしている理由（登録組織別）



問9 あなたが、ボランティア活動を行うことで得ているものは何ですか。(複数回答)

- ボランティア活動を行うことで得ているものとして、「社会参加ができています」が48%と最も多く、半数近くの人がボランティア活動を行うことで、社会参加ができていますと感じている。
- また、「社会や地域のために役立っていることが実感できる」(38%)、「地域に新しい知り合いができる」(38%) も多くなっている。

図 ボランティア活動を行うことで得ているもの (全体)



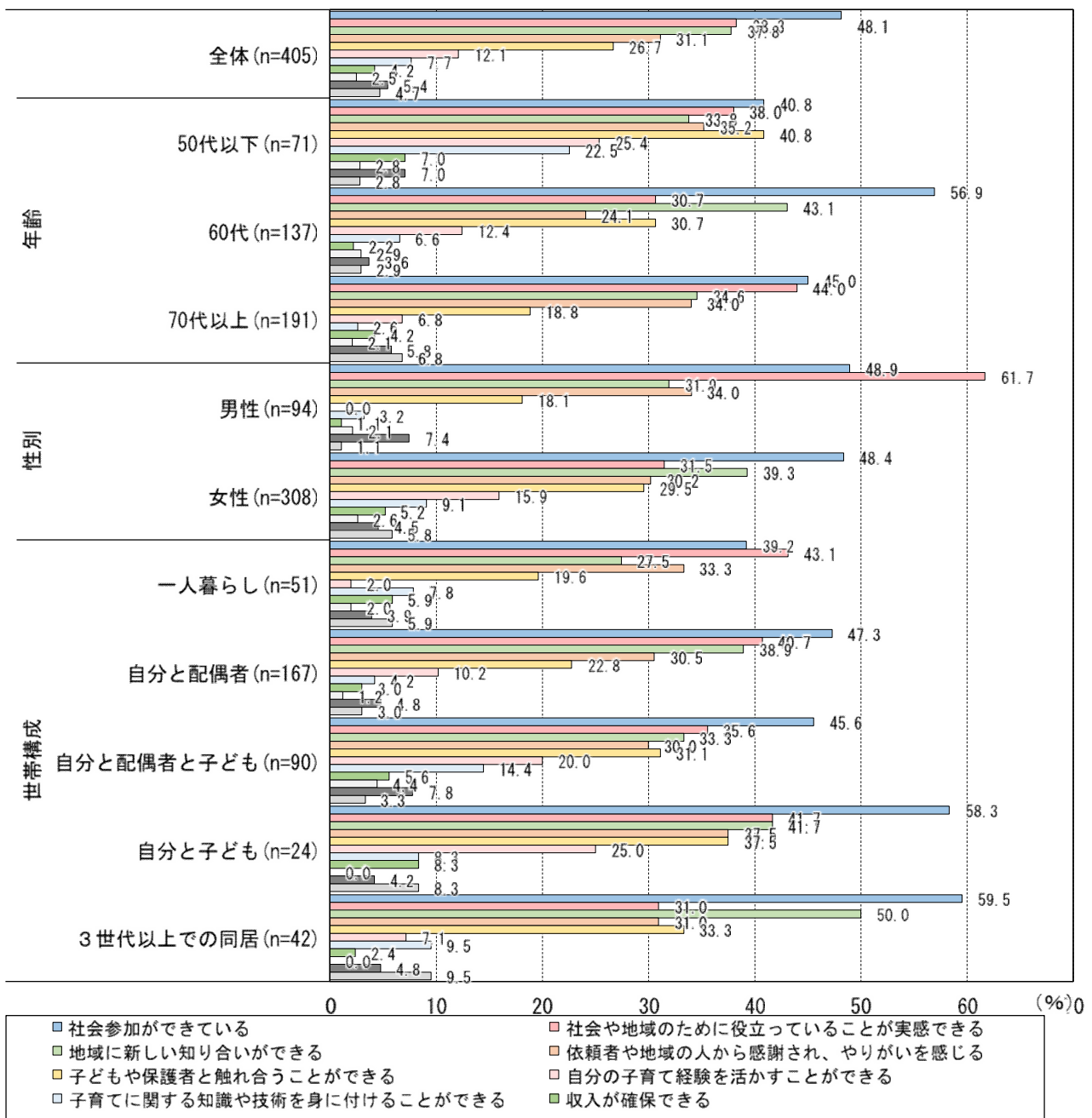
○年齢別にみると、50代以下では「子どもや保護者と触れ合うことができる」(41%)や「自分の子育ての経験を活かすことができる」(25%)、「子育てに関する知識や技術を身に付けることができる」(23%)が他の年代よりも多くなっている。

○60代では、「社会参加ができています」が57%と最も多いほか、「地域に新しい知り合いができる」(43%)が他の年代よりも多くなっている。

○70代以上では、「社会や地域のために役立っていることが実感できる」(44%)が他の年代よりも多くなっている。

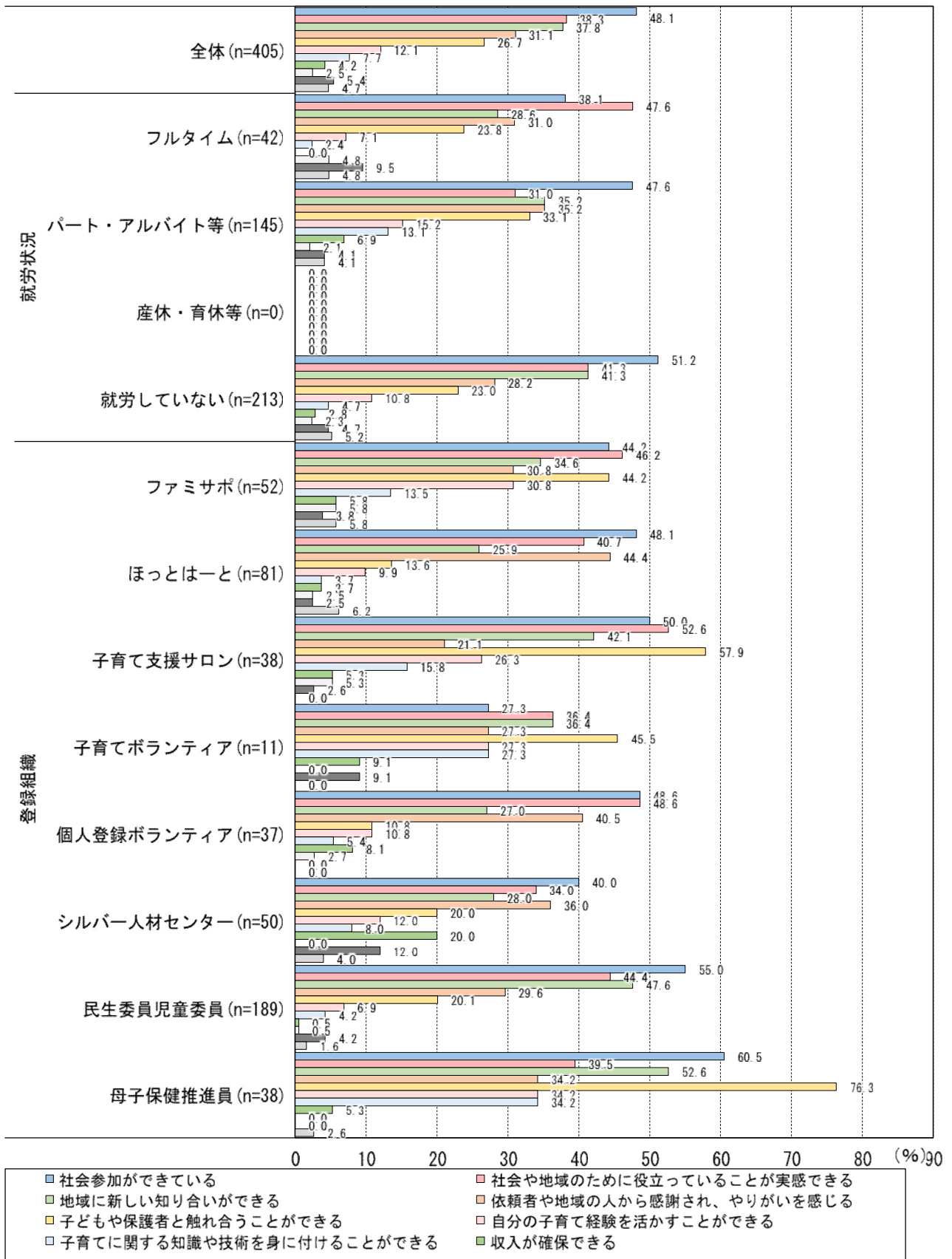
○男女別にみると、男性では「社会や地域のために役立っていることが実感できる」が62%と女性よりも多くなっている。一方、女性では、「地域に新しい知り合いができる」(39%)や「子どもや保護者と触れ合うことができる」(30%)が男性よりも多くなっている。

図 ボランティア活動を行うことで得ているもの（年齢・男女・世帯構成別）



○登録組織別にみると、子育て支援サロンや母子保健推進員では「子どもや保護者と触れ合うことができる」が多くなっている。

図 ボランティア活動を行うことで得ているもの（就労状況・登録組織別）

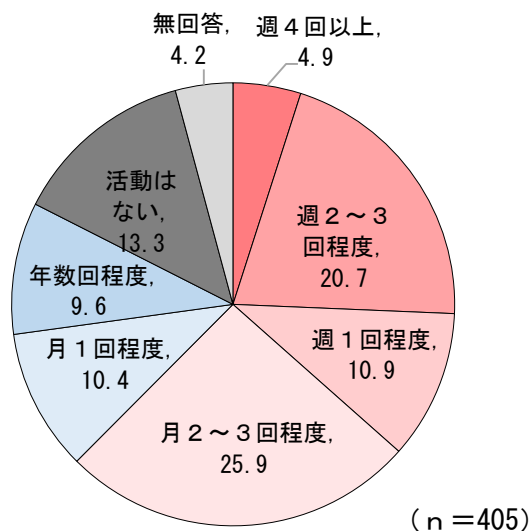


問 10 あなたは、ボランティア活動をどの程度行っていますか。

○ボランティア活動を行っている人のボランティア活動を行う頻度は、「月2～3回程度」が26%と最も多く、次いで「週2～3回程度」(21%)、「週1回程度」(11%)となっている。

○37%の人が週1回以上ボランティア活動を行っており、73%の人が月1回以上ボランティア活動を行っていることが分かる。

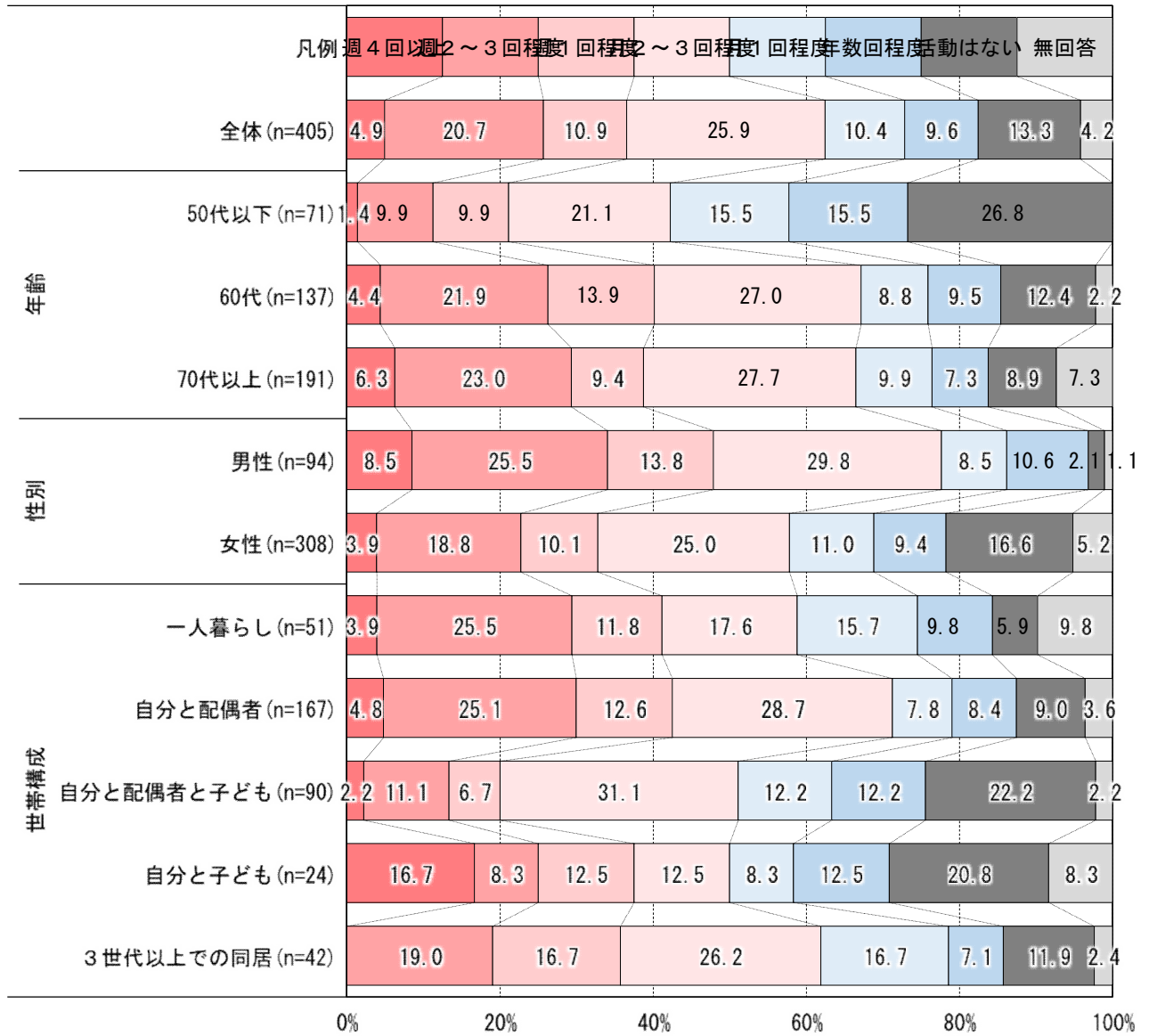
図 ボランティア活動を行う頻度（全体）



○年齢別にみると、70代以上の活動頻度が高くなっている。

○男女別では、男性の方が活動頻度が高くなっている。

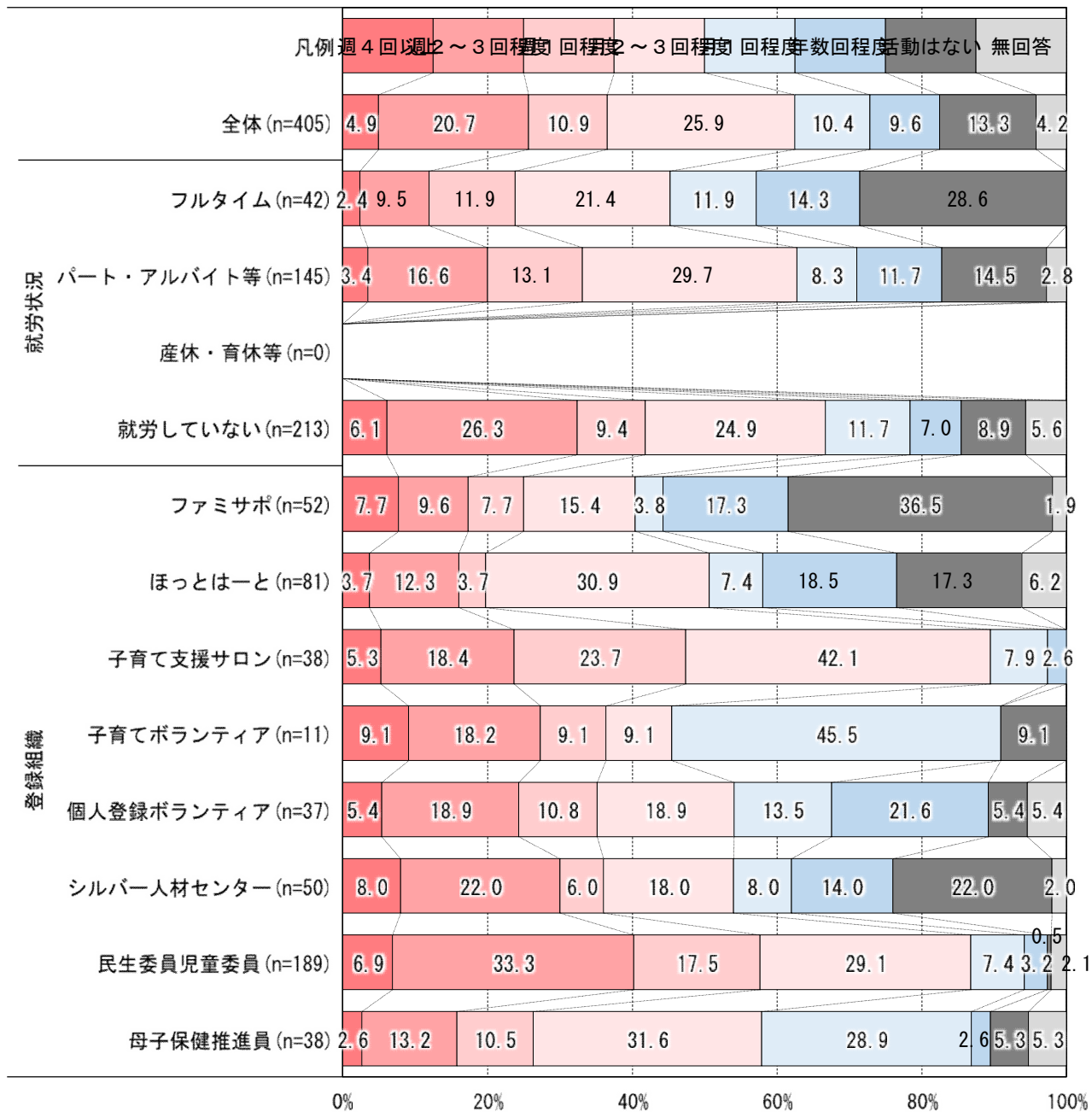
図 ボランティア活動を行う頻度（年齢・男女・世帯構成別）



○就労状況では、フルタイムよりもフルタイム以外の方が活動頻度が高くなっている。

○登録組織別では、子育て支援さらにや民生委員児童委員が活動頻度が高くなっている。

図 ボランティア活動を行う頻度（就労状況・登録組織別）

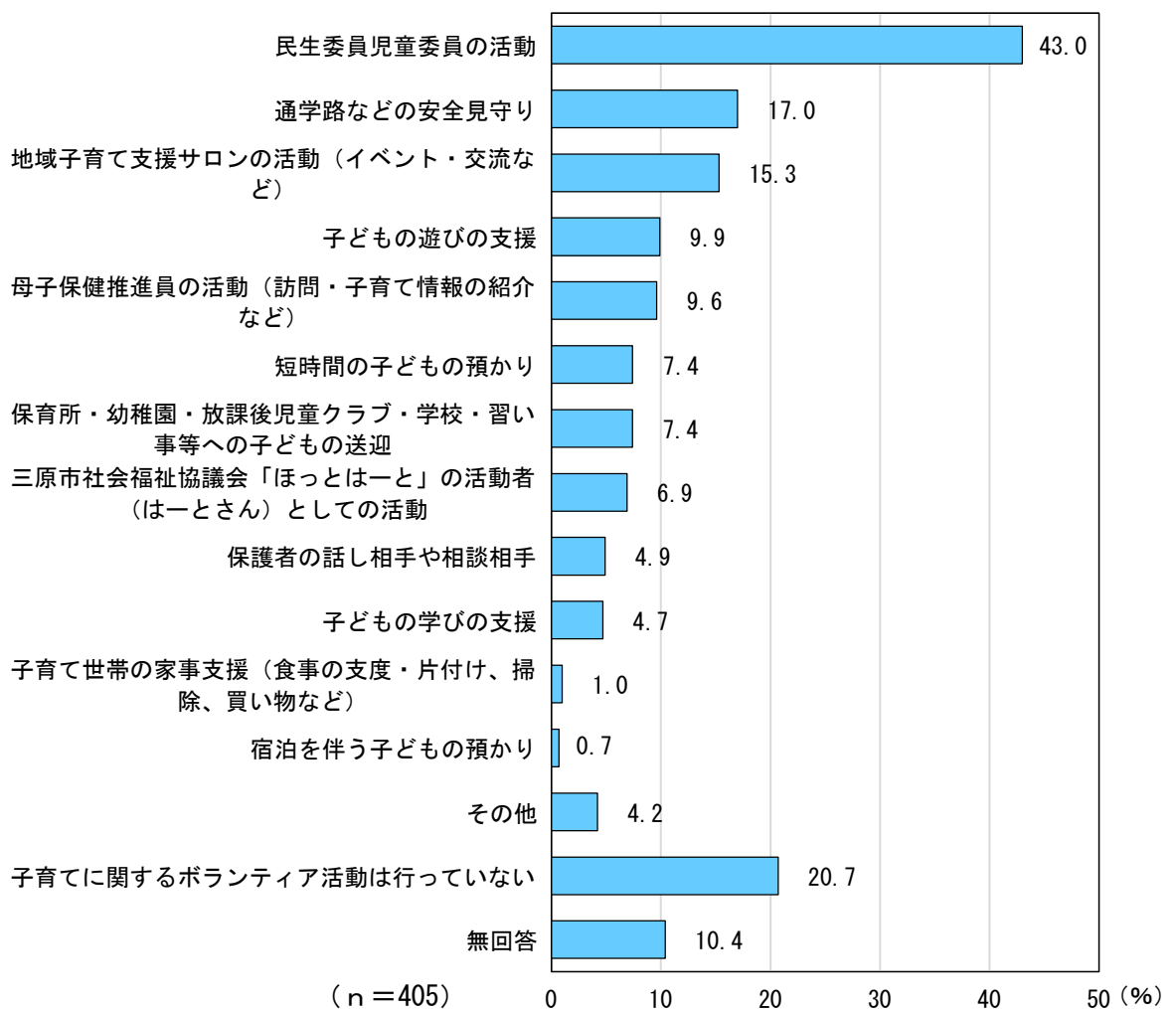


4 子育てに関するボランティア活動について

問 11 あなたが行っている子育てに関するボランティア活動を教えてください。(複数回答)

- 行っている子育てに関するボランティア活動は「民生委員児童委員の活動」(43%)が最も多くなっている。
- そのほか、「通学路などの安全見守り」(17%),「地域子育て支援サロンの活動(イベント・交流など)」(15%)がやや多くなっている。

図 行っている子育てに関するボランティア活動(全体)



- 年齢別にみると、50代以下では「母子保健推進員の活動（訪問・子育て情報の紹介など）」（30%）や「短時間の子どもの預かり」（18%）が他の年代よりも多くなっている。
- 60代では、「民生委員児童委員の活動」が53%と最も多いほか、「通学路などの安全見守り」（20%）が他の年代よりも多くなっている。
- 男女別にみると、男性では「民生委員児童委員の活動」が66%と女性よりも多くなっている。一方、女性では、「母子保健推進員の活動（訪問・子育て情報の紹介など）」（13%）が男性よりも多くなっている。

図 行っている子育てに関するボランティア活動（年齢・男女別）

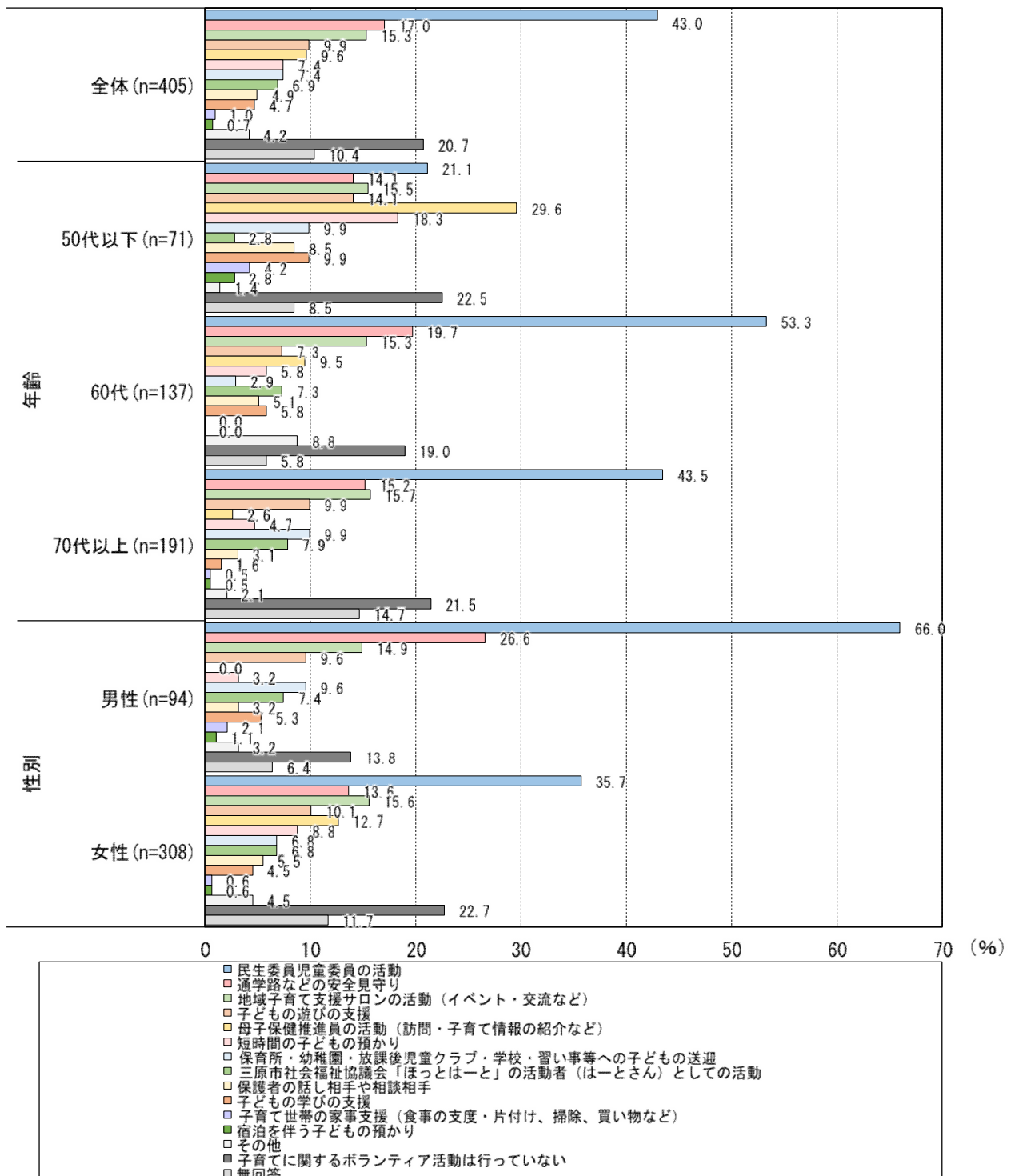


図 行っている子育てに関するボランティア活動（世帯構成別）

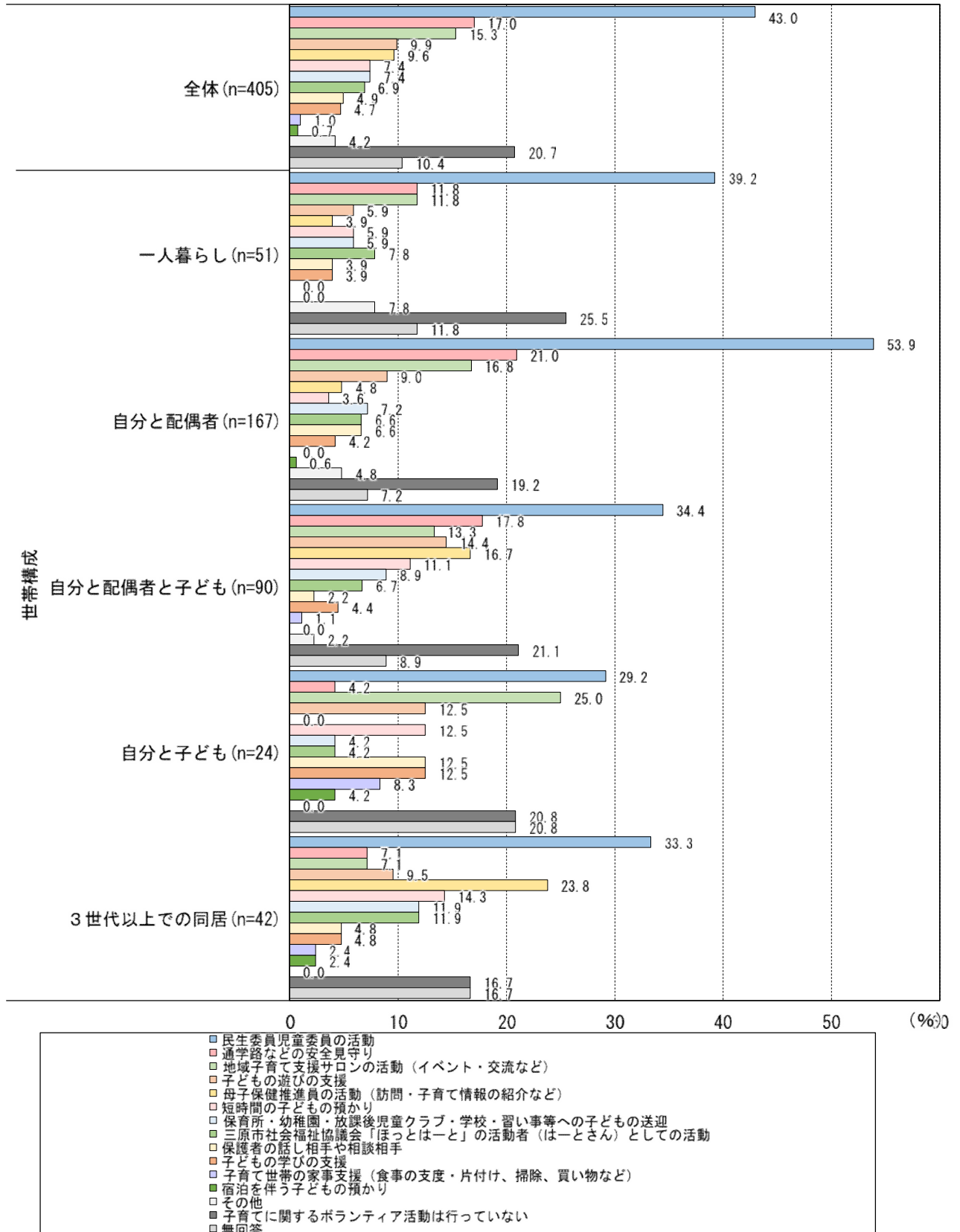


図 行っている子育てに関するボランティア活動（就労状況別）

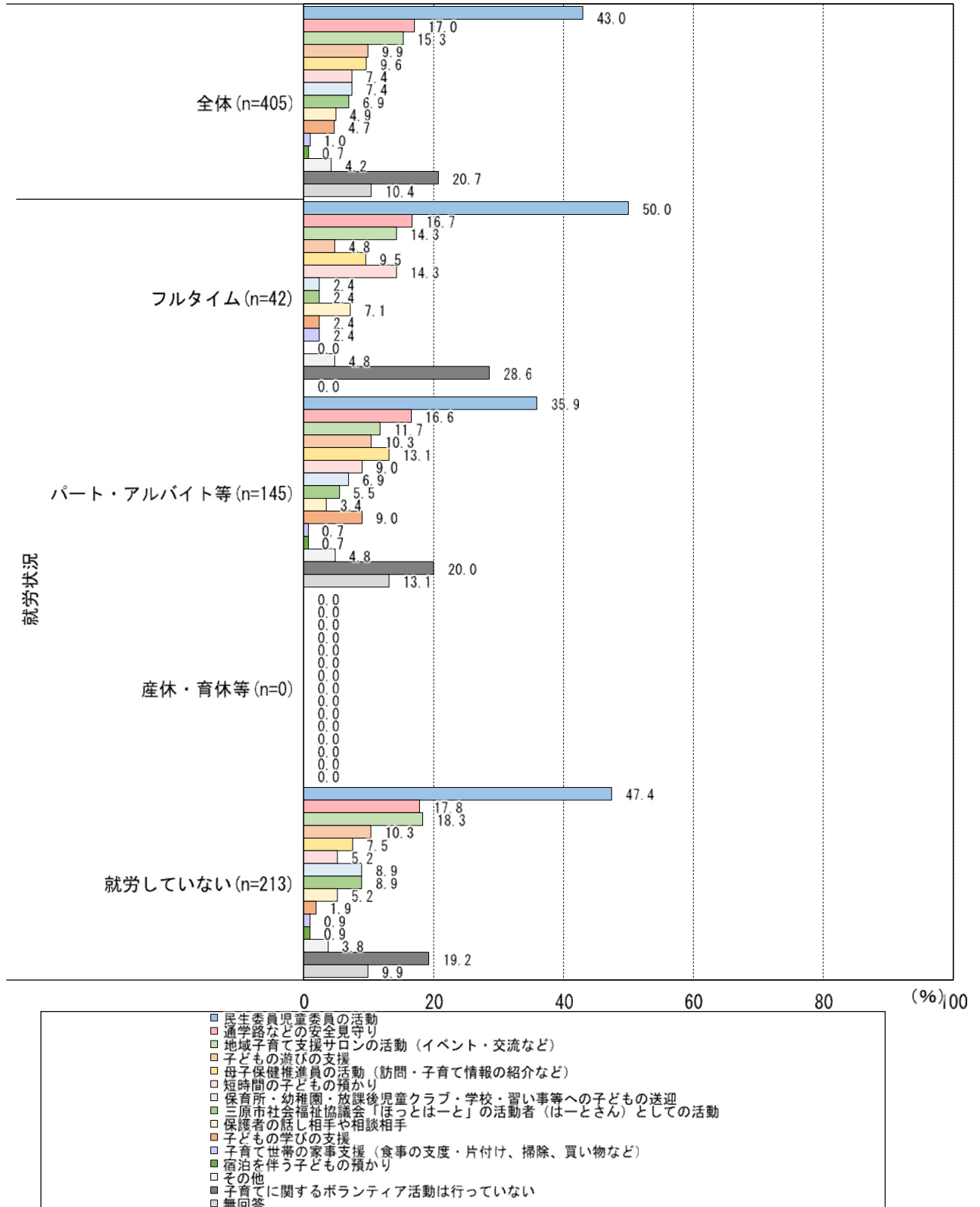
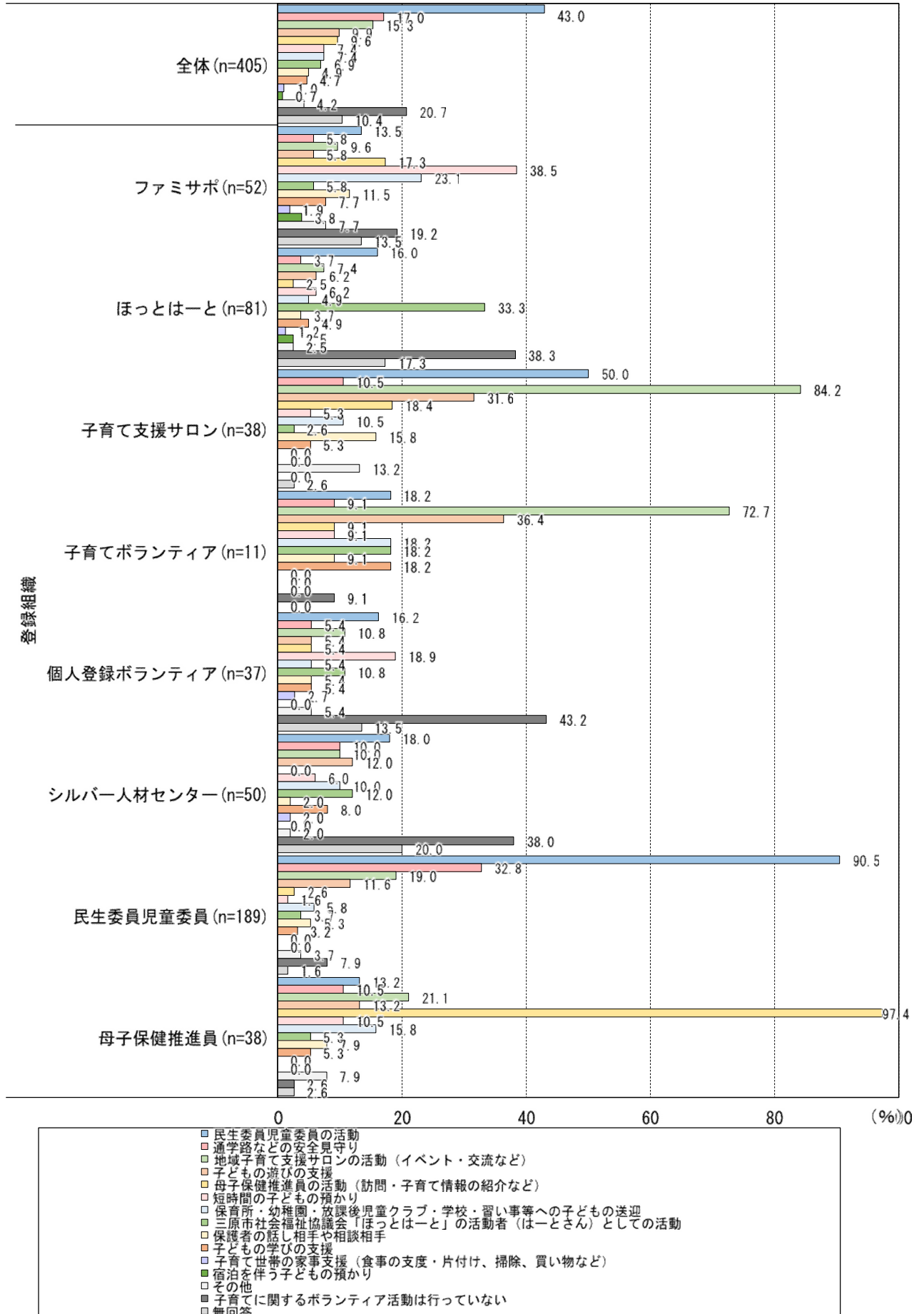


図 行っている子育てに関するボランティア活動（登録組織別）

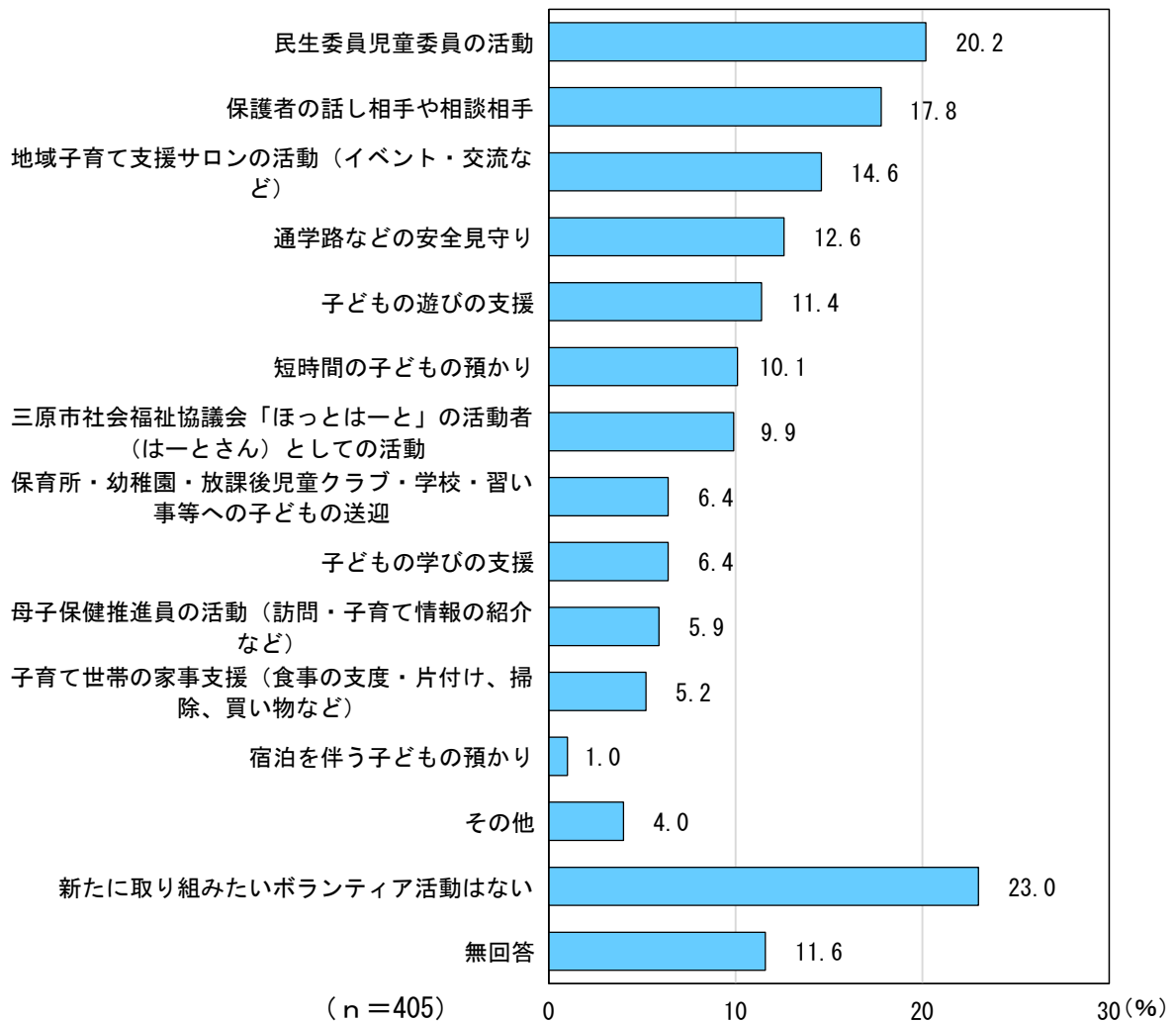


問 12

あなたが、今後新たに取り組みたい子育てに関するボランティア活動を教えてください。(複数回答)

- 今後新たに取り組みたい子育てに関するボランティア活動も「民生委員児童委員の活動」(20%) が最も多く、「民生委員児童委員の活動」は子育てに関するボランティア活動の中で人気があることが伺える。
- また、「保護者の話し相手や相談相手」(18%),「地域子育て支援サロンの活動(イベント・交流など)」(15%) も多くなっている。

図 今後新たに取り組みたい子育てに関するボランティア活動(全体)



- 年齢別にみると、50代以下では「保護者の話し相手や相談相手」(31%)や「短時間の子どもの預かり」(24%)が他の年代よりも多くなっている。
- 70代以上では、「通学路などの安全見守り」(15%)や「三原市社会福祉協議会「ほっとは一と」の活動者(は一とさん)としての活動」(12%)が他の年代よりも多くなっている。
- 男女別にみると、男性では「民生委員児童委員の活動」が34%と女性よりも多くなっている。一方、女性では、「保護者の話し相手や相談相手」(20%)や「地域子育て支援サロンの活動(イベント・交流など)」(17%)が男性よりも多くなっている。

図 今後新たに取り組みたい子育てに関するボランティア活動(年齢・男女別)

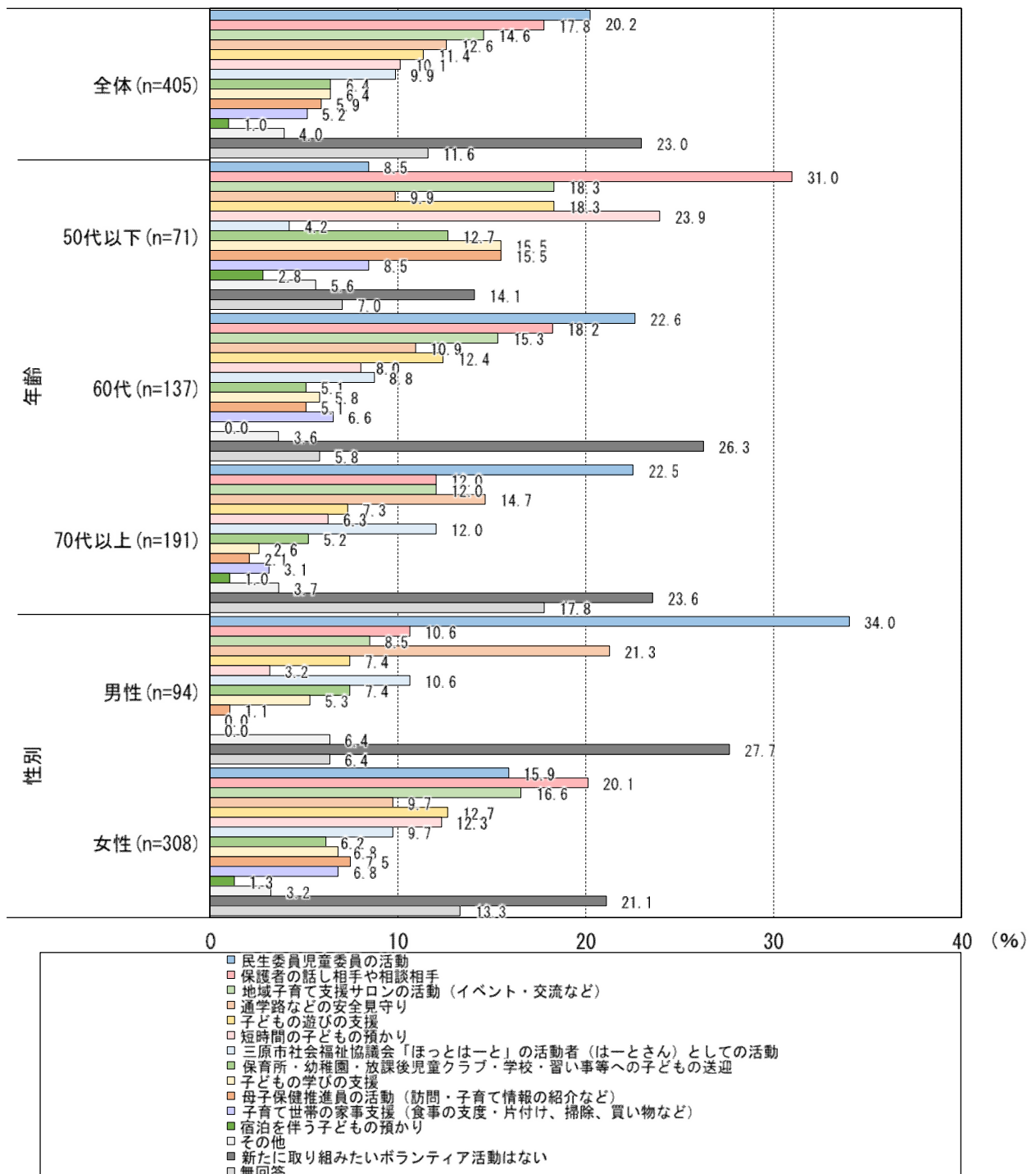


図 今後新たに取り組みたい子育てに関するボランティア活動（世帯構成別）

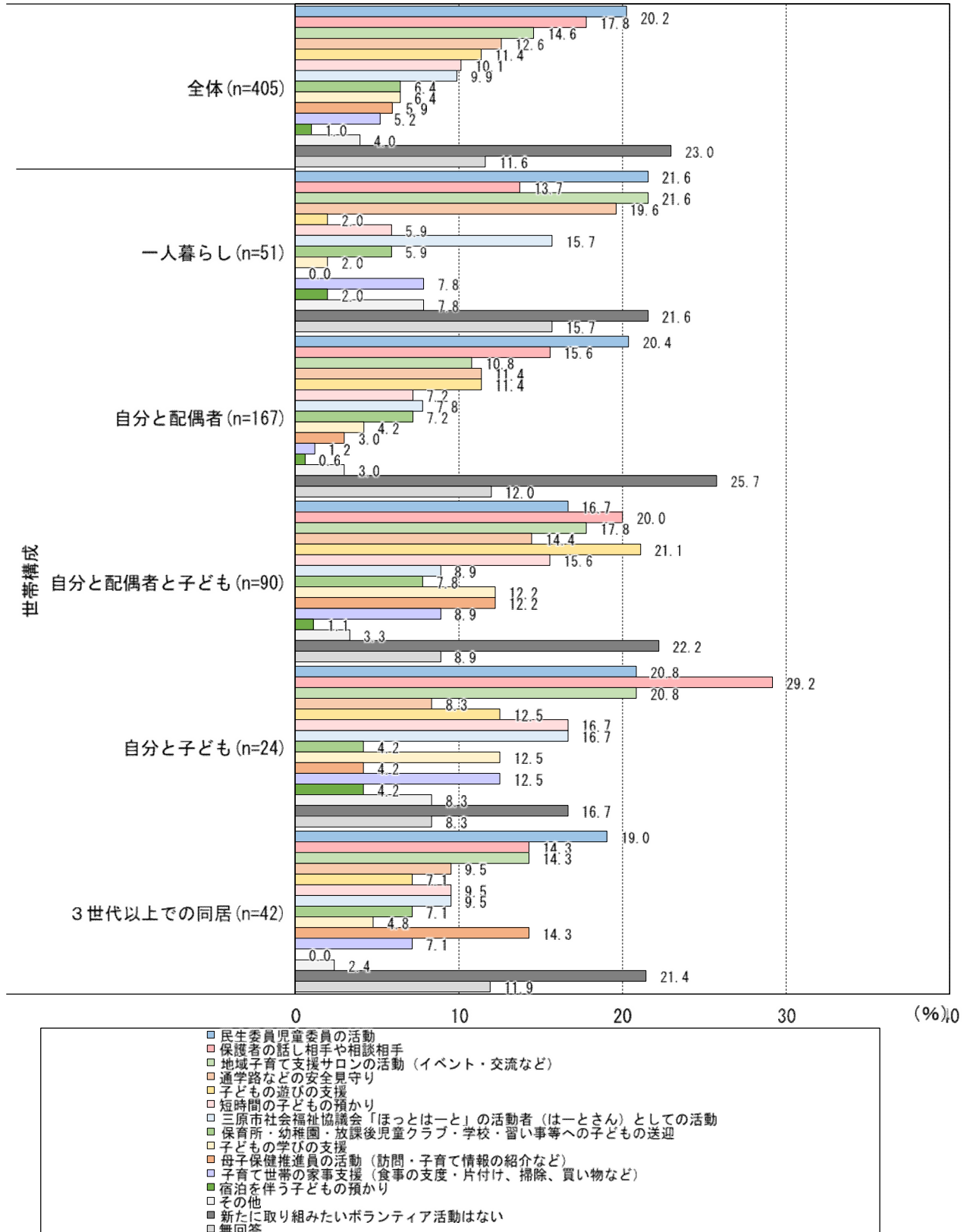
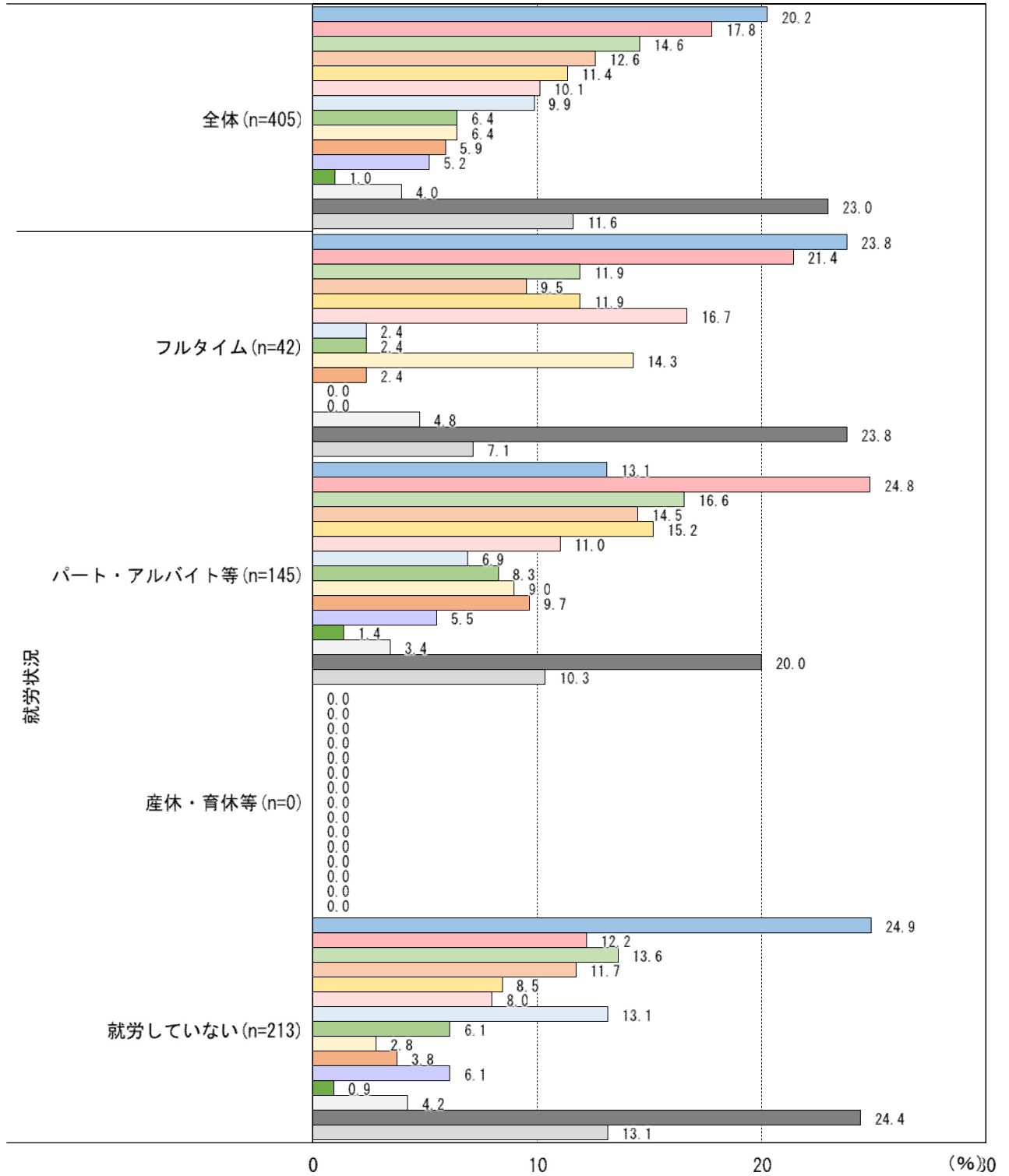
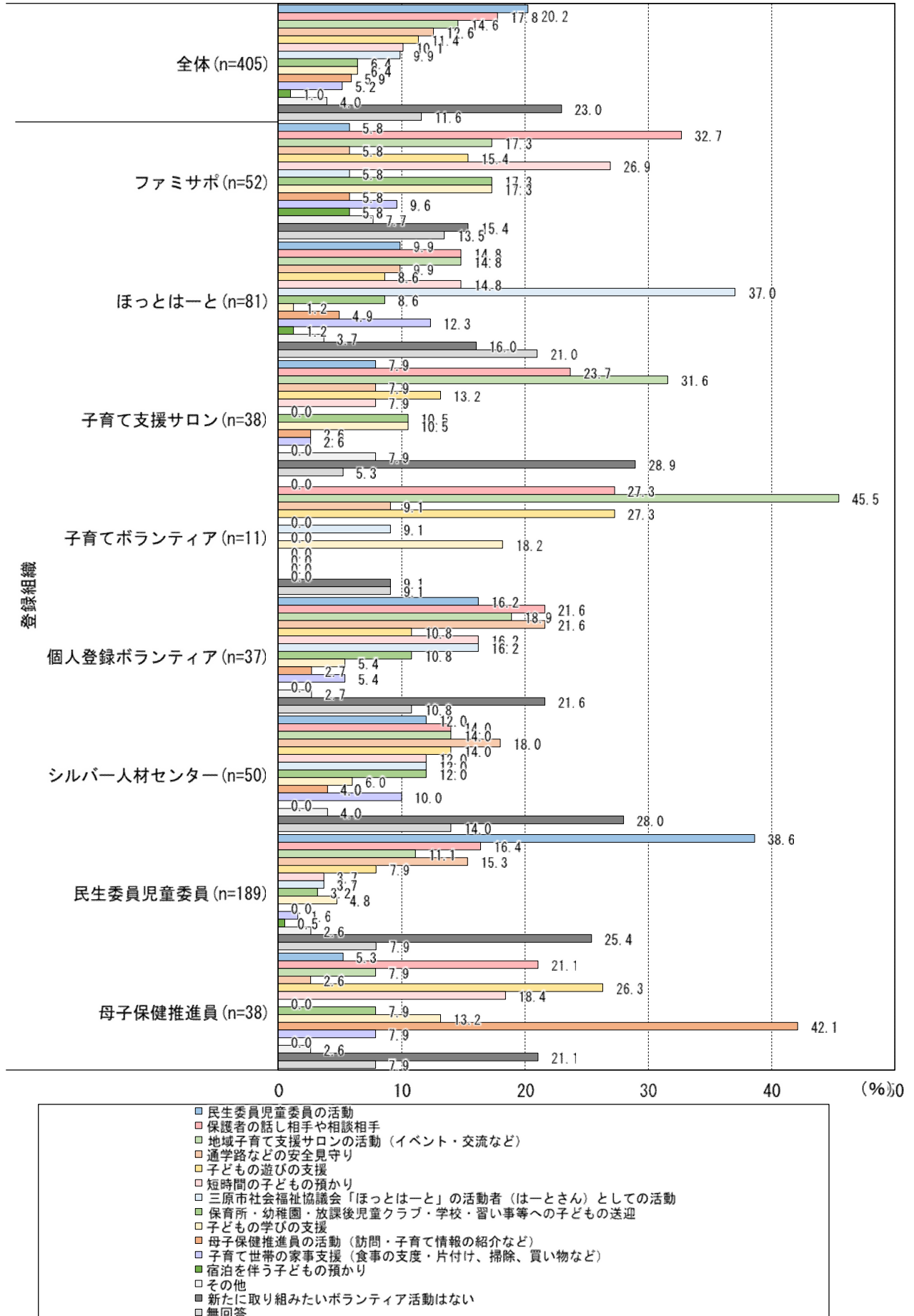


図 今後新たに取り組みたい子育てに関するボランティア活動（就労状況別）



- 民生委員児童委員の活動
- 保護者の話し相手や相談相手
- 地域子育て支援サロンの活動（イベント・交流など）
- 通学路などの安全見守り
- 子どもの遊びの支援
- 短時間の子ども預かり
- 三原市社会福祉協議会「ほっとはーと」の活動者（はーとさん）としての活動
- 保育所・幼稚園・放課後児童クラブ・学校・習い事等への子どもの送迎
- 子どもの学びの支援
- 母子保健推進員の活動（訪問・子育て情報の紹介など）
- 子育て世帯の家事支援（食事の支度・片付け、掃除、買い物など）
- 宿泊を伴う子どもの預かり
- その他
- 新たに取り組みたいボランティア活動はない
- 無回答

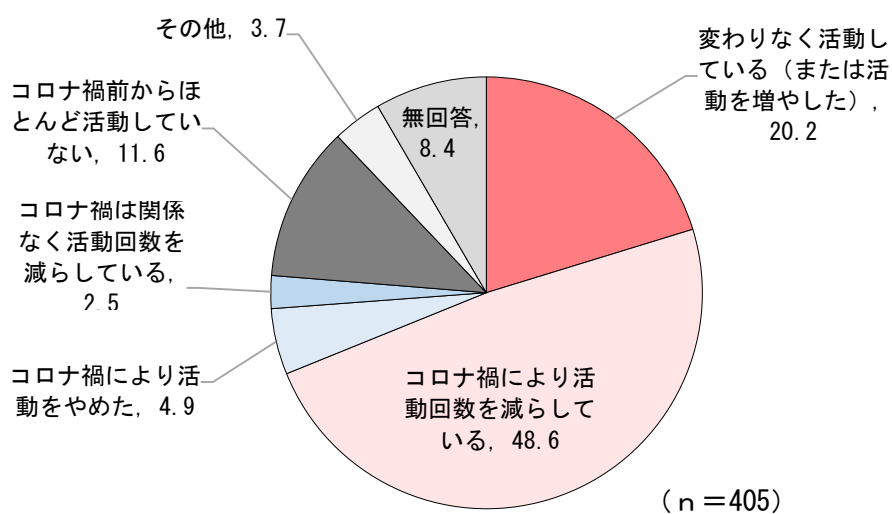
図 今後新たに取り組みたい子育てに関するボランティア活動（登録組織別）



問 13 あなたは、コロナ禍前後でボランティア活動に変化はありましたか。

- 「コロナ禍により活動回数を減らしている」が49%となっており、過半数近くの人がコロナ後にボランティアの活動回数を減らしている。
- 一方、「変わりなく活動している（または活動を増やした）」人は20%となっている。

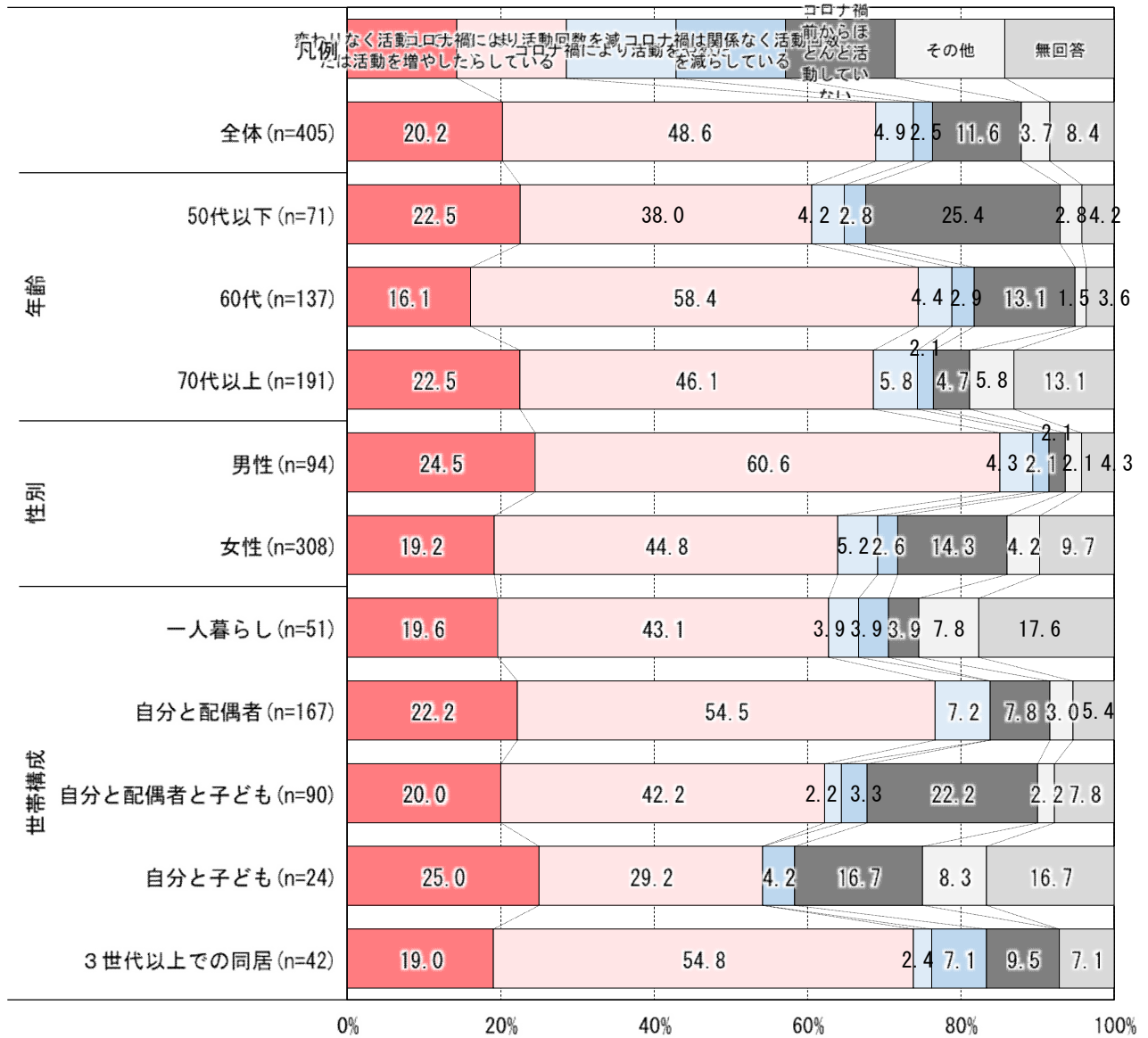
図 コロナ禍前後のボランティア活動の変化（全体）



○年齢別にみると、60代では「コロナ禍により活動回数を減らしている」が58%と他の年代より多くなっている。

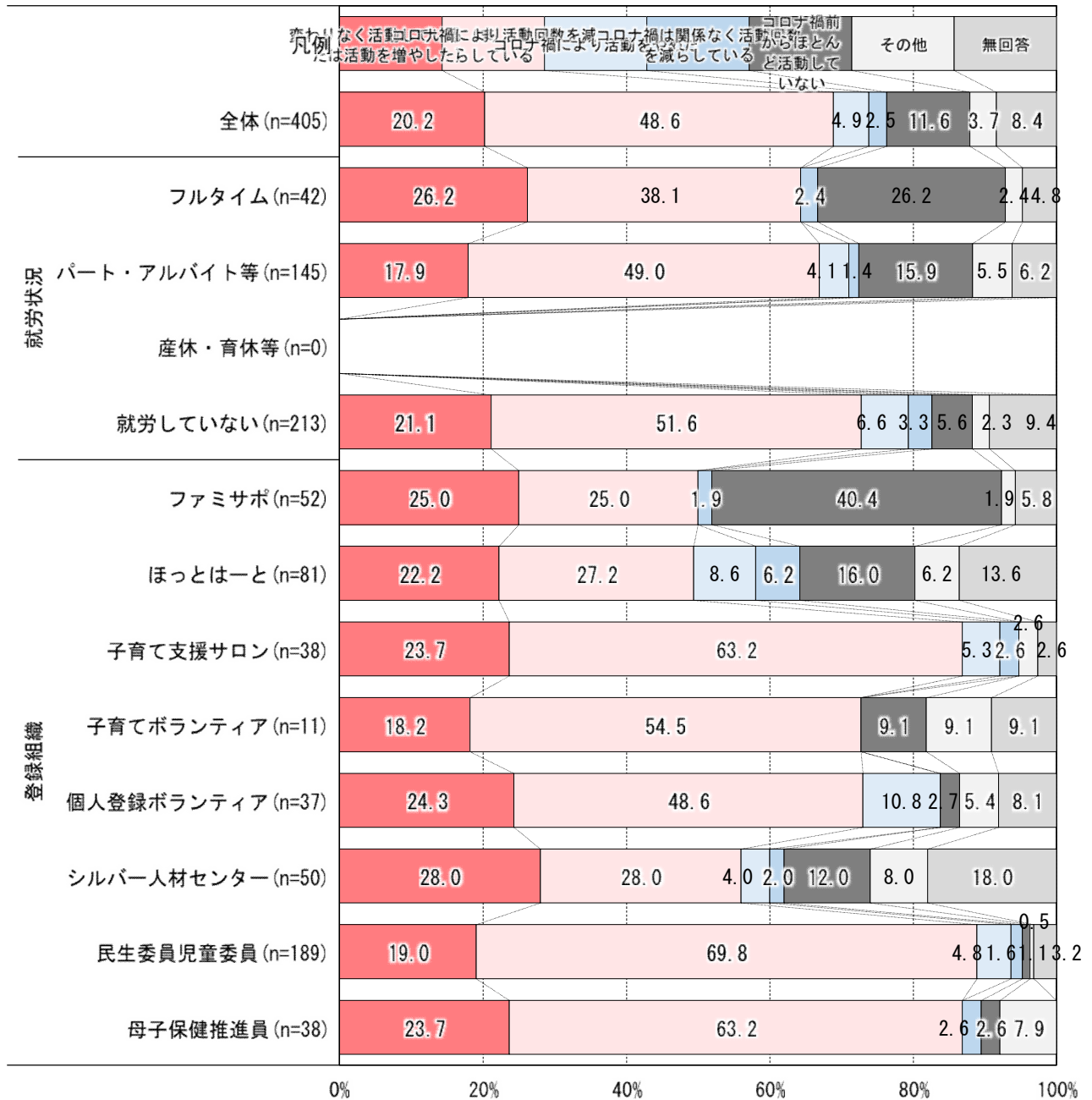
○男女別では、男性は「コロナ禍により活動回数を減らしている」が61%と多くなっている。

図 コロナ禍前後のボランティア活動の変化（年齢・男女・世帯構成別）



○登録組織別では、ファミサポで「コロナ禍前からほとんど活動していない」が40%と多くなっている。

図 コロナ禍前後のボランティア活動の変化（就労状況・登録組織別）



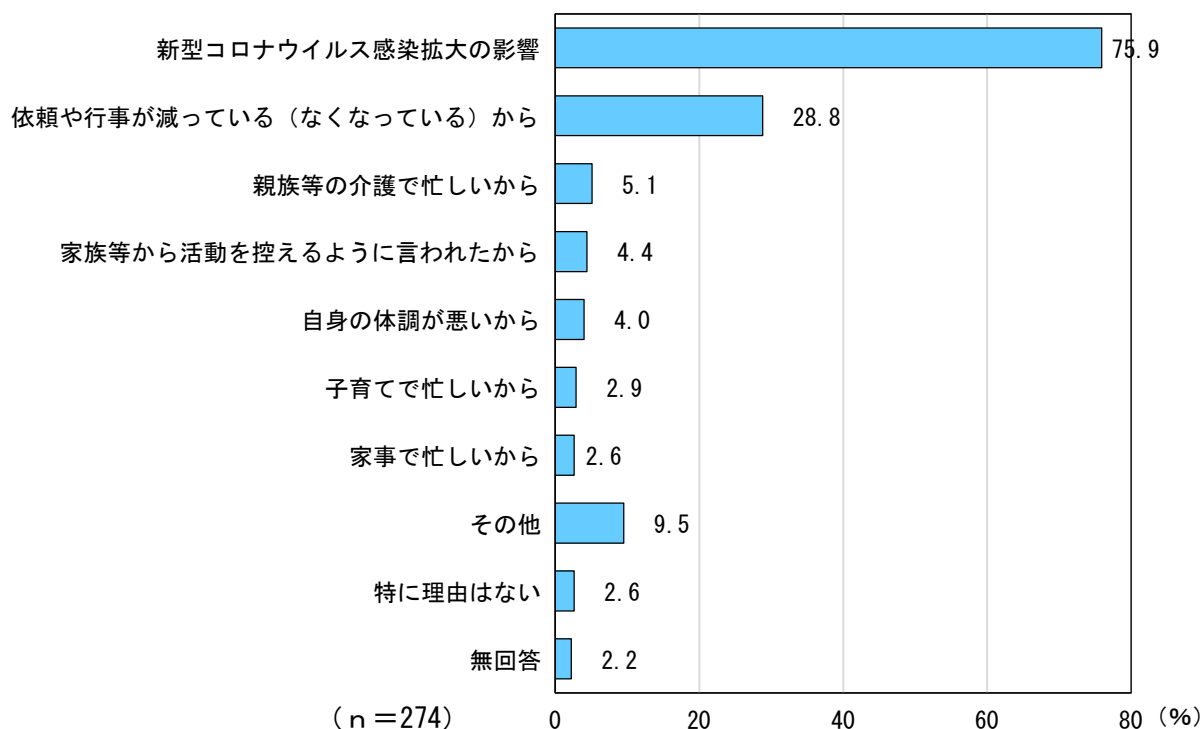
問 14

(問 13 で 2 ~ 5 と回答された方のみ)

活動回数を減らしたり、活動をやめた理由はどのようなものですか。(複数回答)

- ボランティア活動の回数を減らしたり、活動をやめた理由としては、「新型コロナウイルス感染拡大の影響」が 76% と非常に多くなっており、新型コロナウイルス感染拡大のボランティア活動に対する影響は大きいことが分かる。
- 次いで、「依頼や行事が減っている(なくなっている)から」も 29% とやや多くなっており、新型コロナウイルス感染拡大が影響していることが伺える。

図 活動回数を減らしたり、活動をやめた理由(全体)



○年齢別にみると、50代以下では「子育てで忙しいから」（12%）や「家事で忙しいから」（10%）が他の年代よりも多くなっている。

○60代では、「親族等の介護で忙しいから」（8%）が他の年代よりもやや多くなっている。

○男女別にみると、男女ともに「新型コロナウイルス感染拡大の影響」が多くなっているが、男性が86%と女性よりやや多くなっている。

図 活動回数を減らしたり、活動をやめた理由（年齢・男女・世帯構成別）

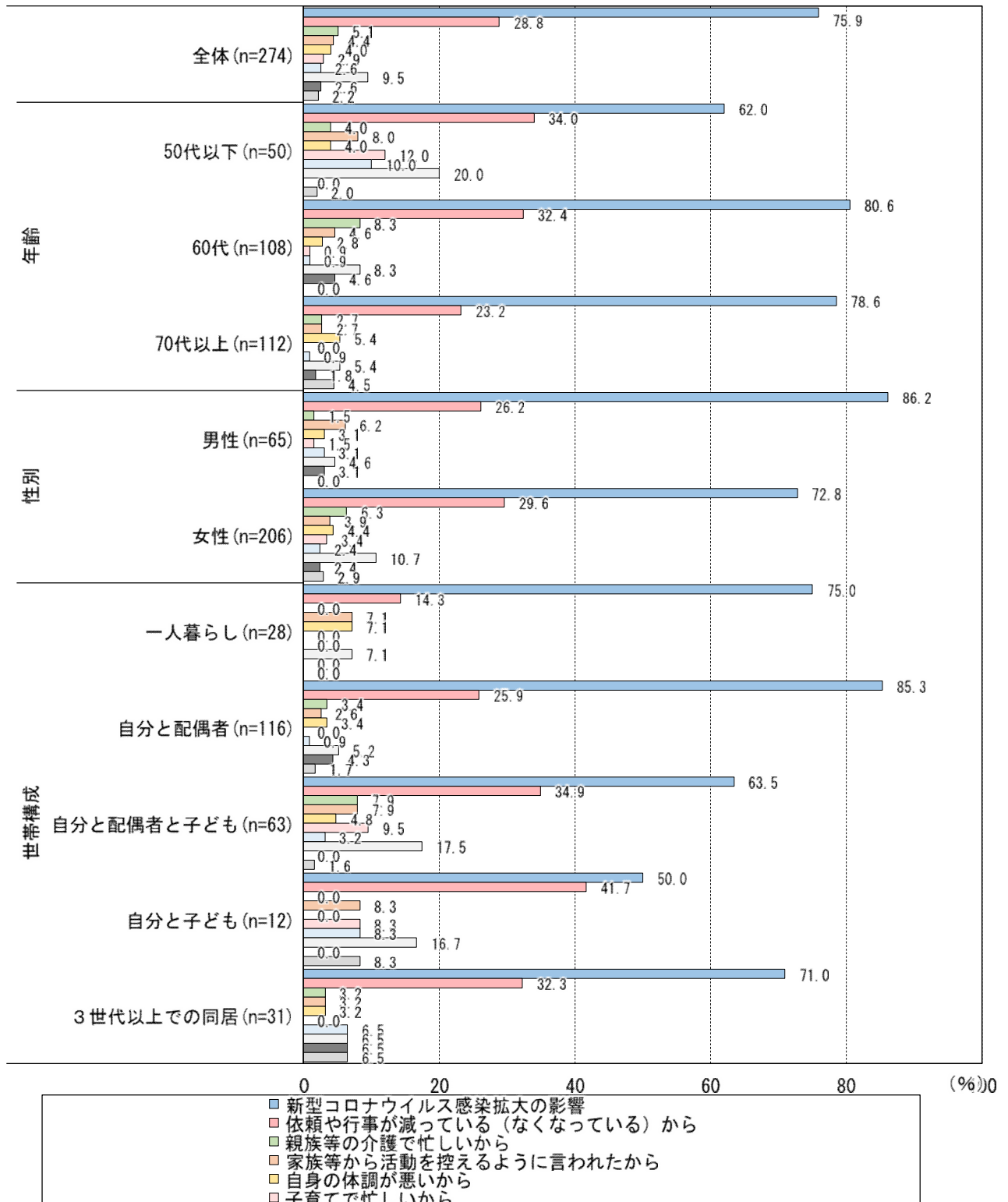
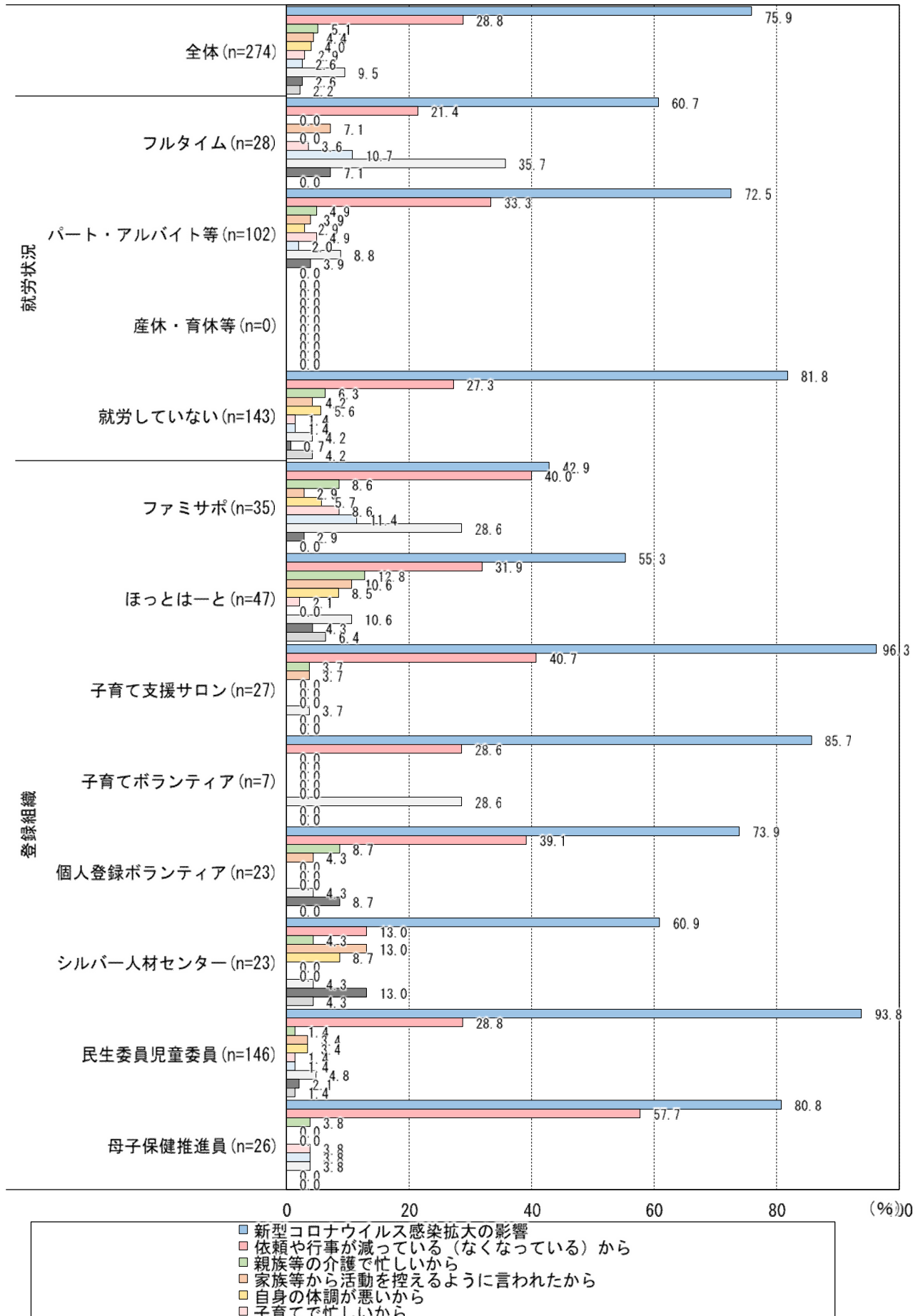


図 活動回数を減らしたり、活動をやめた理由（就労状況・登録組織別）

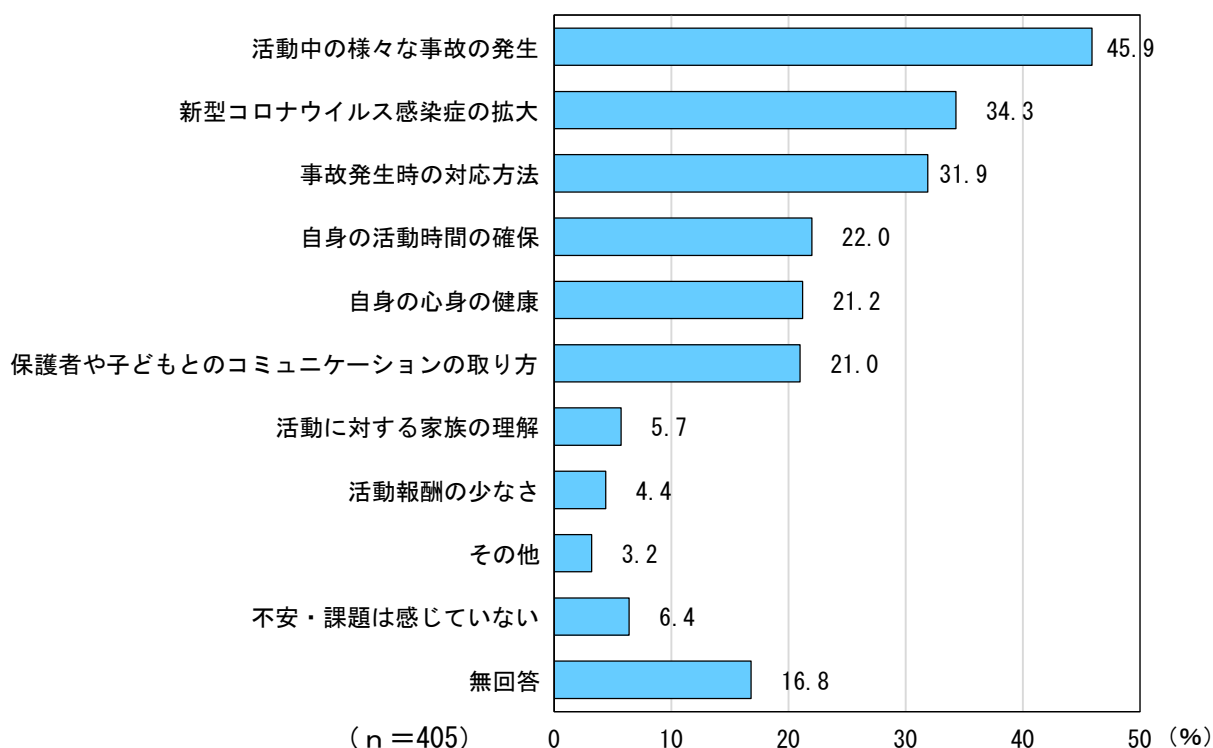


問 15

あなたが子育てに関するボランティア活動を行う上で、不安や課題と感じていることはありますか。(複数回答)

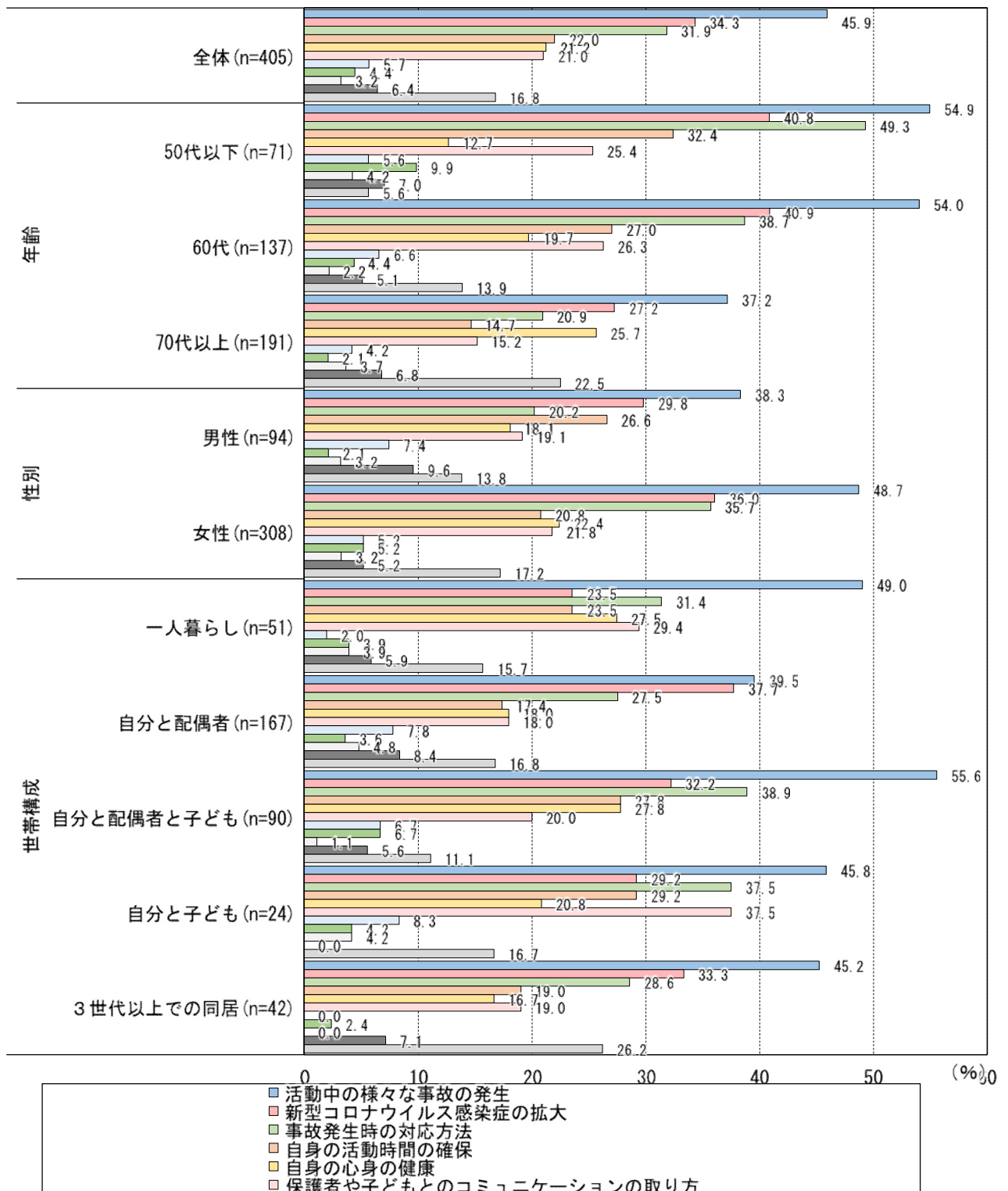
- 子育てに関するボランティア活動を行う上で、不安や課題と感じていることは「活動中の様々な事故の発生」が46%と最も多くなっている。
- そのほか、「新型コロナウイルス感染症の拡大」(34%)、「事故発生時の対応方法」(32%)も多くなっている。

図 子育てに関するボランティア活動を行う上で、不安や課題と感じていること(全体)



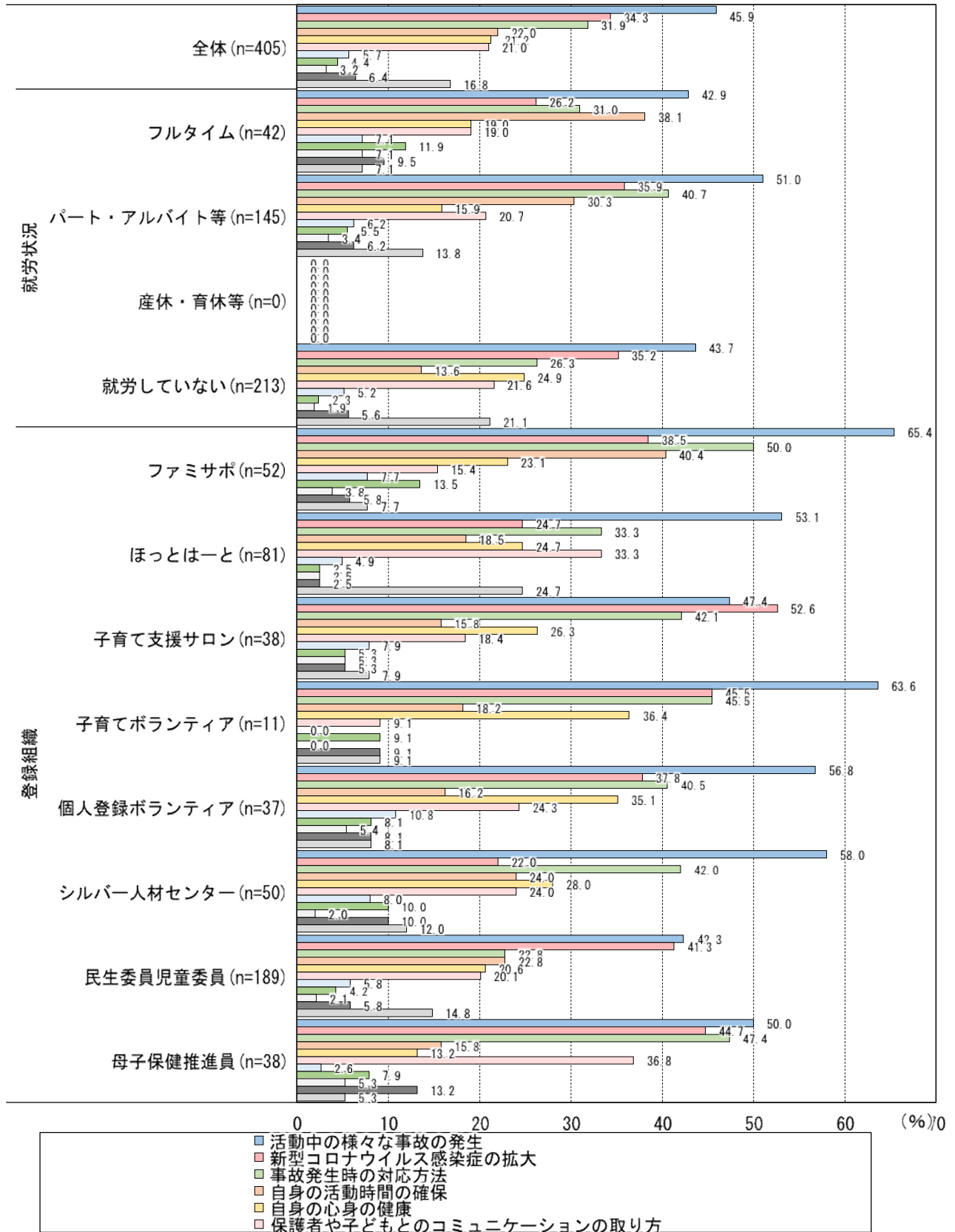
- 年齢別にみると、50代以下では「事故発生時の対応方法」(49%)が他の年代よりも多くなっている。
- 70代以上では、「自身の心身の健康」(26%)が他の年代よりも多くなっている。
- 男女別にみると、男性では「自身の活動時間の確保」が27%と女性よりも多くなっている。一方、女性では、「活動中の様々な事故の発生」(49%)や「事故発生時の対応方法」(36%)が男性よりも多くなっている。

図 子育てに関するボランティア活動を行う上で、不安や課題と感じていること
(年齢・男女・世帯構成別)



○登録組織別にみると、ファミサポでは「自身の活動時間の確保」が27%と女性よりも多くなっている。「事故発生時の対応方法」や「自身の活動時間の確保」が他よりも多くなっている。

図 子育てに関するボランティア活動を行う上で、不安や課題と感じていること
(就労状況・登録組織別)

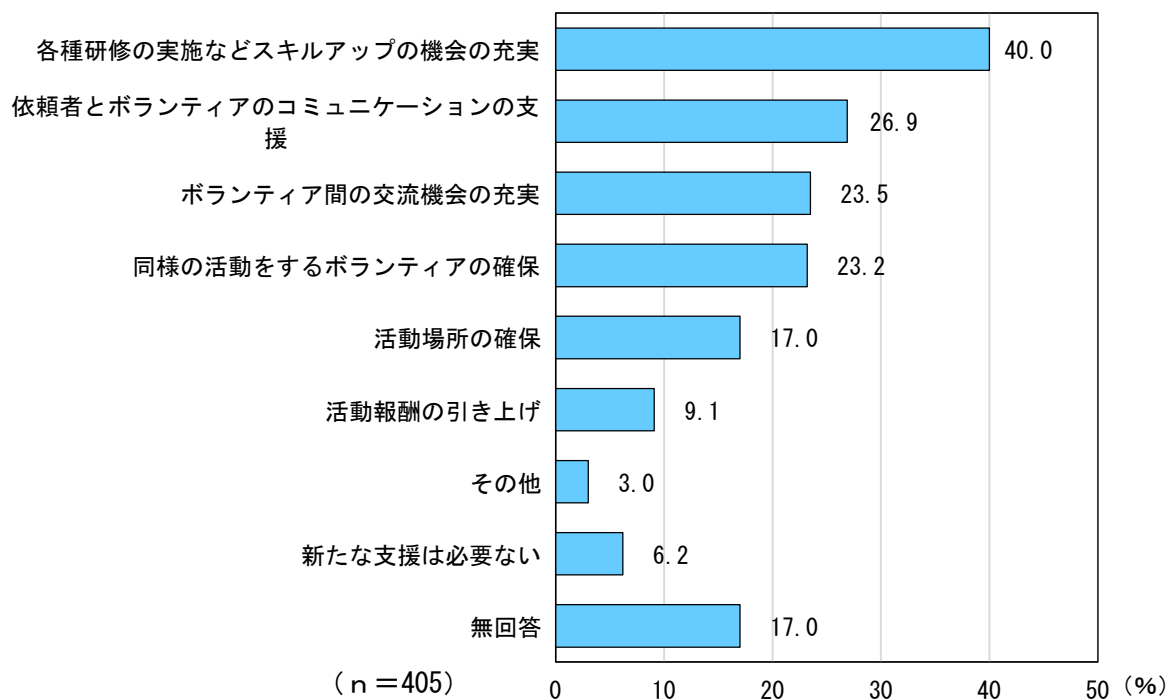


問 16

あなたが安心して子育てに関するボランティア活動を行うためには、どのような支援が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

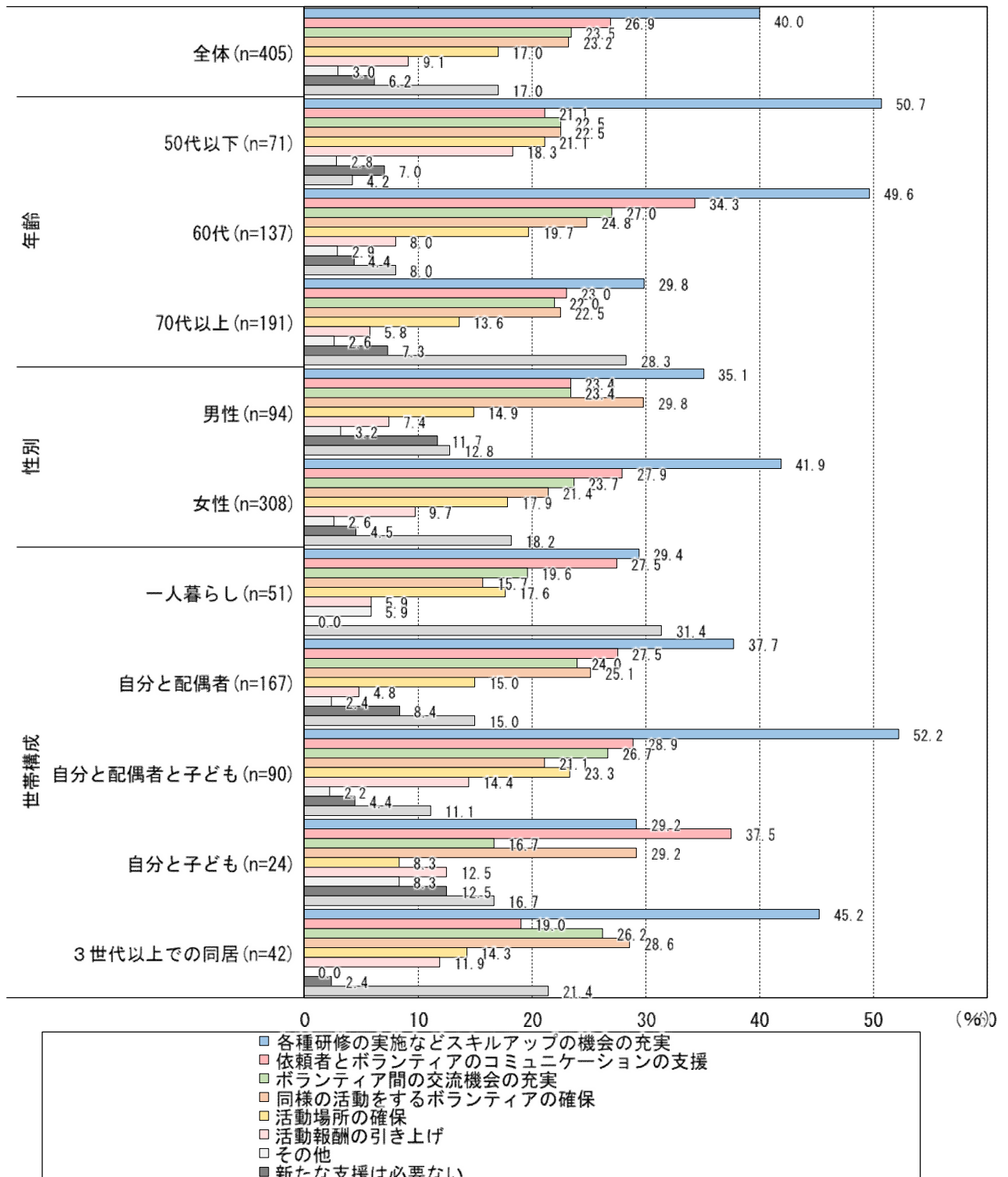
- 「各種研修の実施などスキルアップの機会の充実」が40%と最も多くなっており、自身のスキルアップの機会が求められていることが分かる。
- そのほか、「依頼者とボランティアのコミュニケーションの支援」(27%)、「ボランティア間の交流機会の充実」(24%)、「同様の活動をするボランティアの確保」(23%)も多くなっている。

図 安心して子育てに関するボランティア活動を行うために必要な支援（全体）



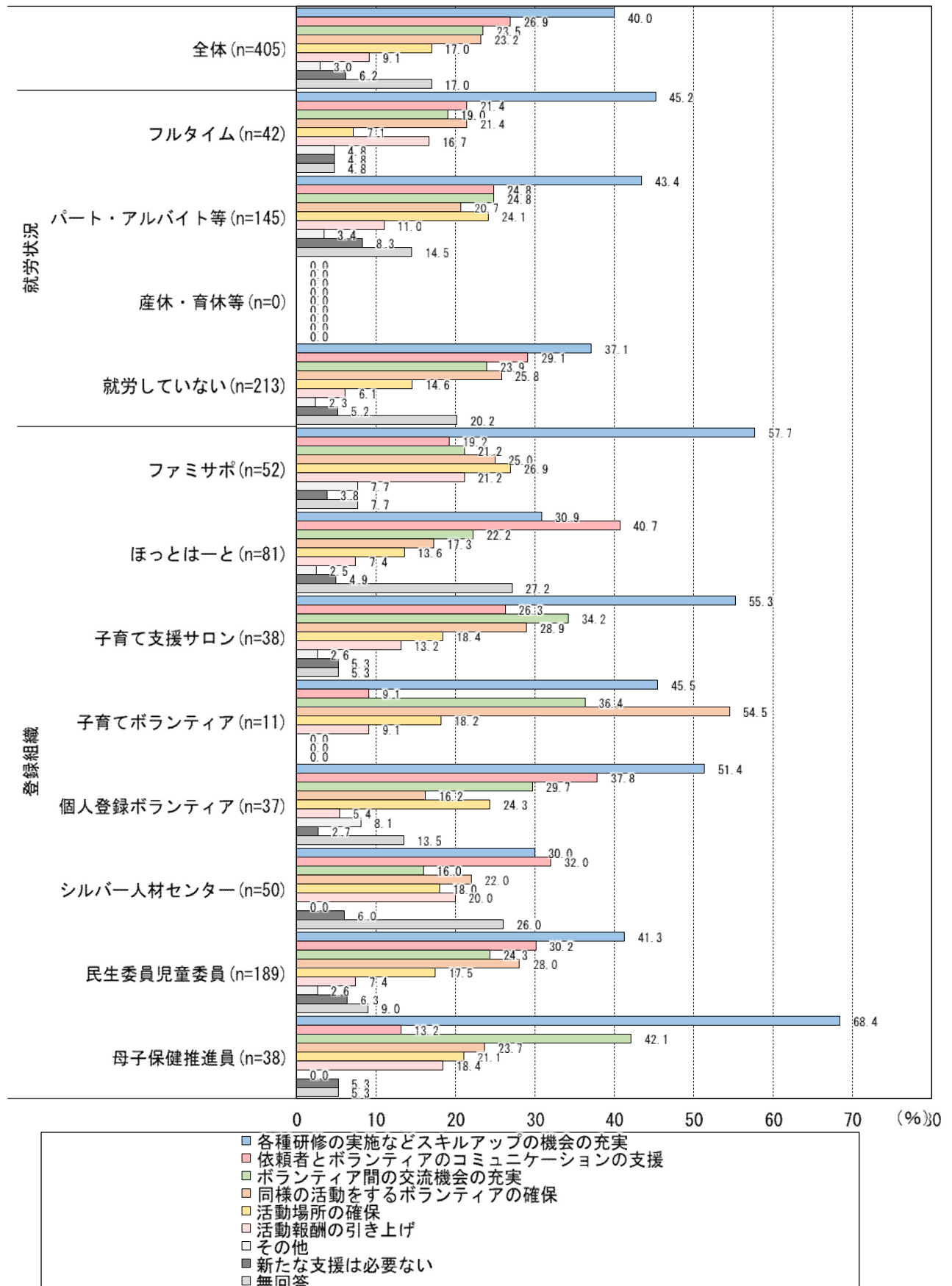
- 年齢別にみると、50代以下では「活動報酬の引き上げ」(18%)が他の年代よりも多くなっている。
- 60代では、「依頼者とボランティアのコミュニケーションの支援」(34%)や「ボランティア間の交流機会の充実」(27%)が他の年代よりも多くなっている。
- 男女別にみると、男性では「同様の活動をするボランティアの確保」が30%と女性よりも多くなっている。一方、女性では、「各種研修の実施などスキルアップの機会の充実」(42%)や「依頼者とボランティアのコミュニケーションの支援」(28%)が男性よりも多くなっている。

図 安心して子育てに関するボランティア活動を行うために必要な支援（年齢・男女・世帯構成別）



○登録組織別では、ファミサポで「活動場所の確保」が27%と他よりも多くなっている。

図 安心して子育てに関するボランティア活動を行うために必要な支援（就労状況・登録組織別）

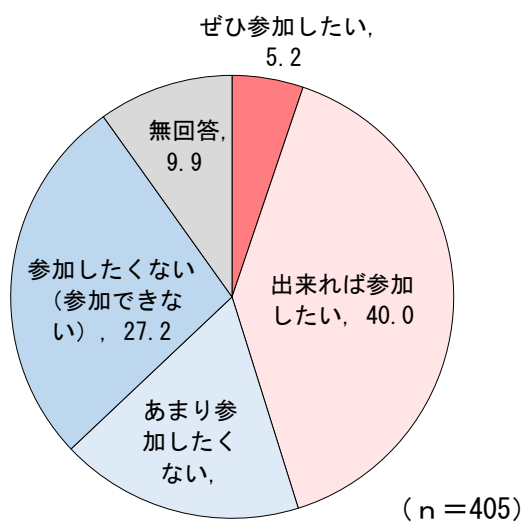


問 17

三原市では、今年度、子育てに関するボランティア活動に取り組む人（活動に興味がある人を含む）向けの研修会を開催する予定です。あなたは参加したいと思いますか。

- 子育てに関するボランティア活動に取り組む人（活動に興味がある人を含む）向けの研修会への参加意向をみると、「出来れば参加したい」（40%）が最も多くなっている。
- 45%の人が参加したい（「ぜひ参加したい」+「出来れば参加したい」以下同様）と回答しており、研修会の需要があることが分かる。

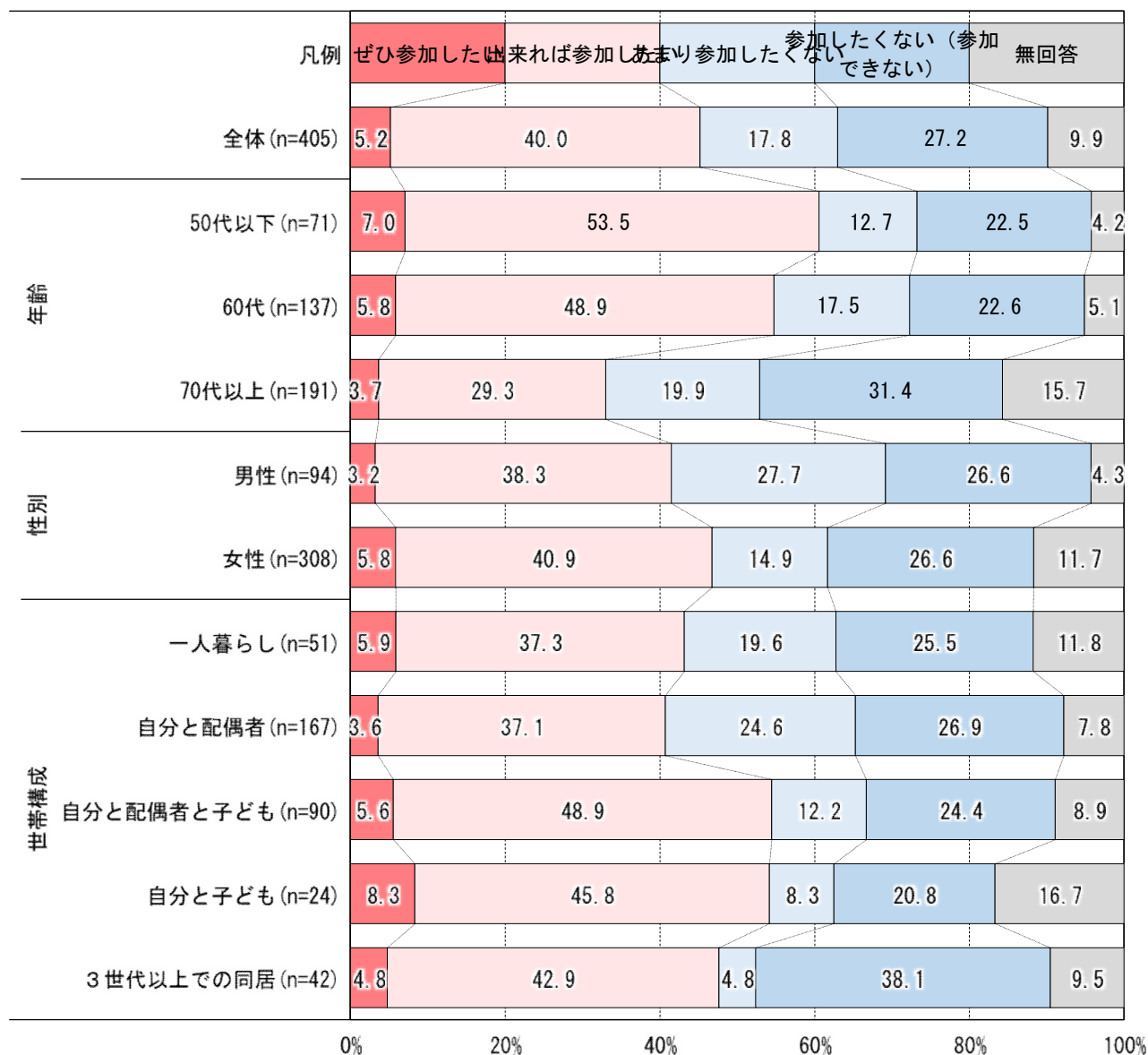
図 研修会への参加意向（全体）



○年齢別にみると、年代が下がるにつれて、参加したいと回答する割合が高くなっており、50代以下では61%が参加したい（「ぜひ参加したい」+「出来れば参加したい」）と回答している。

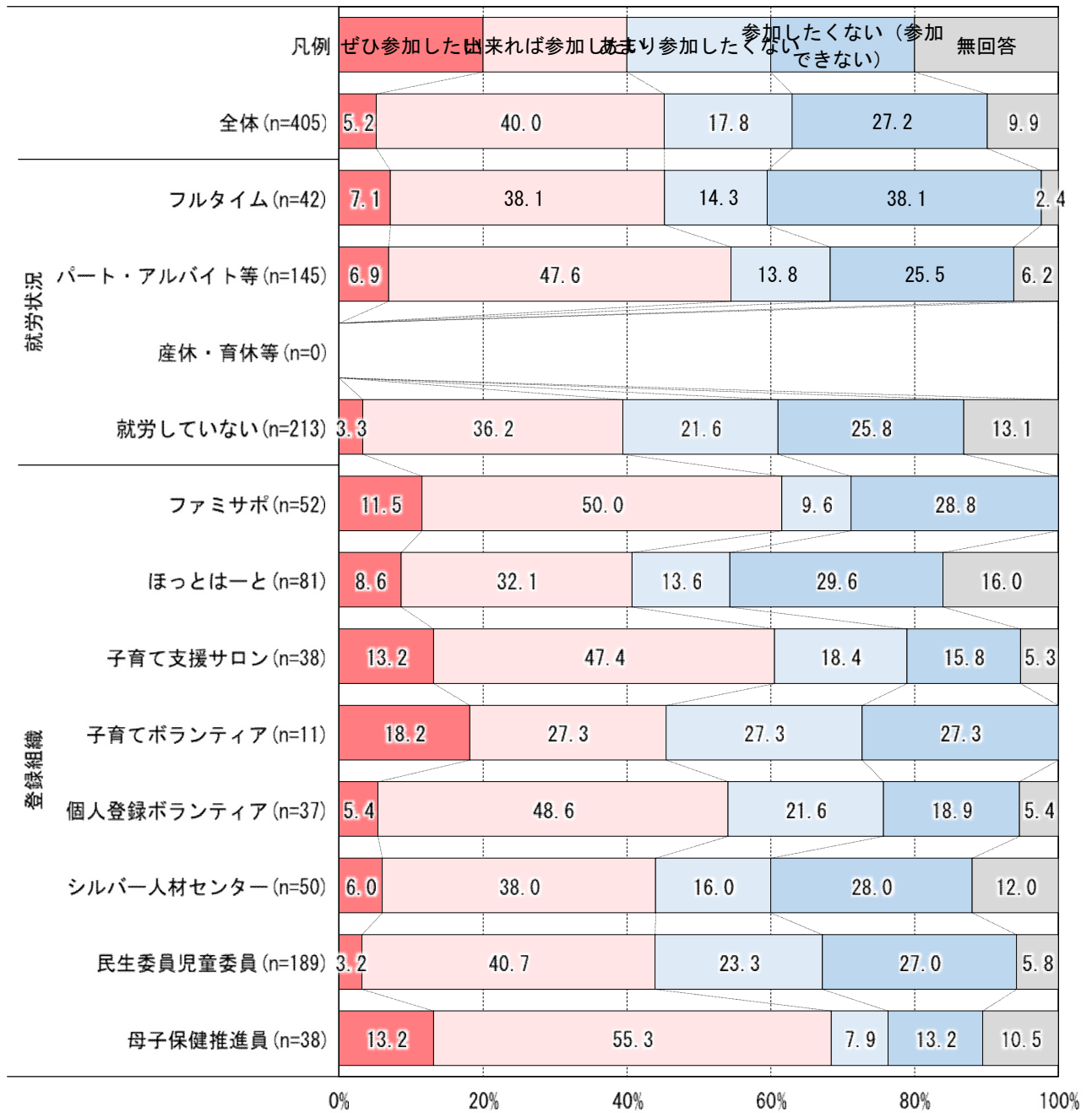
○男女別では、女性のほうが参加したいと回答する割合が高くなっている。

図 研修会への参加意向（年齢・男女・世帯構成別）



○登録組織別にみると、ファミサポ、子育て支援サロン、母子健康推進委員で参加したい（「ぜひ参加したい」+「出来れば参加したい」）と回答する人が多くなっている。

図 研修会への参加意向（就労状況・登録組織別）

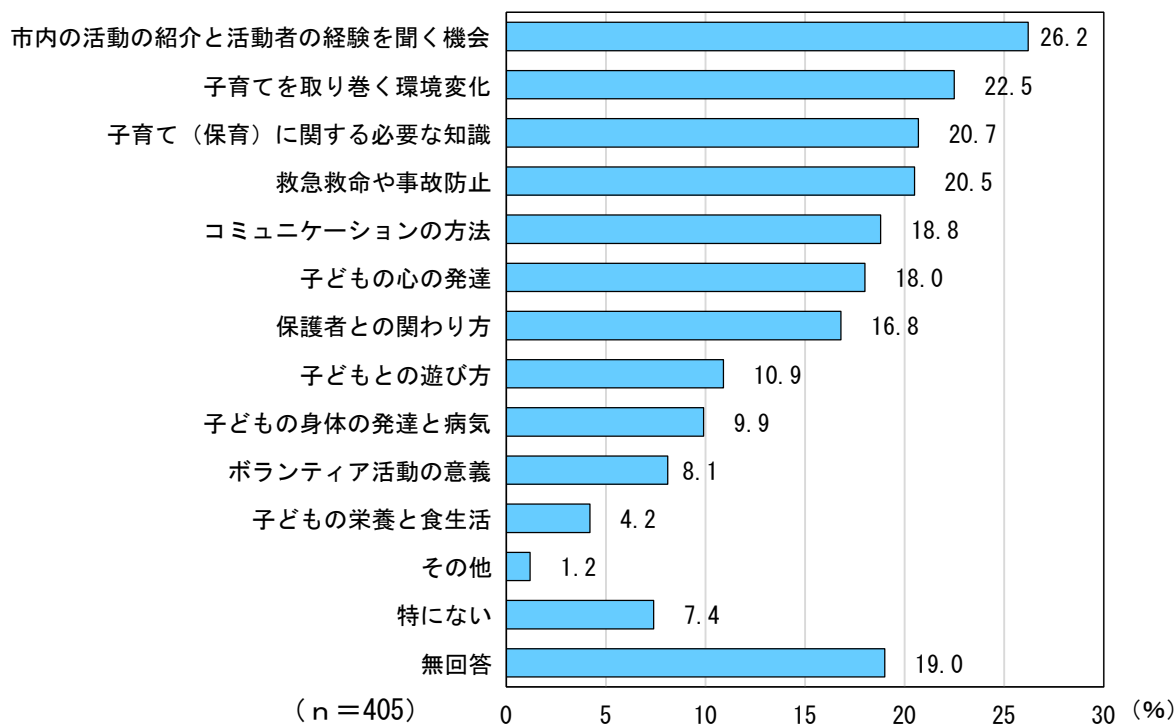


問 18 あなたは、研修会でどのようなことを学びたいと思いますか。(〇は3つまで)

○研修会で学びたいと思うこととしては、「市内の活動の紹介と活動者の経験を聞く機会」が26%で最も多い。

○これに「子育てを取り巻く環境変化」(23%)、「子育て(保育)に関する必要な知識」(21%)、「救急救命や事故防止」(21%)がつづいている。

図 研修会で学びたいと思うこと(全体)



- 年齢別にみると、50代以下では「救急救命や事故防止」が37%と最も多いほか、「保護者との関わり方」(25%)や「子どもの身体の発達と病気」(16%)なども他の年代より多くなっている。
- 60代では、「子育て(保育)に関する必要な知識」(29%)が最も多く、70代以上では「市内の活動の紹介と活動者の経験を聞く機会」(24%)が最も多くなっている。
- 男女別にみると、男性では「保護者との関わり方」(20%)や「ボランティア活動の意義」(15%)が女性よりも多くなっている。一方、女性では、「子育てを取り巻く環境変化」(24%)や「子育て(保育)に関する必要な知識」(22%)が男性よりも多くなっている。

図 研修会で学びたいと思うこと(年齢・男女別)

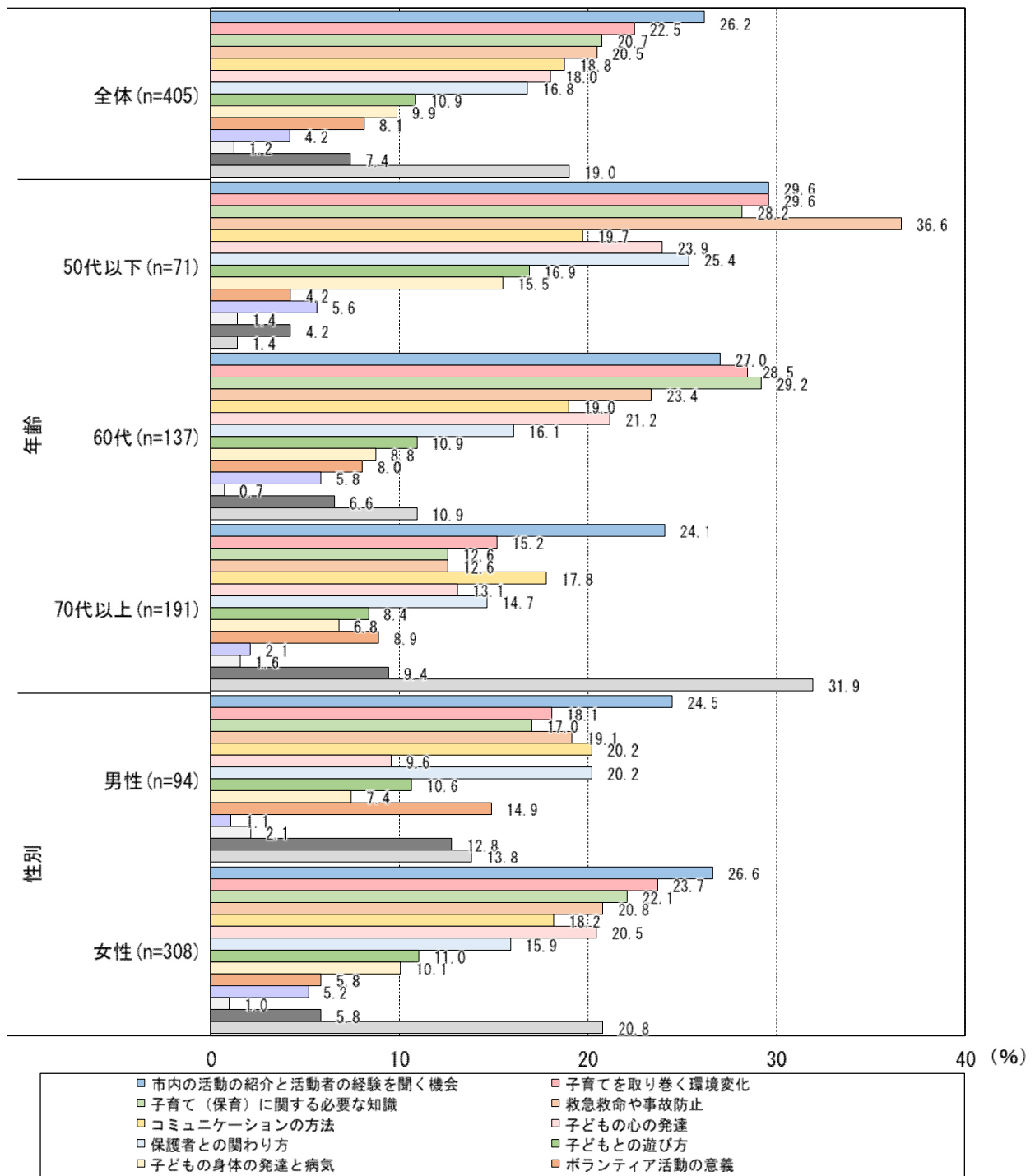


図 研修会で学びたいと思うこと（世帯構成別）

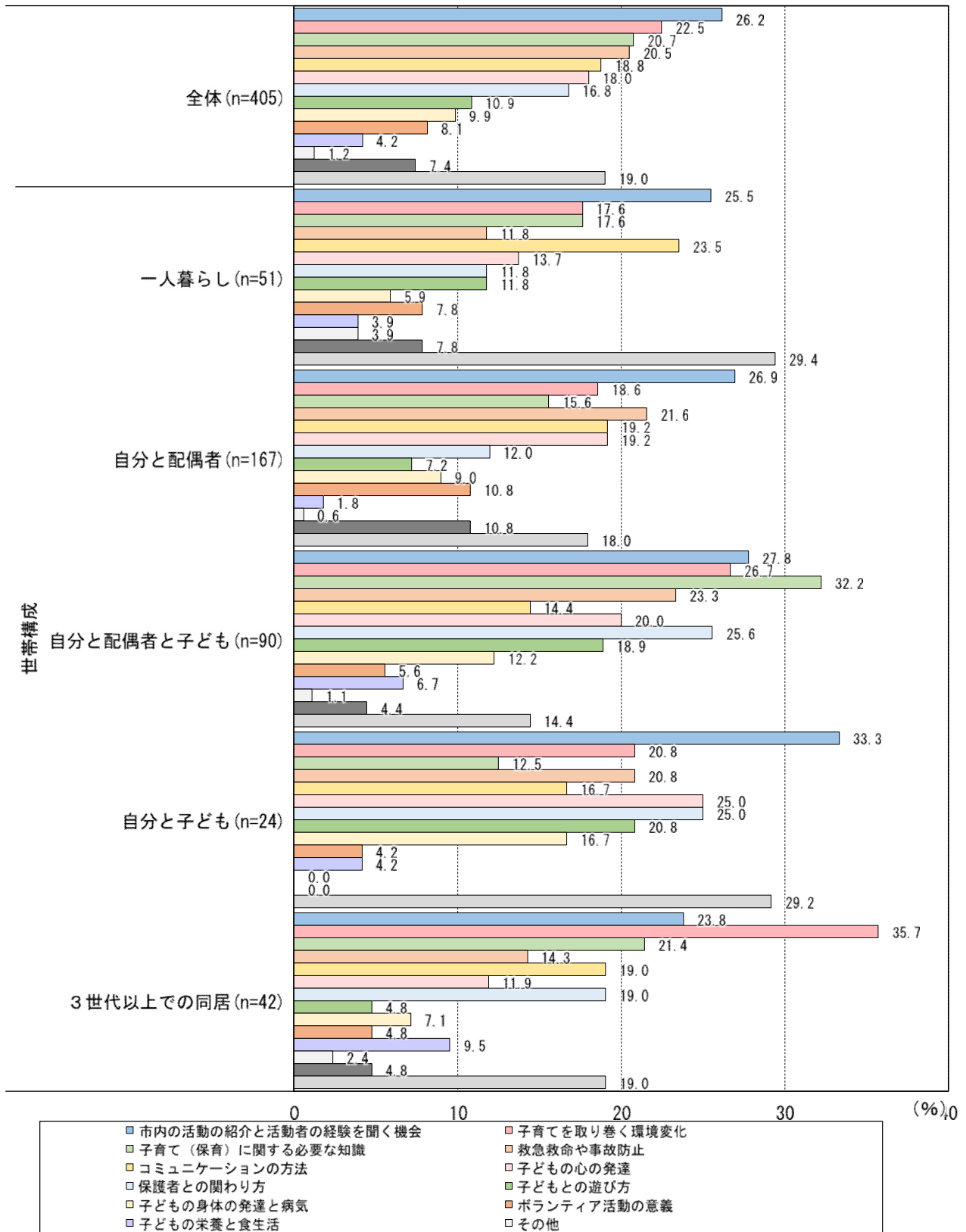
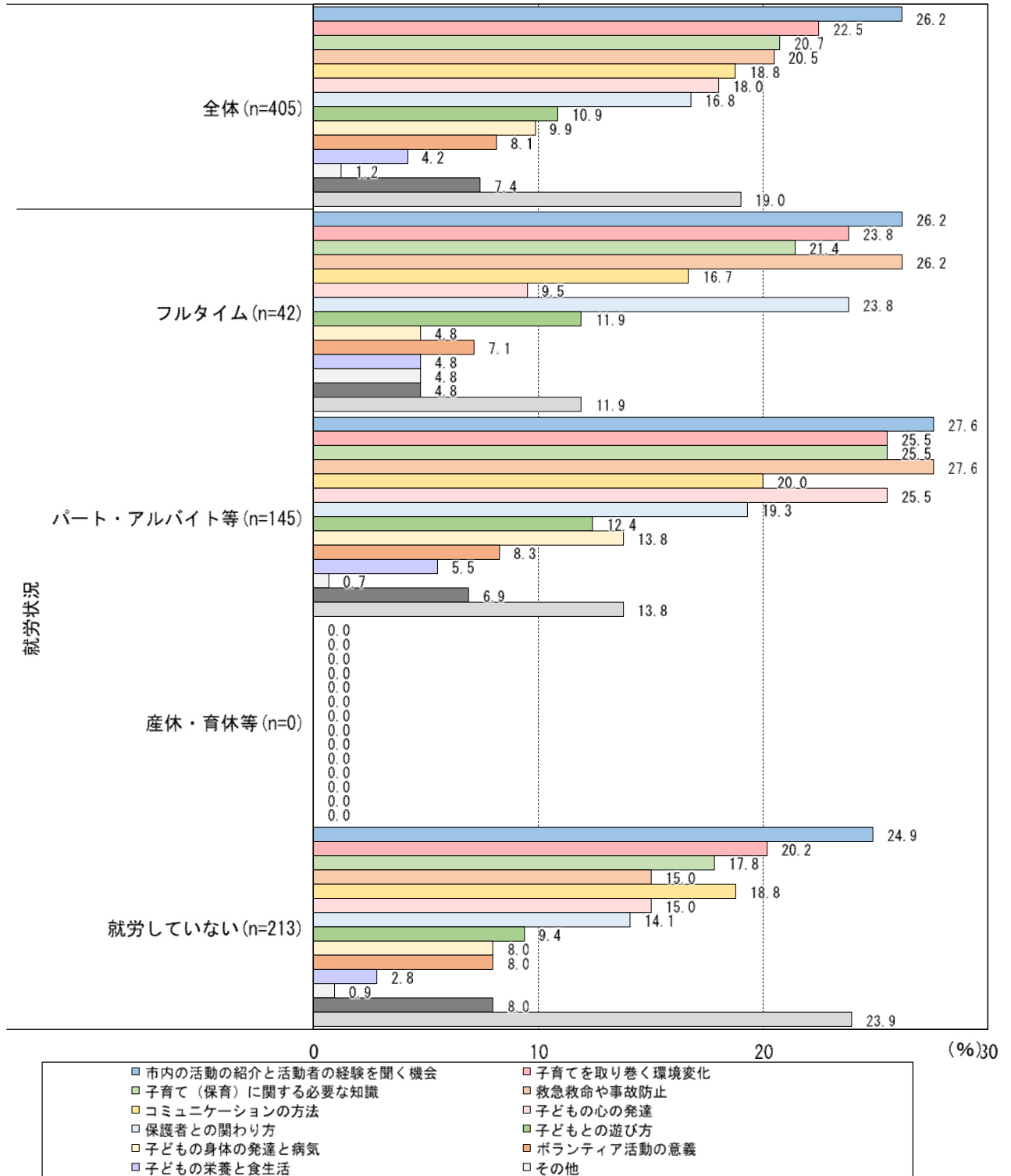
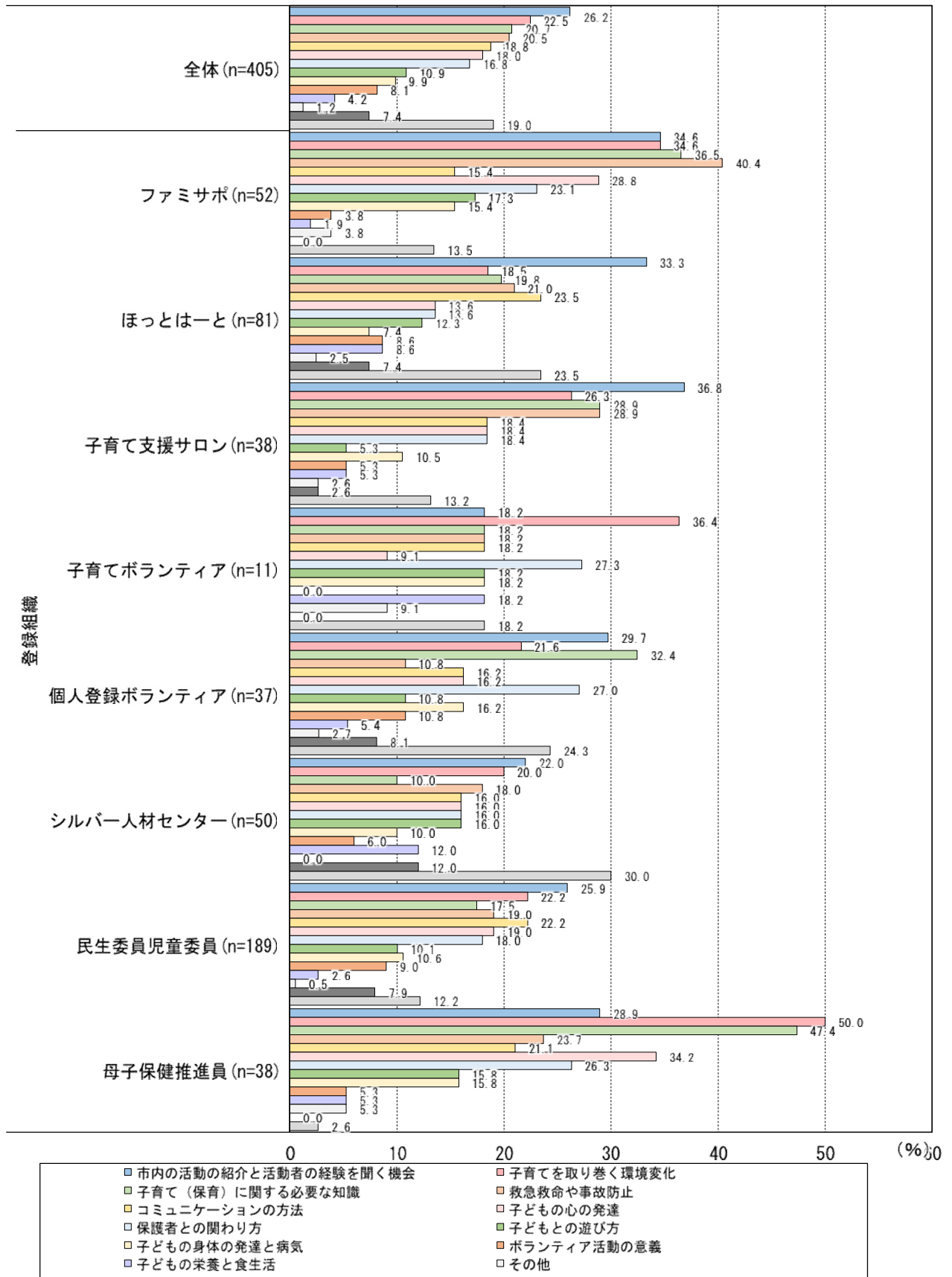


図 研修会で学びたいと思うこと（就労状況別）



○登録組織別にみると、ファミサポや母子保健推進員では「救急救命や事故防止が他より多くなっている。

図 研修会で学びたいと思うこと（登録組織別）



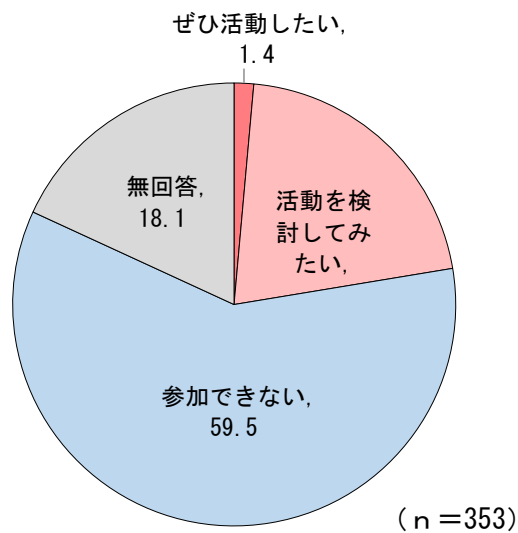
(ファミリー・サポート・センターの提供会員以外の人)

問 19 あなたは、子育てに関するボランティアとして、ファミリー・サポート・センターの提供会員として活動してみたいと思いますか。

○ファミサポの提供会員としての活動意向をみると、60%が「参加できない」と回答している。

○一方、21%の人が「活動を検討してみたい」と回答しており、活動したい・活動を検討してみたいと思う人が増えるよう、提供会員の支援の充実などが求められる。

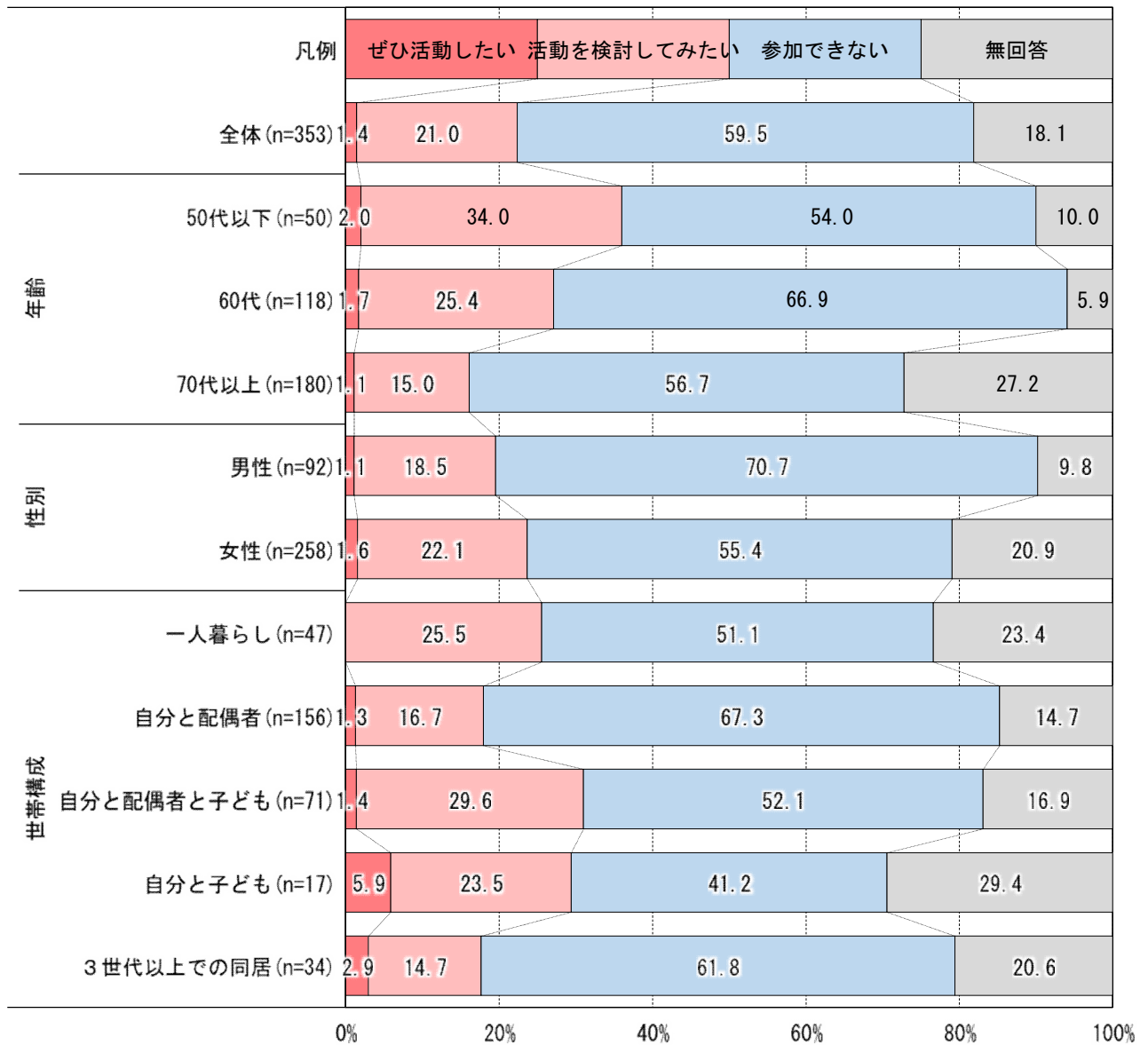
図 ファミサポの提供会員としての活動意向（全体）



○年齢別にみると、年代が下がるにつれて、「活動を検討してみたい」と回答する割合が高くなっている。

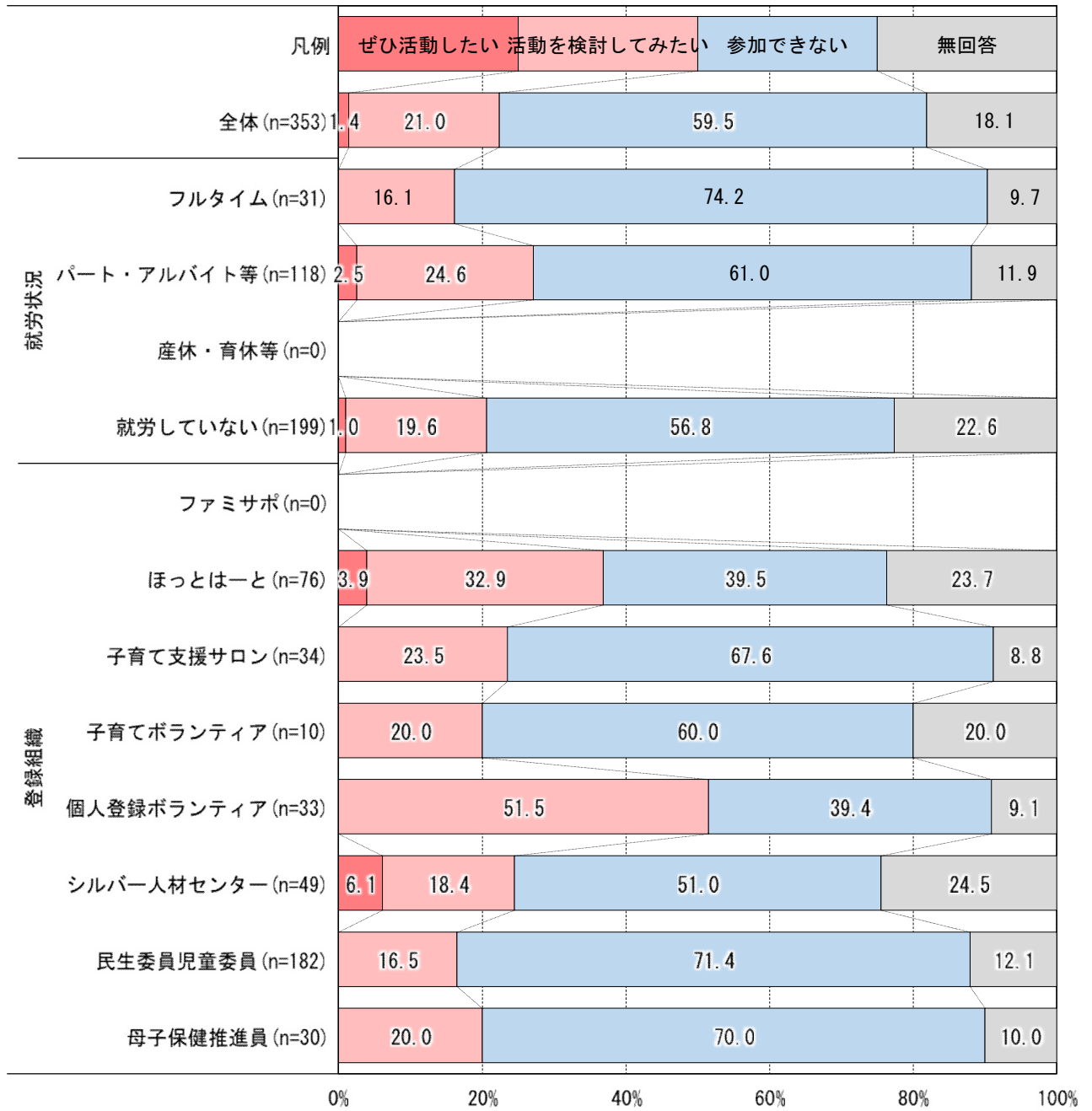
○男女別では、女性のほうが「活動を検討してみたい」と回答する割合が高く、男性は「参加できない」が71%と多くなっている。

図 ファミサポの提供会員としての活動意向（年齢・男女・世帯構成別）



○登録組織別では、個人登録ボランティアで「活動を検討してみたい」が52%と多くなっている。

図 ファミサポの提供会員としての活動意向（就労状況・登録組織別）



問 20

(ファミリー・サポート・センターの提供会員の人)
あなたは、ファミリー・サポート・センターの提供会員として子どもの預かりや送迎をしたことがありますか。(複数回答)

- 「活動をしたことはない」が44%と最も多くなっている。
- また、「子どもの預かりをしたことがある」人は37%、「子どもの送迎をしたことがある」人は33%となっている。

図 提供会員として子どもの預かりや送迎の経験有無（全体）

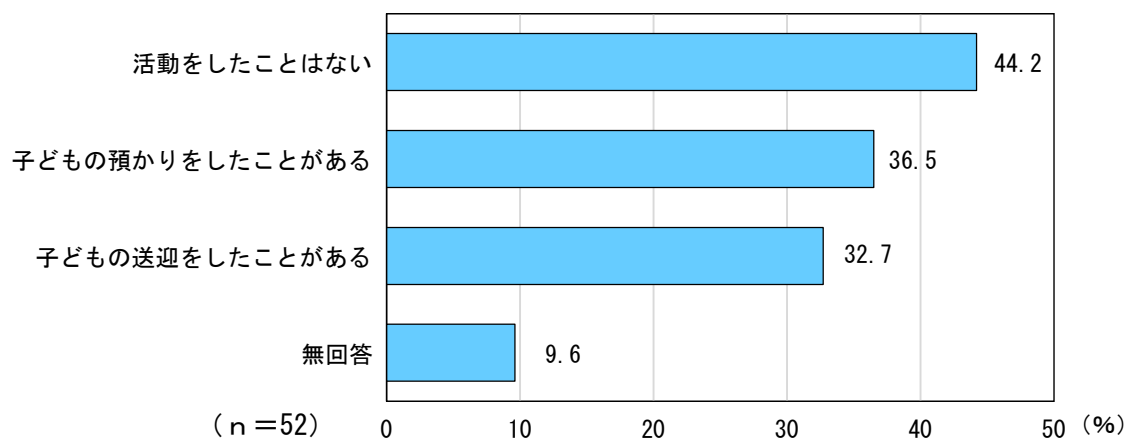


図 提供会員として子どもの預かりや送迎の経験有無（年齢・男女・世帯構成別）

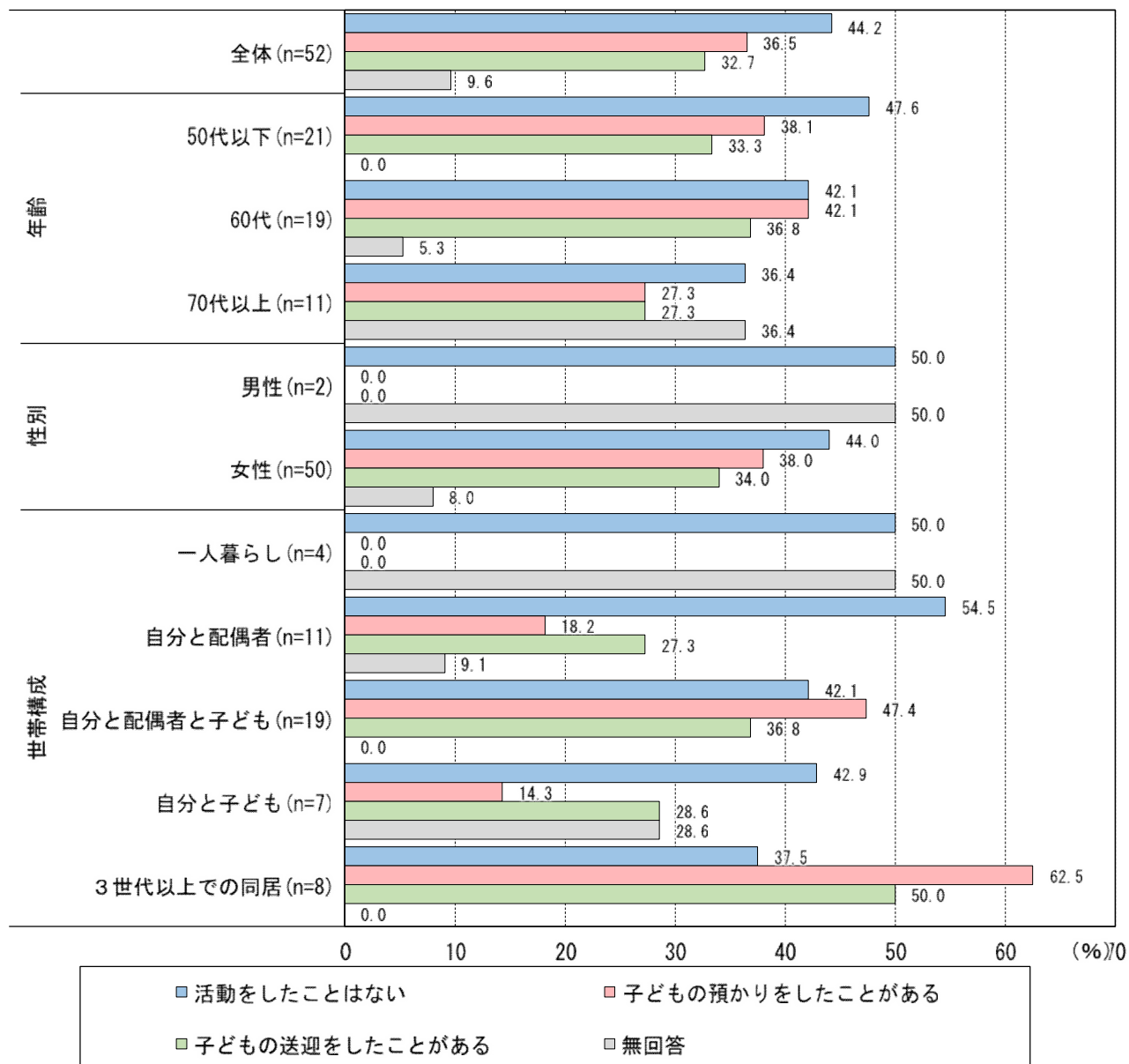
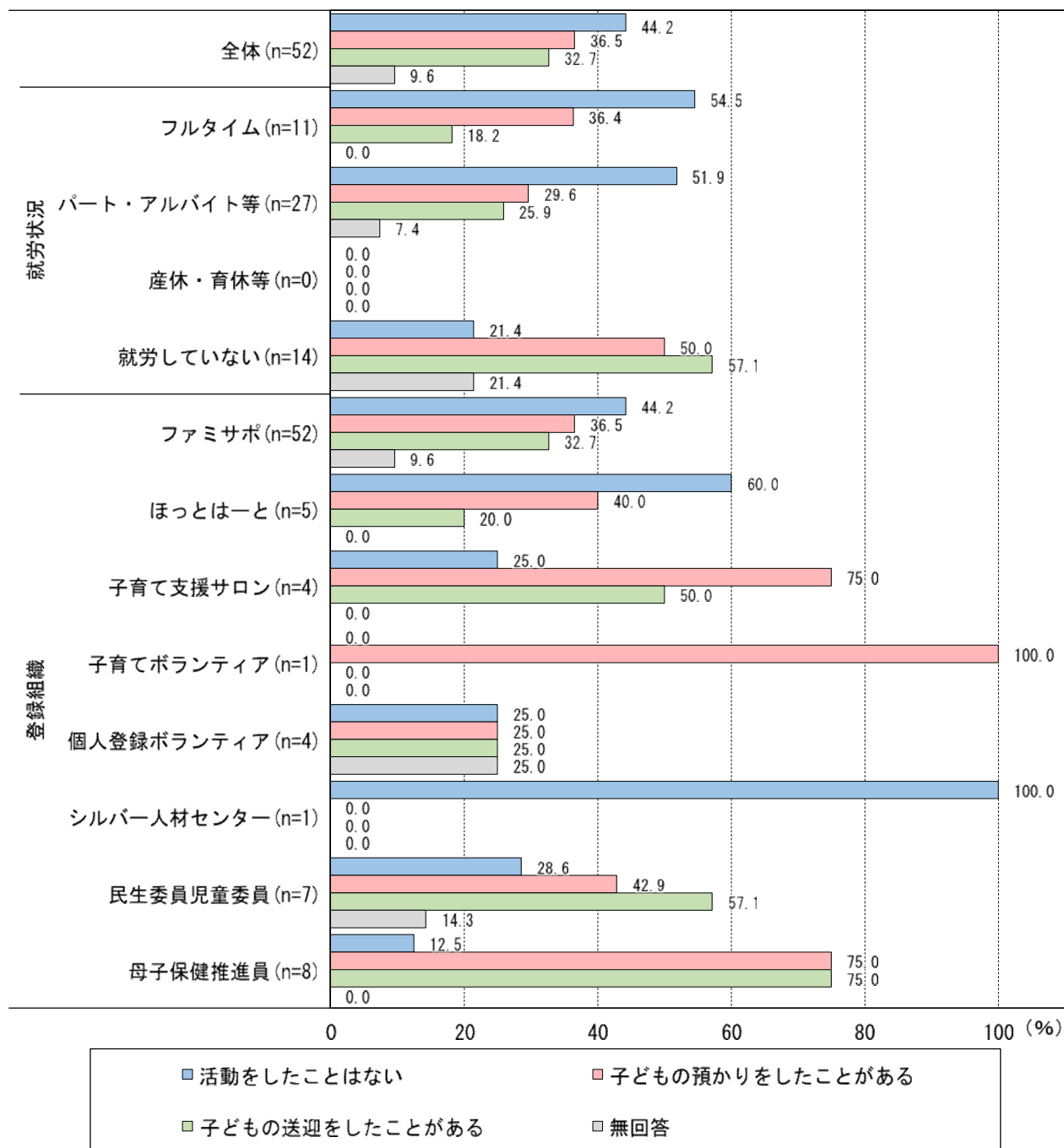


図 提供会員として子どもの預かりや送迎の経験有無（就労状況・登録組織別）



問 21

(問 20 で提供会員として活動したことがある人)
あなたは、ファミリー・サポート・センターをどのように評価していますか。

- 「どちらかという満足している」が 42% で最も多くなっている。
- また、67% の人が『満足』（「大変満足している」、「満足している」、「どちらかという満足している」の合計）と回答している。

図 ファミサポの評価（全体）

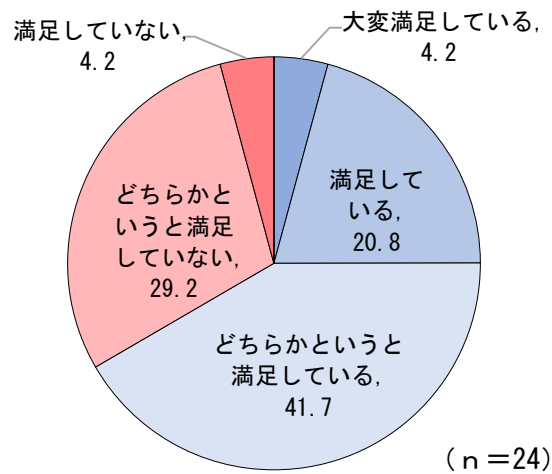


図 ファミサポの評価（年齢・男女・世帯構成別）

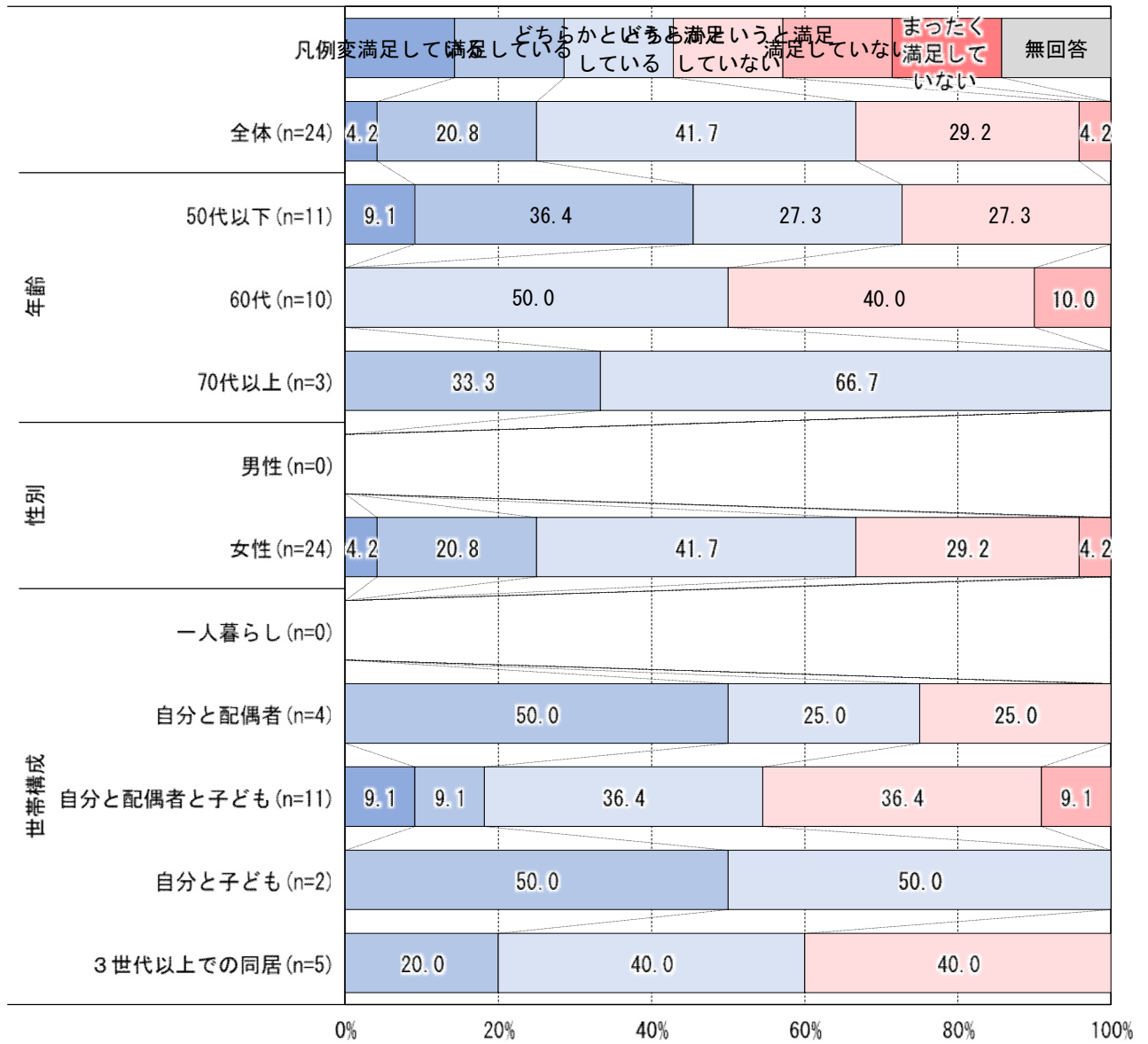
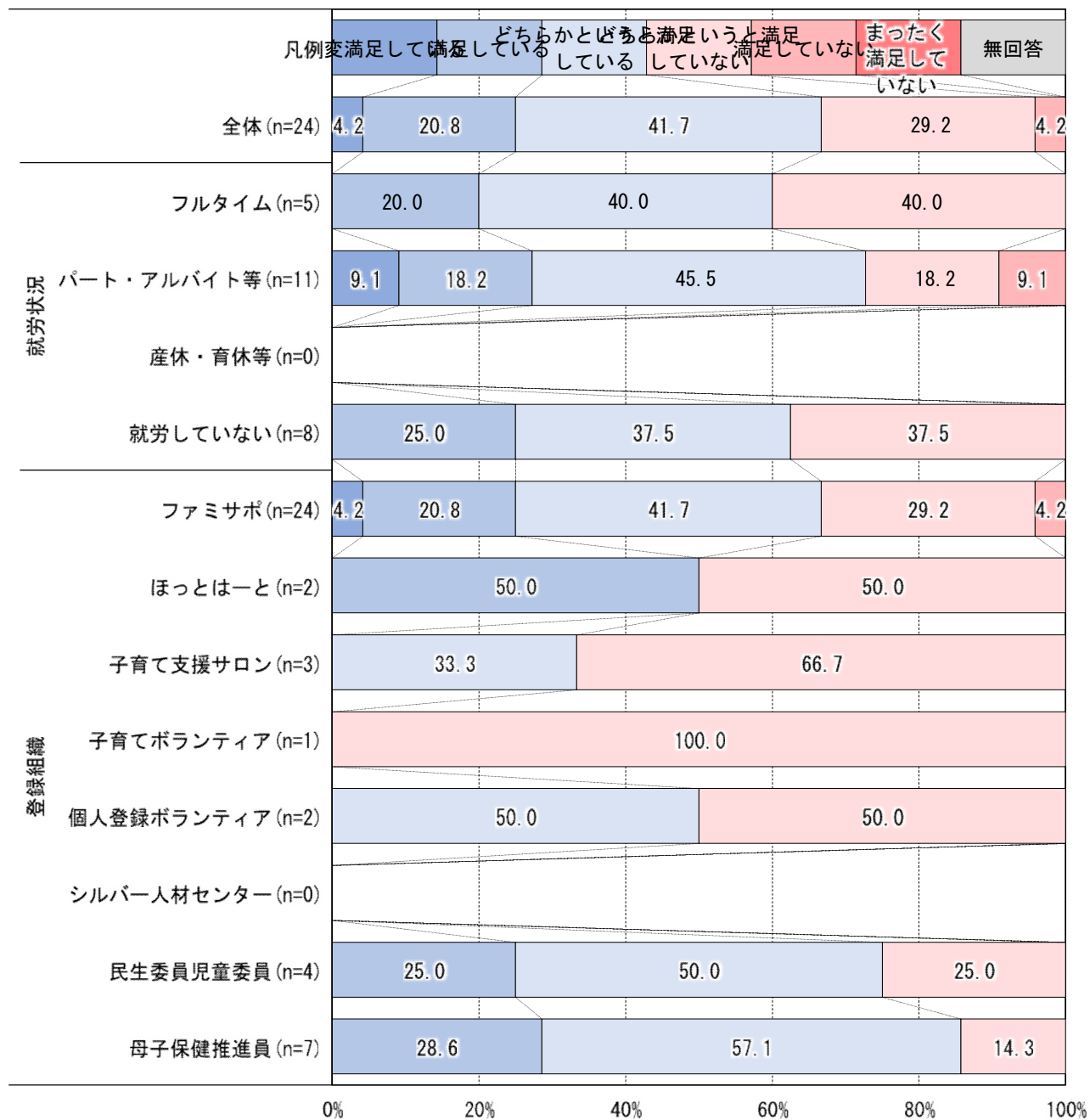


図 ファミサポの評価（就労状況・登録組織別）



問 22

(提供会員として活動したことがある人で問 21 において不満を感じている人)
あなたがファミリー・サポート・センターで不満を感じられたのはどのようなものですか。
(複数回答)

○ファミサポで不満を感じたものとしては「提供会員向けの情報が不十分（他の会員の活動状況・制度の情報など）」(50%) が最も多くなっており、改善が求められる。

○次いで、「活動に当たってのサポートが不十分」(38%), 「連絡方法が電話中心である」(25%), 「依頼会員の自宅での預かりができない」(25%) となっている。

図 ファミサポで感じた不満 (全体)

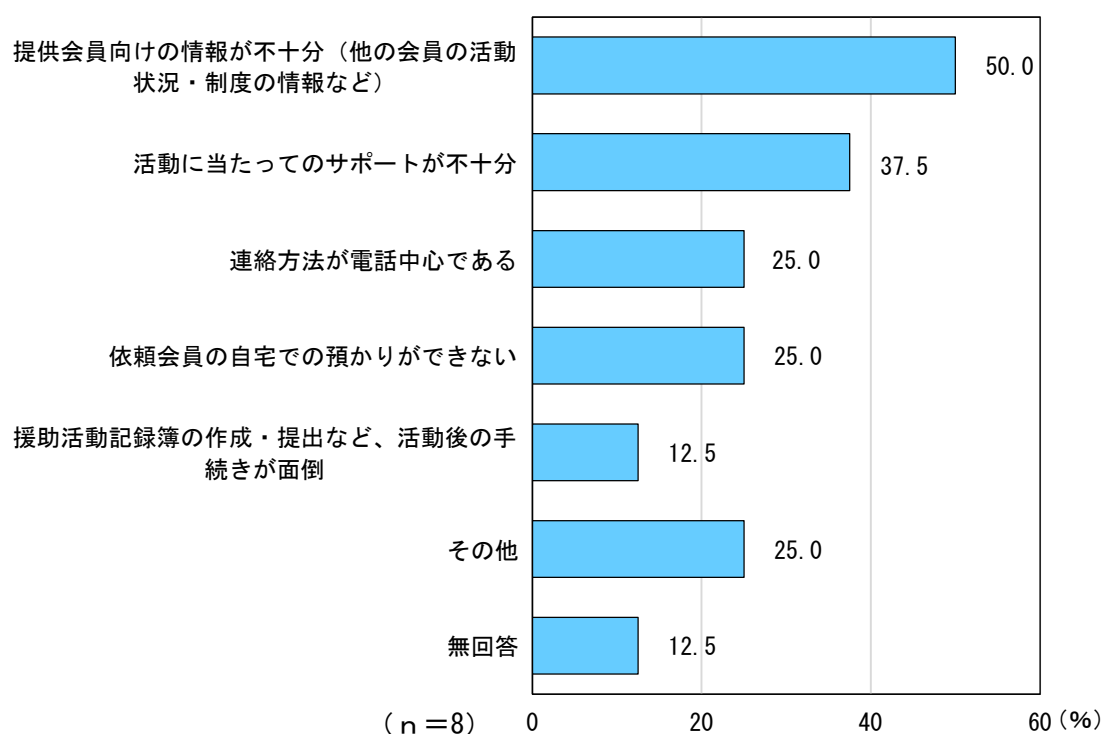


図 ファミサポで感じた不満（年齢・男女・世帯構成別）

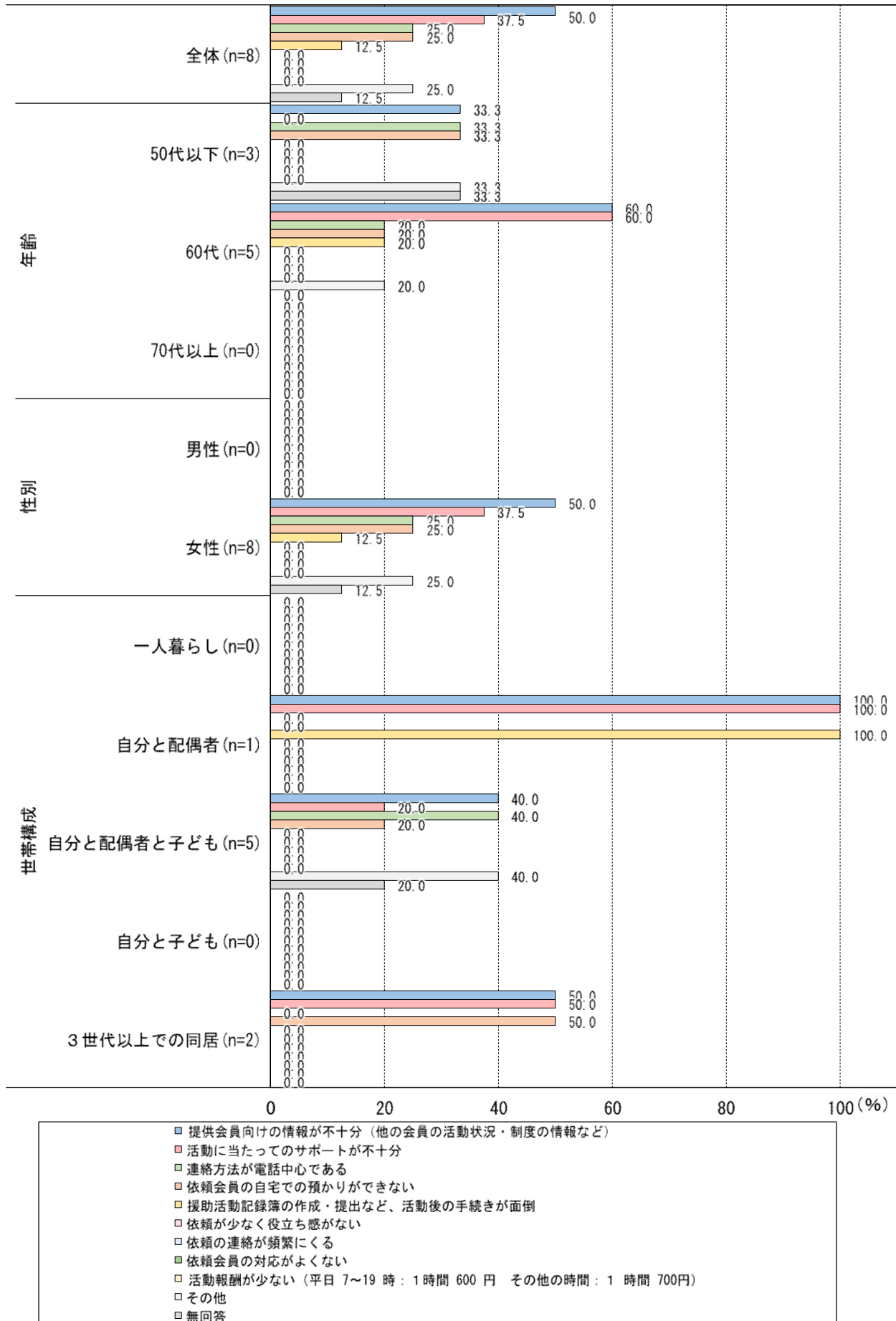
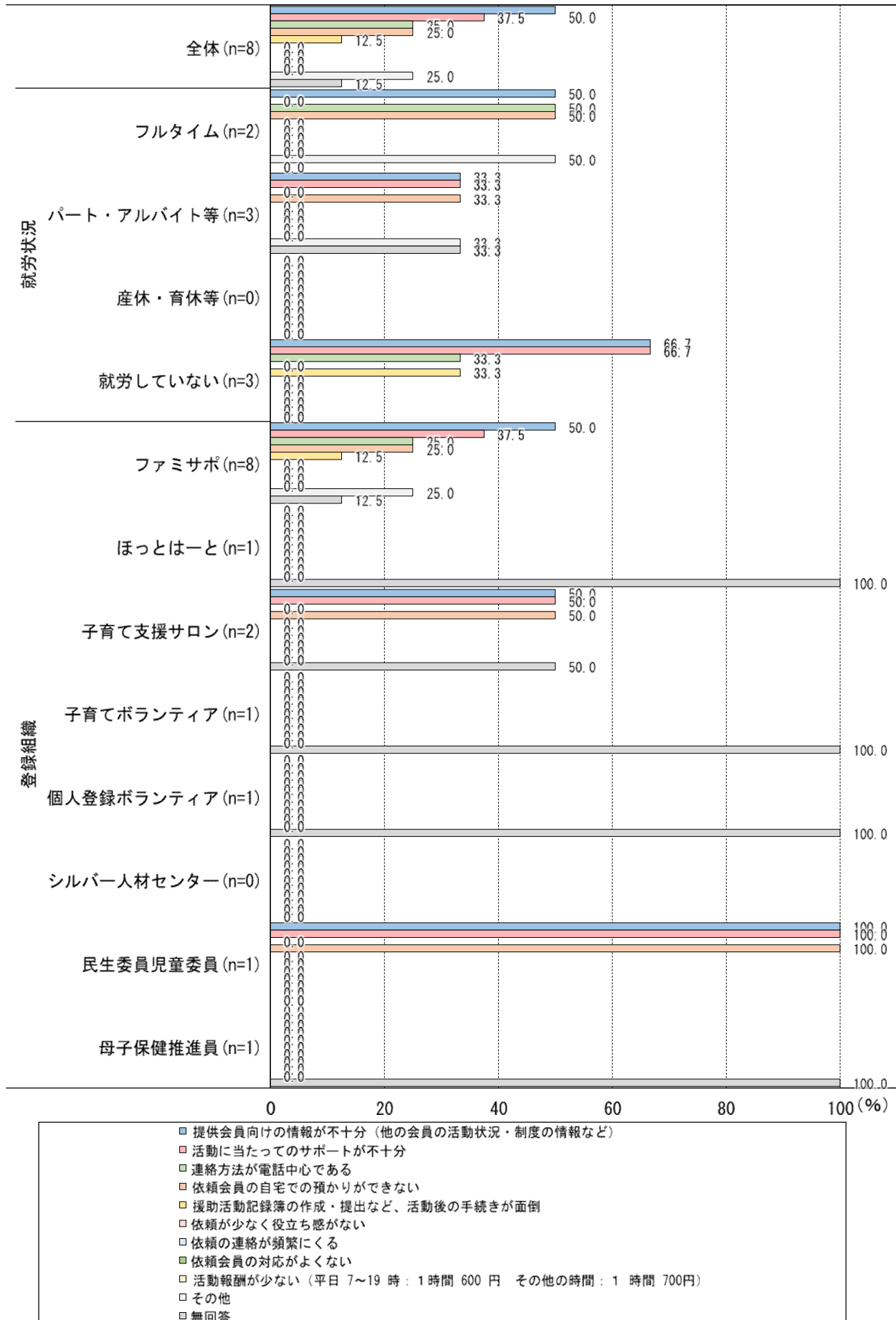


図 ファミサポで感じた不満（就労状況・登録組織別）



問 23

(問 20 でファミリー・サポート・センターで活動したことがないと回答した人)
 あなたが、ファミリー・サポート・センターの活動をしていない理由はどのようなものですか。(複数回答)

- ファミサポの活動をしていない理由として、「活動の依頼がなかった」(57%) が最も多く、ファミサポの活動をしていない人の過半数以上が、活動の依頼がなかったため活動をしていない。
- そのほか、「予定が合わなかった」(22%) もやや多くなっている。

図 ファミサポの活動をしていない理由 (全体)

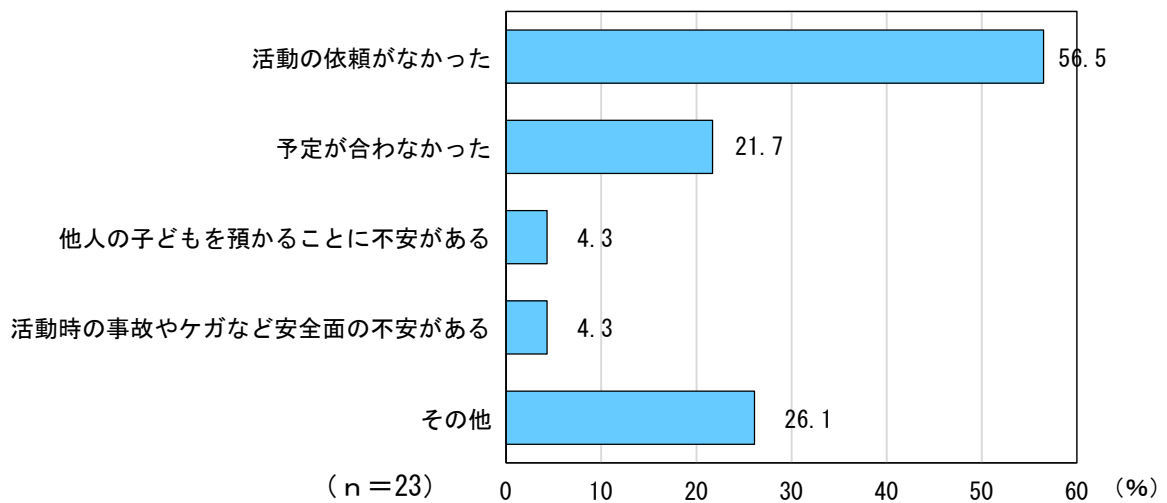
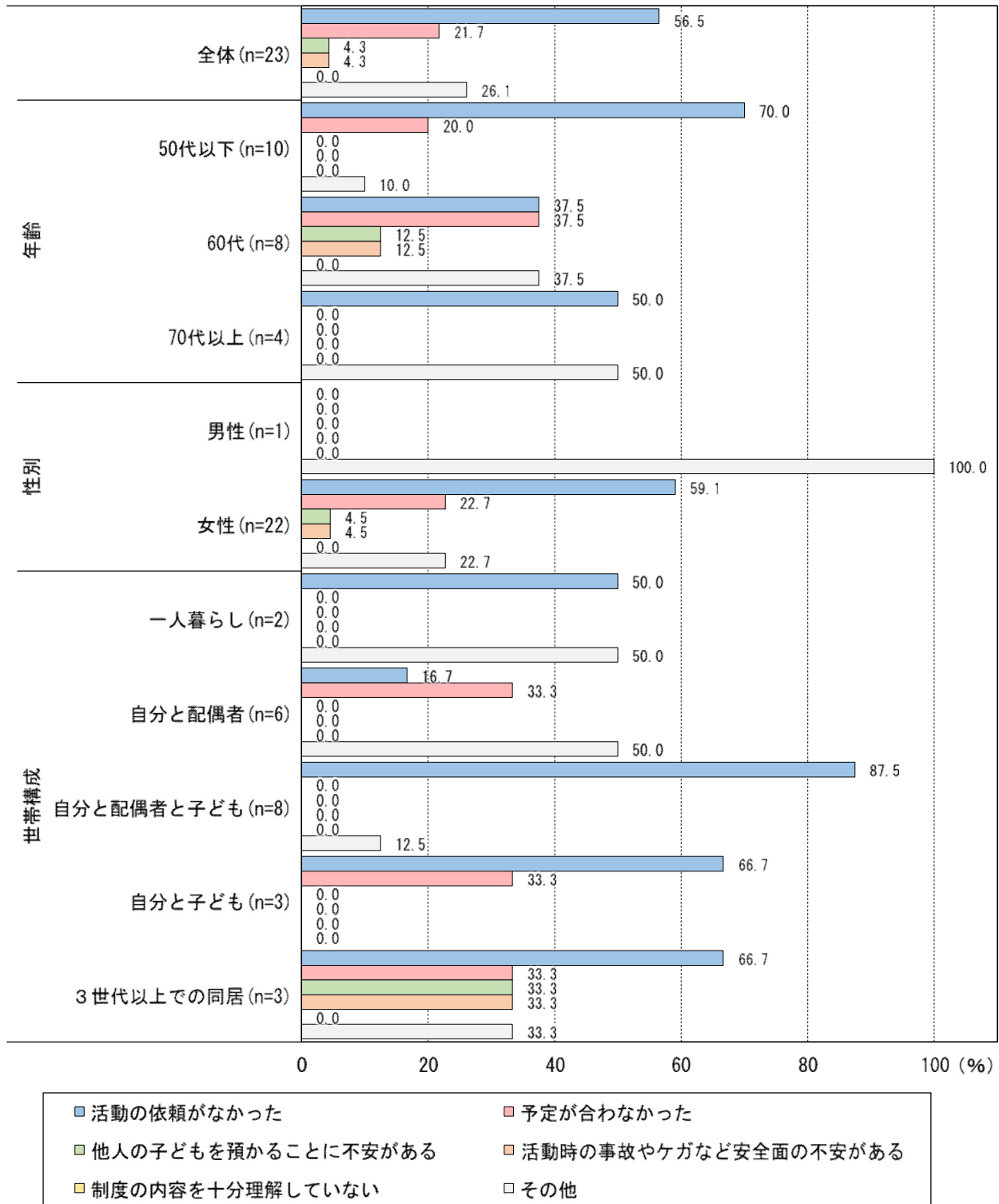
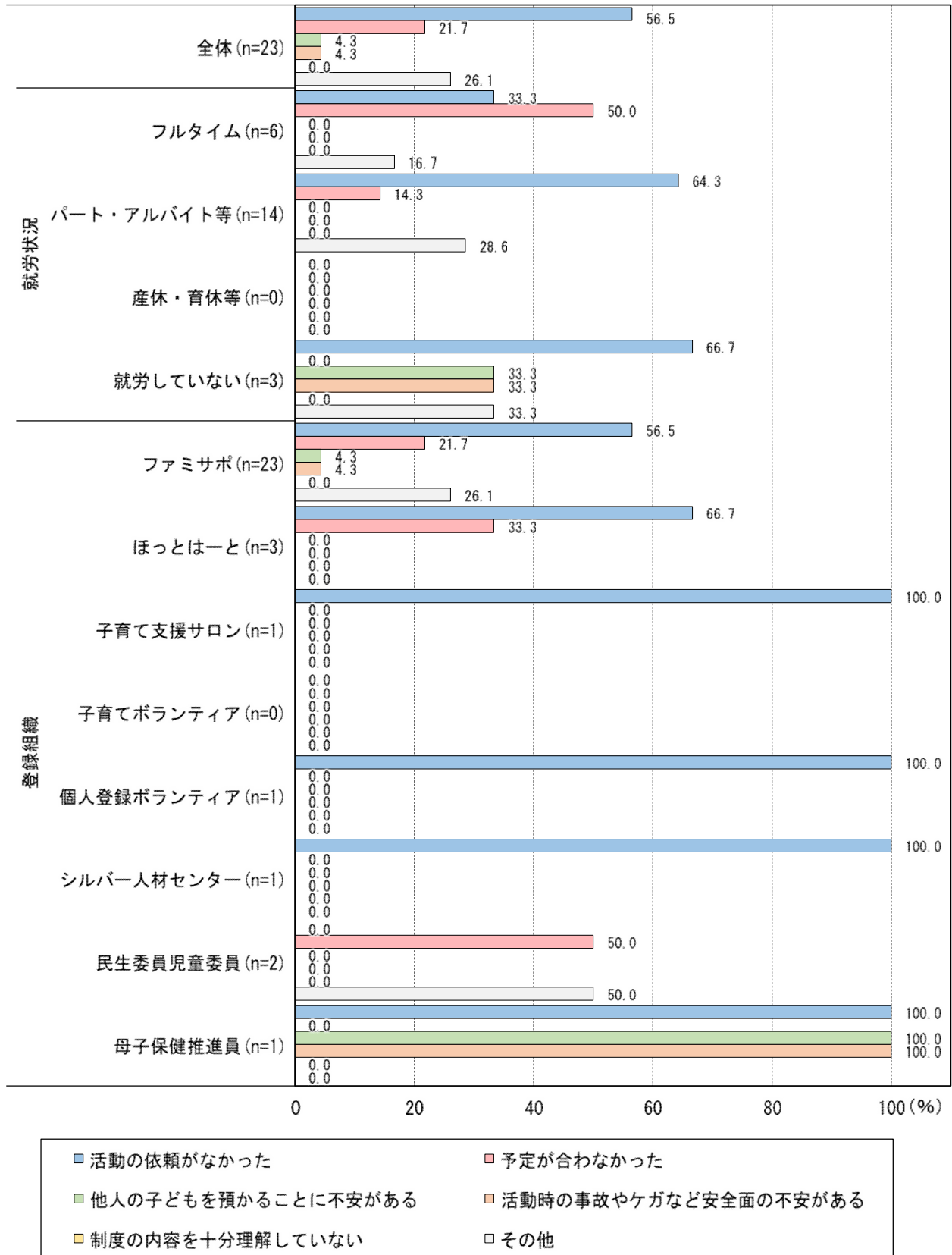


図 ファミサポの活動をしていない理由（年齢・男女・世帯構成別）



○登録組織別では、ファミサポでは「活動の依頼がなかった」が57%となっている。

図 ファミサポの活動をしていない理由（就労状況・登録組織別）



(ファミリー・サポート・センターの提供会員の人)

問 24

今後、ファミリー・サポート・センターの改善・充実を図っていくためにどのような対応が必要だと思われますか。(〇は3つまで)

○今後、ファミサポの活動を図っていくために必要だと思う対応として、「依頼会員とのマッチングや活動後の手続き等を効率化するシステム(仕組み)等の導入」(35%)が最も多くなっている。

○次いで、「提供会員同士の交流の場の開催」(31%)、「提供会員向けの研修の充実」(25%)、「送迎時のチャイルドシートの貸し出し」(25%)となっている。

図 ファミサポの改善・充実を図っていくために必要な対応(全体)

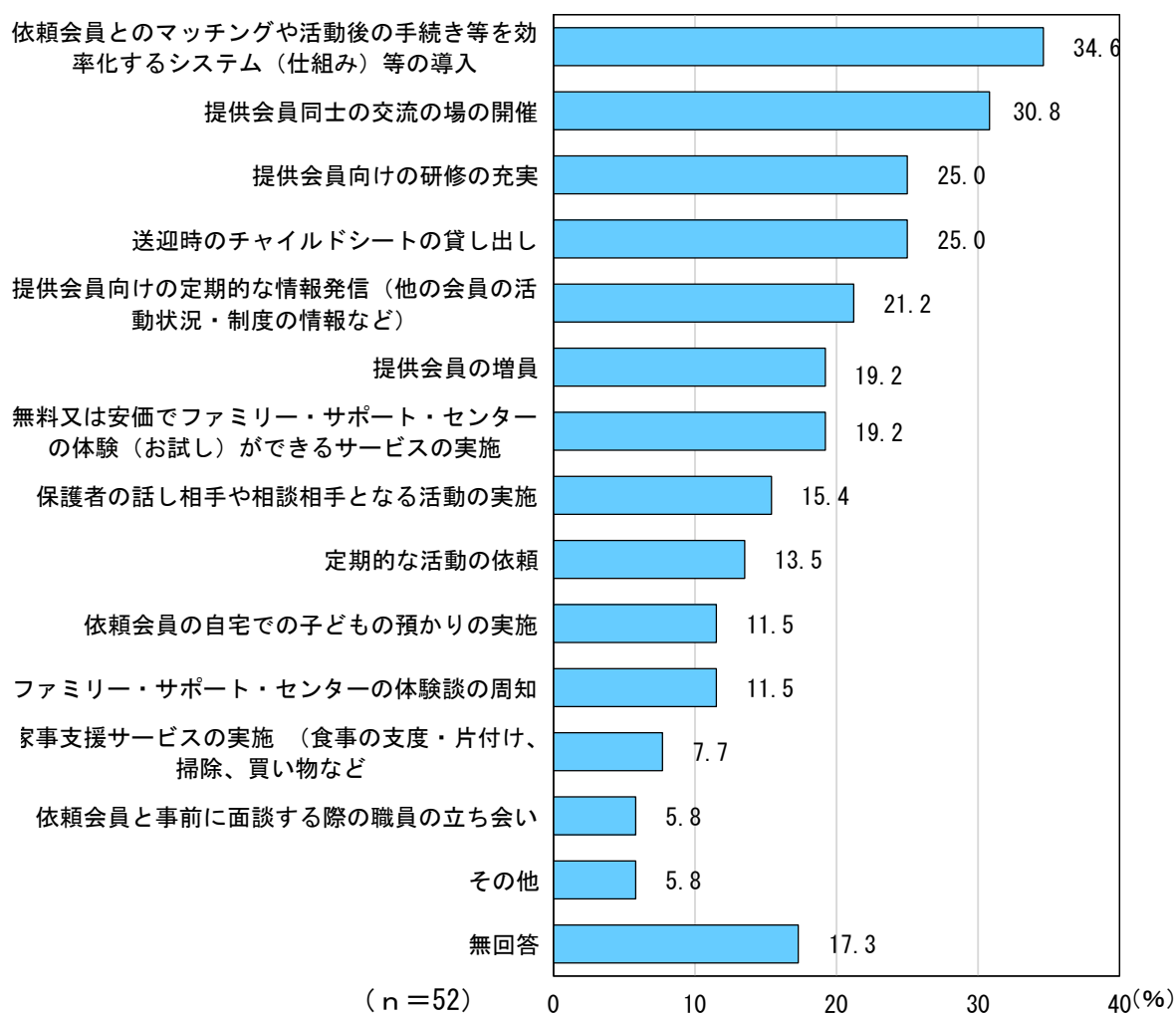


図 ファミサポの改善・充実を図っていくために必要な対応（年齢・男女別）

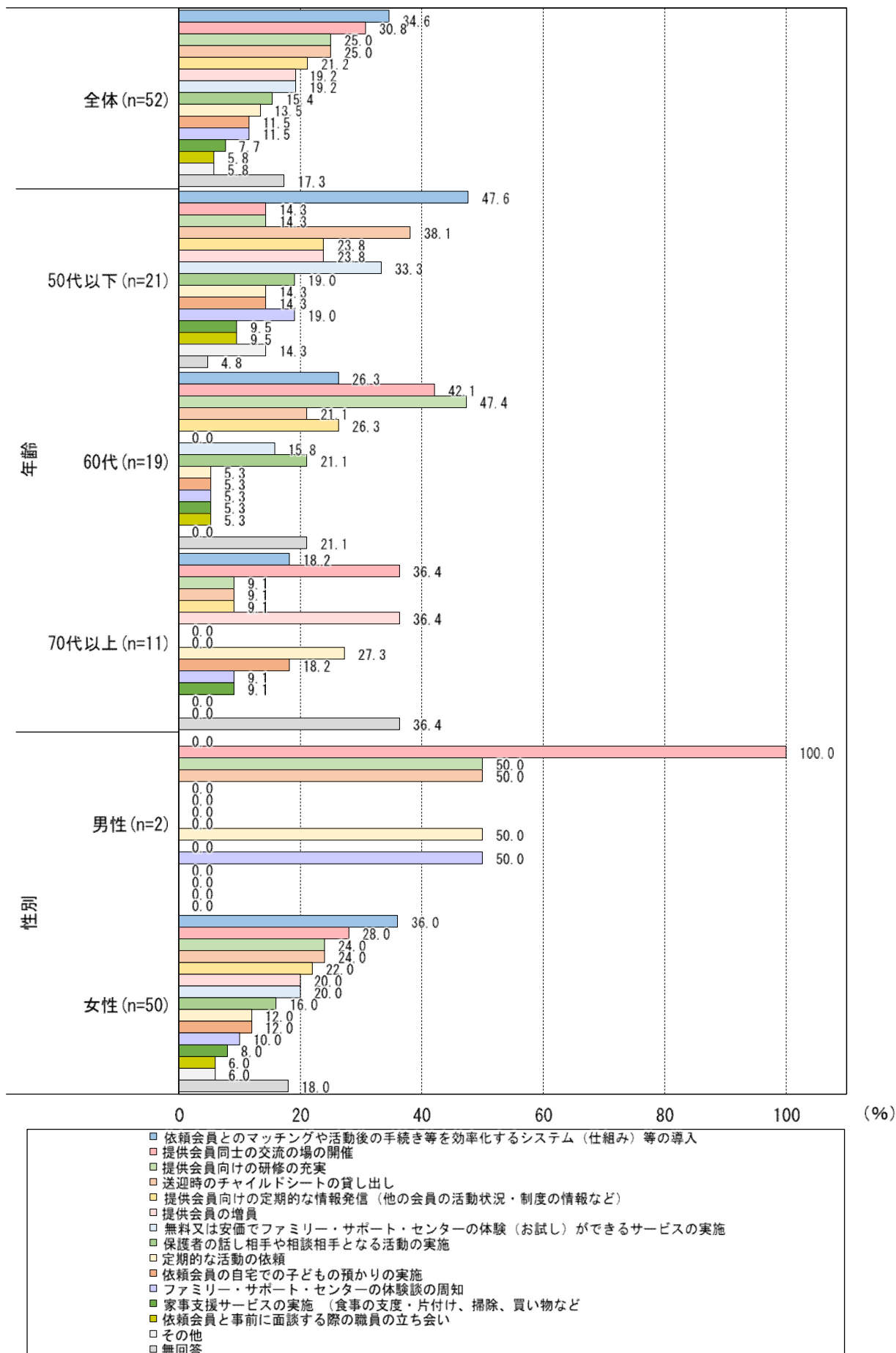


図 ファミサポの改善・充実を図っていくために必要な対応（世帯構成別）

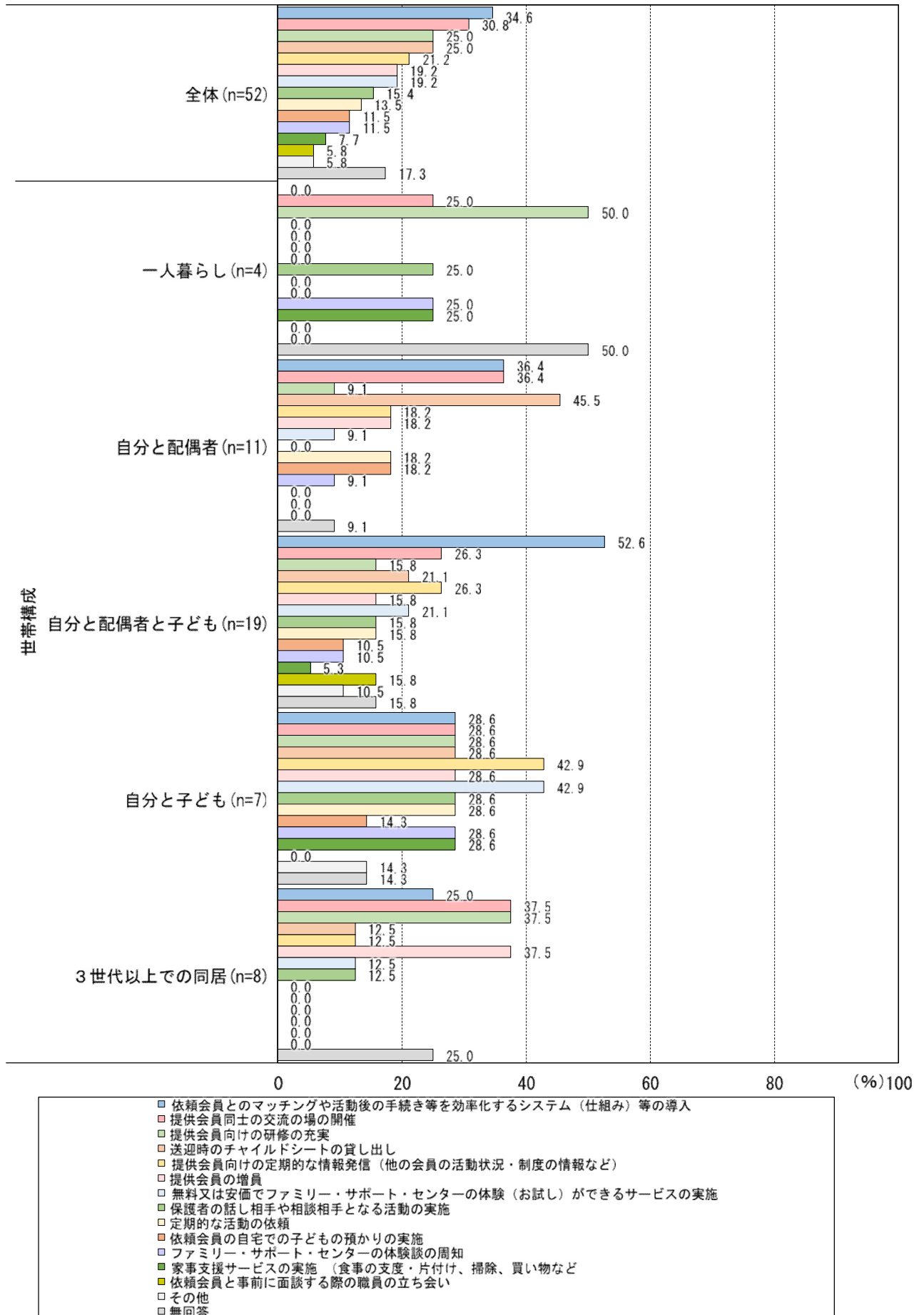


図 ファミサポの改善・充実を図っていくために必要な対応（就労状況別）

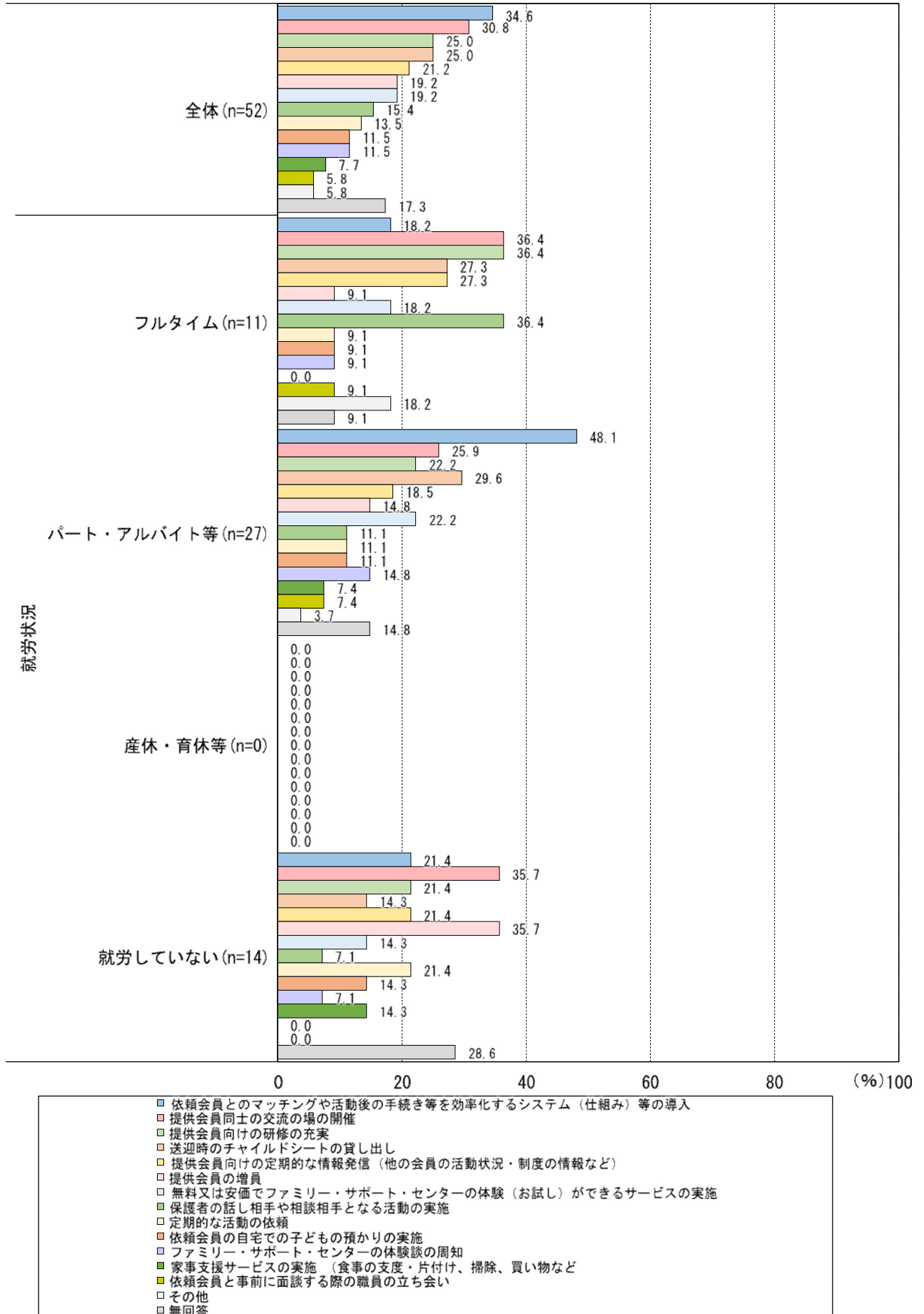
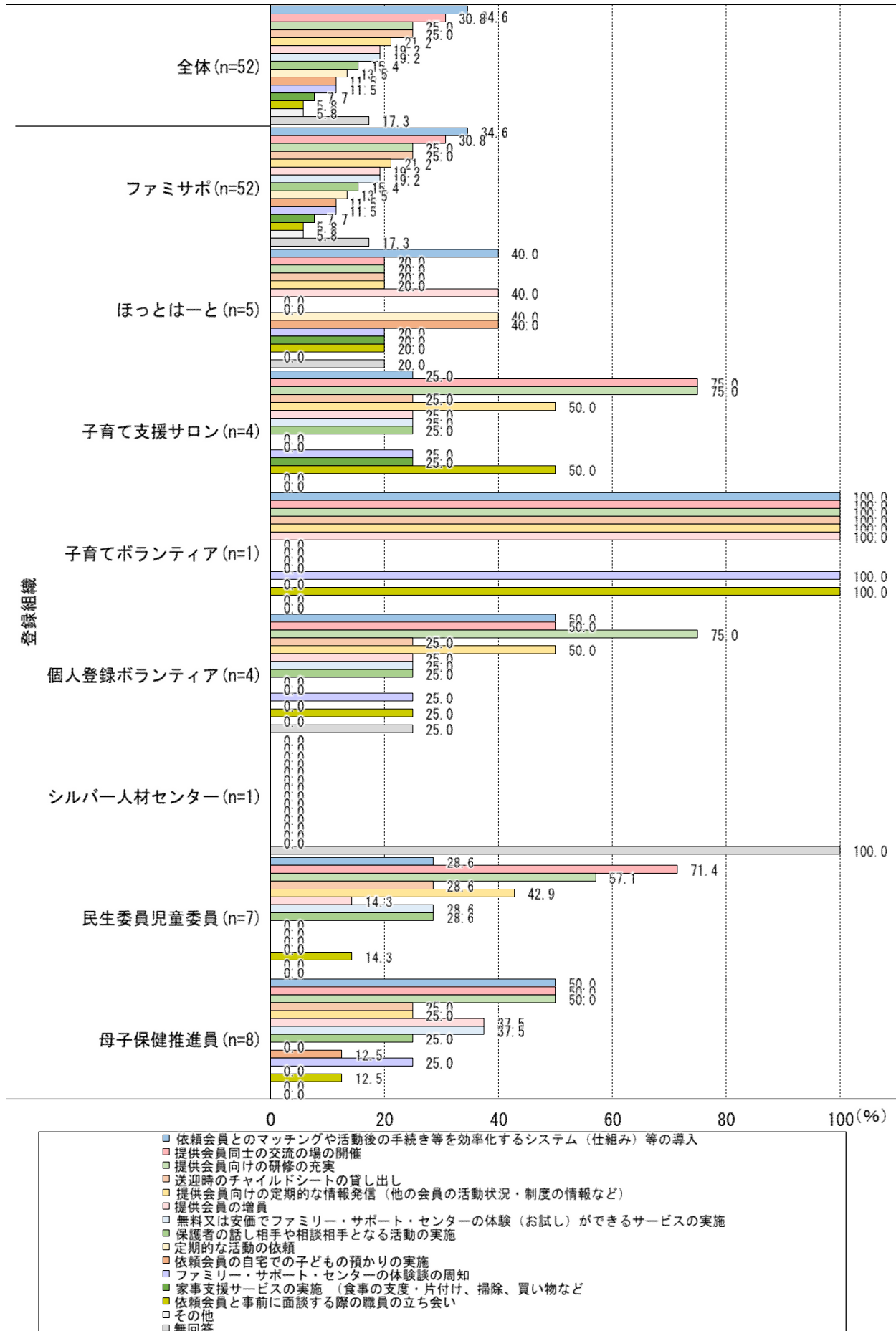


図 ファミサポの改善・充実を図っていくために必要な対応（登録組織別）



(ファミリー・サポート・センターの提供会員の人)

問 25

あなたは、ファミリー・サポート・センターの利用料金について、どう思われますか。

【現在の利用料金】平日 7～19 時：1 時間 600 円 その他の時間：1 時間 700 円

○ファミサポの利用料金について、33%の人が「適正な料金だと思う」と回答している。

○また、「利用料金を下げるべきだと思う（子育て世代の負担軽減のため等）」人は17%、「利用料金を上げるべきだと思う（提供会員の負担が大きい等）」人は19%となっている。

図 ファミサポの利用料金について（全体）

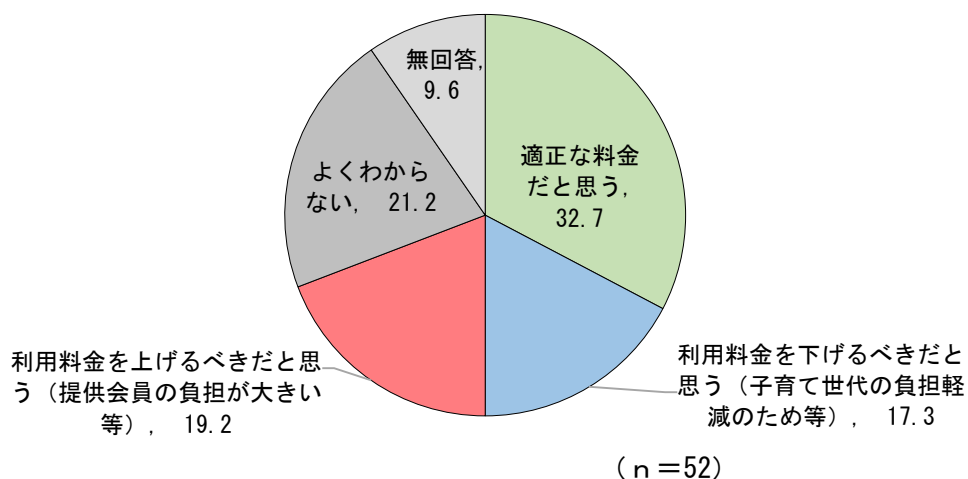


図 ファミサポの利用料金について（年齢・男女・世帯構成別）

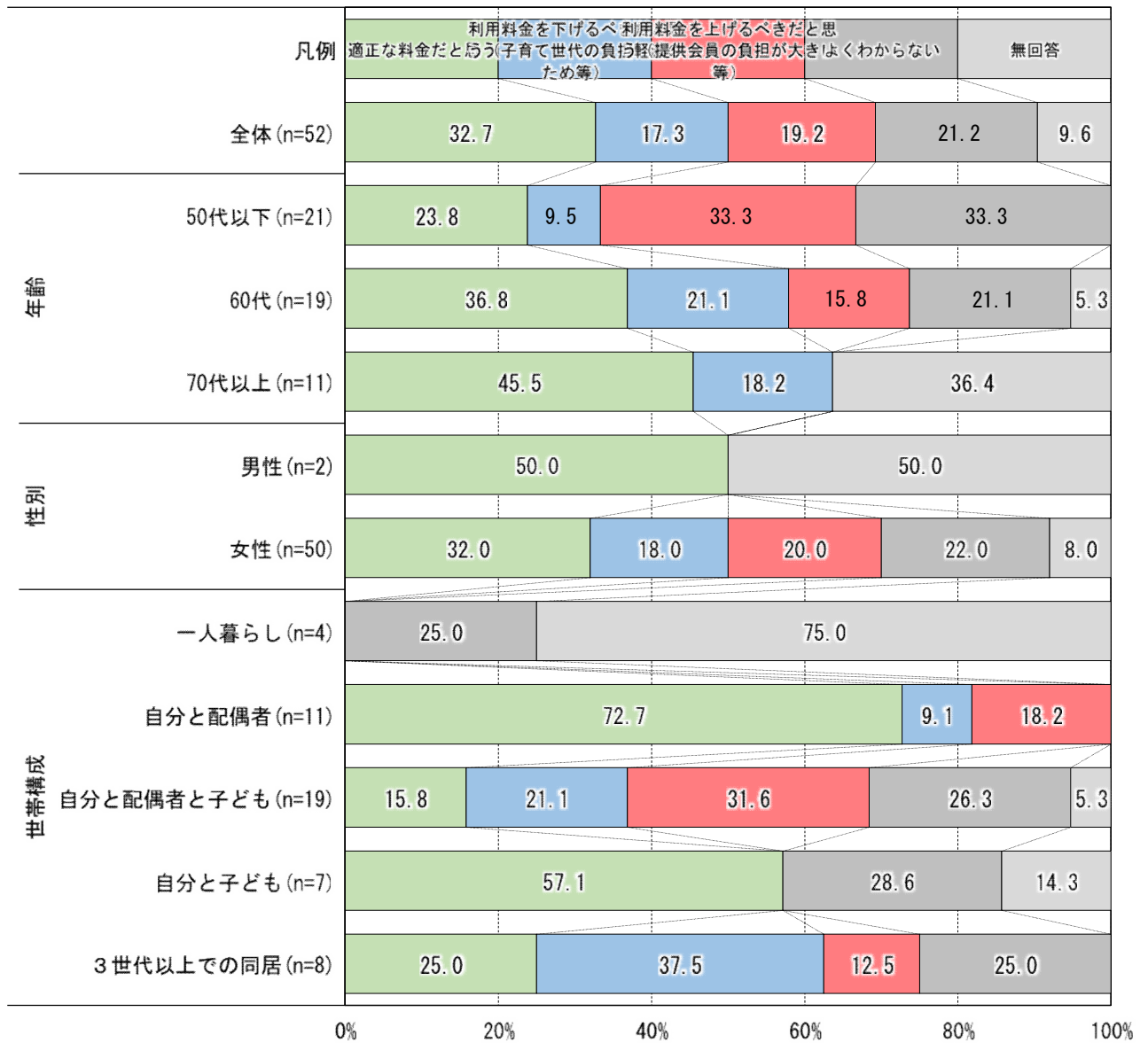
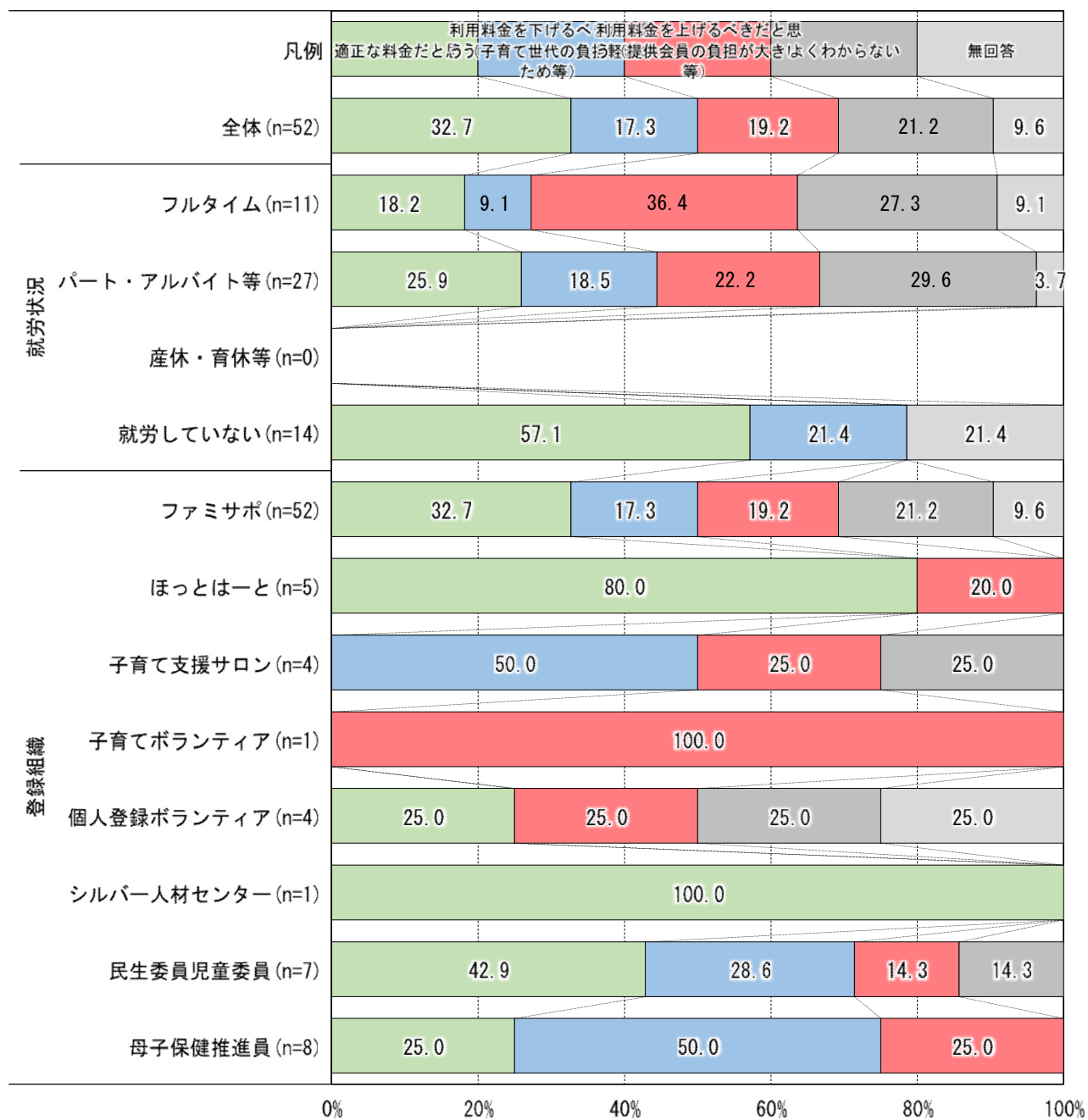


図 ファミサポの利用料金について（就労状況・登録組織別）



子育てに関するボランティア活動についてのアンケートに御協力をお願いします

三原市では、地域ぐるみの子育て支援や、仕事と子育てが両立できる環境づくりを目的として、「ファミリー・サポート・センター事業」(ファミサポ)を実施しています。

ファミサポは、子育ての援助ができる地域の人(ボランティア)が、子どもの預かりや送迎を有償で行うサービスで、三原市では、ファミサポを、子育て世代が気軽に利用できるサービスにしたいと考えています。

そのためには、地域で活動するボランティアを増やしていくことが必要であり、このアンケートを通して、現在活動されているボランティアの皆さんに、ボランティア活動に関するお考えなどをお伺いするものです。

お忙しいところ恐縮ですが、回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

※ Web ページからの回答も可能です。下記 URL または右の QR コードからご回答ください。

回答用ページ <https://questant.jp/q/mihara-kosodate-volunteer2022-3>



【ファミリー・サポート・センター事業 (ファミサポ)】

子育ての援助を受けたい人(依頼会員)と、子育ての援助を行いたい地域の人(提供会員)が会員となって、一時的な育児サービスを有償で提供する制度です。

1 会員の要件

(1) 依頼会員(子育ての援助を受けたい人)

三原市に住んでいる、または勤務している人で、6か月～小学校6年生までの子どもがいる人

(2) 提供会員(子育ての援助を行いたい地域の人)

三原市に住んでいる、または勤務している人で、20歳以上の人

2 利用できる育児サービス(仕事、リフレッシュ目的など理由は問いません)

- ・ 保育所、幼稚園、小学校、放課後児童クラブなどへの子どもの送迎
- ・ 子どもの一時的な預かり

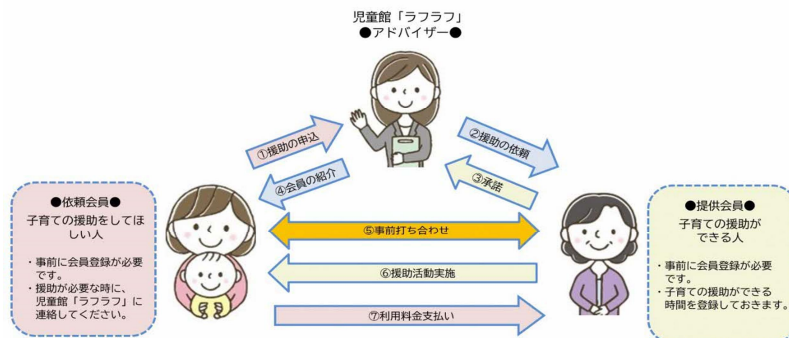
※ 預かりの場合は、提供会員の自宅、または児童館「ラフラフ」などの公共施設となります。

依頼会員の自宅での預かりは対応していません。

3 利用料金

平日7時～19時：1時間あたり600円 その他の時間：1時間あたり700円

4 利用の流れ



※ その他の詳細は下記 URL からホームページをご覧ください。

<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/site/kosodate/131039.html>

【本アンケートに関する問合せ先】
三原市保健福祉部子育て支援課
電話：0848-67-6079

問1 お答えいただくあなたの年齢は何歳ですか。

_____歳（年齢をご記入ください）

問2 あなたの性別をお答えください。※あなたが思う性をお答えください。（○は1つ）

1. 男性 2. 女性 3. ()

問3 あなたがお住まいの地域をお答えください。（○は1つ）

1. 三原小学校区（旭町・東町・館町・城町・港町1・3丁目・本町・西町・桜山町・駒ヶ原町・八坂町・古浜）
2. 糸崎小学校区（糸崎・糸崎南）
3. 木原小学校区（木原）
4. 中之町小学校区（中之町・中之町南・中之町北）
5. 西小学校区（西宮・西野・頼兼・宮浦1・4・5・6丁目・新倉1丁目・学園町）
6. 田野浦小学校区（明神・田野浦・青葉台・宗郷・和田・貝野町・登町・和田沖町）
7. 須波小学校区（須波・須波西町・須波ハイツ・沖浦町）
8. 深小学校区（深町・中之町南の一部）
9. 南小学校区（宮沖・円一町・皆実・港町2丁目・宮浦2・3丁目）
10. 沼田小学校区（新倉2・3丁目・沼田・長谷1・2・3丁目）
11. 沼北小学校区（小坂町・長谷3丁目の一部・4・5丁目・高坂町）
12. 沼田東小学校区（沼田東町・沼田西町の一部）
13. 沼田西小学校区（沼田西町）
14. 小泉小学校区（小泉町）
15. 幸崎小学校区（幸崎久和喜・幸崎能地・幸崎渡瀬）
16. 鷺浦小学校区（鷺浦町）
17. 本郷小学校区（本郷北・本郷南）
18. 本郷西小学校区（本郷町船木・下北方・本郷町上北方・本郷町善入寺・本郷町南方・南方）
19. 久井小学校区（久井町・八幡町）
20. 大和小学校区（大和町）

問4 あなたの世帯構成をお教えてください。（○は1つ）

- | | |
|---------------|--|
| 1. 一人暮らし | 4. 自分と子ども |
| 2. 自分と配偶者 | 5. 3世代以上での同居（親・子・孫など） |
| 3. 自分と配偶者と子ども | 6. その他（ ） |

問5 あなたの就労状況をお教えてください。(○は1つ)

1. フルタイムで就労している
2. パート・アルバイト等フルタイム以外で就労している
3. 産休・育休・介護休業中である
4. 就労していない

※フルタイムとは、週5日程度・1日8時間程度の就労をいいます。

問6 あなたが登録(参加)している(ボランティア)組織を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. ファミリー・サポート・センター(提供会員) | 6. 三原市シルバー人材センター |
| 2. 三原市社会福祉協議会・ほっとはーと | 7. 民生委員児童委員 |
| 3. 地域子育て支援サロン | 8. 母子保健推進員 |
| 4. 子育てボランティアグループ会員 | 9. その他() |
| 5. 三原市社会福祉協議会・個人登録ボランティア | |

問7 あなたが、ボランティア活動に参加したきっかけを教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 親族に勧められた | 6. 広報誌「広報みはら」で活動を知った |
| 2. 友人・知人に勧められた | 7. ホームページ・SNSで活動を知った |
| 3. 地域の人に勧められた | 8. テレビ・ラジオで活動を知った |
| 4. 三原市社会福祉協議会からの紹介 | 9. その他() |
| 5. 町内会活動として実施した | |

問8 あなたが、ボランティア活動をしている理由を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 子どもが好きだから | 8. 自分の視野を広げたいから |
| 2. 子育てで困っている人の手助けをしたいから | 9. 子育ての経験が活かせるから |
| 3. 多くの人と知り合いたいから | 10. 新たなスキルを身に付けたいから |
| 4. 地域や社会に恩返しをしたいから | 11. 持っている資格を活かしたいから |
| 5. 生きがいになる活動がしたかったから | 12. 時間に余裕ができたから |
| 6. 公益的な活動だから | 13. 収入を得るため |
| 7. 他人から認められたいから | 14. その他() |

問9

あなたが、ボランティア活動を行うことで得ているものは何ですか
(あてはまるものすべてに○)

1. 依頼者や地域の人から感謝され、やりがいを感じる
2. 社会や地域のために役立っていることが実感できる
3. 社会参加ができています
4. 地域に新しい知り合いができる
5. 子どもや保護者と触れ合うことができる
6. 自分の子育て経験を活かすことができる
7. 子育てに関する知識や技術を身に付けることができる
8. 収入が確保できる
9. その他 ()
10. 特になし

問10

あなたは、ボランティア活動をどの程度行っていますか (○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1. 週4回以上 | 4. 月2～3回程度 | 7. 活動はない |
| 2. 週2～3回程度 | 5. 月1回程度 | |
| 3. 週1回程度 | 6. 年数回程度 | |

問11

あなたが行っている子育てに関するボランティア活動を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 短時間の子どもの預かり
2. 宿泊を伴う子どもの預かり
3. 保育所・幼稚園・放課後児童クラブ・学校・習い事等へ子どもの送迎
4. 子育て世帯の家事支援(食事の支度・片付け, 掃除, 買い物など)
5. 保護者の話し相手や相談相手
6. 子どもの遊びの支援
7. 子どもの学習支援
8. 通学路などの安全見守り
9. 地域子育て支援サロンの活動(イベント・交流など)
10. 三原市社会福祉協議会「ほっとはーと」の活動者(はーとさん)のとしての活動
11. 民生委員児童委員の活動
12. 母子保健推進委員の活動(訪問・子育て情報の紹介など)
13. その他 ()
14. 子育てに関するボランティア活動は行っていない

問 15

あなたが子育てに関するボランティア活動を行う上で、不安や課題と感じていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 活動中の様々な事故の発生 | 6. 活動に対する家族の理解 |
| 2. 事故発生時の対応方法 | 7. 新型コロナウイルス感染症の拡大 |
| 3. 保護者や子どもとのコミュニケーションの取り方 | 8. 活動報酬の少なさ |
| 4. 自身の活動時間の確保 | 9. その他 () |
| 5. 自身の心身の健康 | 10. 不安・課題は感じていない |

問 16

あなたが安心して子育てに関するボランティア活動を行うためには、どのような支援が必要だと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1. 各種研修の実施などスキルアップの機会の充実 | 5. 活動場所の確保 |
| 2. 依頼者とボランティアのコミュニケーションの支援 | 6. 活動報酬の引き上げ |
| 3. 同様の活動をするボランティアの確保 | 7. その他 () |
| 4. ボランティア間の交流機会の充実 | 8. 新たな支援は必要ない |

問 17

三原市では、今年度、子育てに関するボランティア活動に取り組む人(活動に興味がある人を含む)向けの研修会を開催する予定です。あなたは参加したいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. ぜひ参加したい | 3. あまり参加したくない |
| 2. 出来れば参加したい | 4. 参加したくない(参加できない) |

※ 希望される方には、メールまたは郵送で研修会の情報をお届けします。

差し支えなければ、お名前、連絡先をご記入ください。

| | | | |
|-----|--|--------|--|
| お名前 | | 住所 | |
| TEL | | E-Mail | |

問 18 あなたは、研修会でどのようなことを学びたいと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. ボランティア活動の意義 | 8. 子どもの心の発達 |
| 2. 市内の活動の紹介と活動者の経験を聞く機会 | 9. 子どもの身体の発達と病気 |
| 3. コミュニケーションの方法 | 10. 子どもとの遊び方 |
| 4. 救急救命や事故防止 | 11. 子どもの栄養と食生活 |
| 5. 子育てを取り巻く環境変化 | 12. その他 () |
| 6. 子育て(保育)に関する必要な知識 | 13. 特にな |
| 7. 保護者との関わり方 | |

【問 19 は、ファミリー・サポート・センターの提供会員以外の方(問 6 で 2 ～ 9 と回答された方)のみお答えください。ファミリー・サポート・センターの提供会員の方は、次ページの間 20 へお進みください。】

問 19 あなたは、子育てに関するボランティアとして、ファミリー・サポート・センターの提供会員として活動してみたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|---------------|-----------|
| 1. ぜひ活動したい | 2. 活動を検討してみたい | 3. 参加できない |
|------------|---------------|-----------|

※ 活動に興味がある方には、メールまたは郵送でご案内をお届けします。

差し支えなければ、お名前、連絡先をご記入ください。(問 17 で記入された方を除く)

| | | | |
|------------|--|---------------|--|
| お名前 | | 住所 | |
| TEL | | E-Mail | |

※問 19 回答後は、問 26 (自由意見欄) へお進みください。

自由意見がない方はここで終了となります。

ご回答ありがとうございました。

【問 20～25 は、ファミリー・サポート・センターの提供会員の方（問 6 で 1 と回答された方）のみお答えください。その他の方は、問 26 へお進みください。】

問 20

あなたは、ファミリー・サポート・センターの提供会員として子どもの預かりや送迎をしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 子どもの預かりをしたことがある
2. 子どもの送迎をしたことがある
3. 活動をしたことはない

問 21 へ

問 23 へ

問 21

【問 20 で 1 または 2 と回答された方のみお答えください】

あなたは、ファミリー・サポート・センターをどのように評価していますか。（○は 1 つ）

- | | | | |
|--|---------------|---|---------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 大変満足している 2. 満足している 3. どちらかという満足している | <p>問 24 へ</p> | <ol style="list-style-type: none"> 4. どちらかという満足していない 5. 満足していない 6. まったく満足していない | <p>問 22 へ</p> |
|--|---------------|---|---------------|

問 22

【問 21 で 4～6 と回答された方のみお答えください】

あなたがファミリー・サポート・センターで不満を感じられたのはどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 連絡方法が電話中心である
2. 活動に当たってのサポートが不十分
3. 提供会員向けの情報が不十分（他の会員の活動状況・制度の情報など）
4. 依頼が少なく役立ち感がない
5. 依頼の連絡が頻繁にくる
6. 依頼会員の対応がよくない
7. 依頼会員の自宅での預かりができない
8. 援助活動記録簿の作成・提出など、活動後の手続きが面倒
9. 活動報酬が少ない（平日 7～19 時：1 時間 600 円 その他の時間：1 時間 700 円）
10. その他（ ）

問 24 へ

問 23

【問 20 で 3 と回答された方のみお答えください】

あなたが、ファミリー・サポート・センターの活動をしていない理由はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|---|---------------|--|---------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 活動の依頼がなかった 2. 予定が合わなかった 3. 制度の内容を十分理解していない | <p>問 24 へ</p> | <ol style="list-style-type: none"> 4. 他人の子どもを預かることに不安がある 5. 活動時の事故やケガなど安全面の不安がある 6. その他（ ） | <p>問 24 へ</p> |
|---|---------------|--|---------------|

問 24

今後、ファミリー・サポート・センターの改善・充実を図っていくためにどのような対応が必要だと思われますか。(○は3つまで)

1. 提供会員同士の交流の場の開催
2. 提供会員の増員
3. 提供会員向けの研修の充実
4. 提供会員向けの定期的な情報発信（他の会員の活動状況・制度の情報など）
5. 依頼会員とのマッチングや活動後の手続き等を効率化するシステム（仕組み）等の導入
6. 定期的な活動の依頼
7. 依頼会員と事前に面談する際の職員の立ち会い
8. 送迎時のチャイルドシートの貸し出し
9. 依頼会員の自宅での子どもの預かりの実施
10. 家事支援サービスの実施（食事の支度・片付け、掃除、買い物など）
11. 保護者の話し相手や相談相手となる活動の実施
12. 無料又は安価でファミリー・サポート・センターの体験（お試し）ができるサービスの実施
13. ファミリー・サポート・センターの体験談の周知
14. その他（ ）

問 25 へ

問 25

あなたは、ファミリー・サポート・センターの利用料金について、どうと思われますか。(○は1つ)

【現在の利用料金】平日 7～19 時：1 時間 600 円 その他の時間：1 時間 700 円

1. 適正な料金だと思う
2. 利用料金を下げるべきだと思う（子育て世代の負担軽減のため等）
3. 利用料金を上げるべきだと思う（提供会員の負担が大きい等）
4. よくわからない

問 26 へ

【問 26 は、すべての方に伺います】

問 26

【すべての方に伺います】最後に、子育てに関するボランティア活動へのご意見・ご要望があれば、ご自由に記入してください。

ご回答ありがとうございました。

